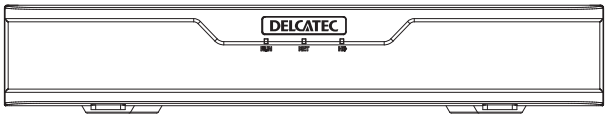
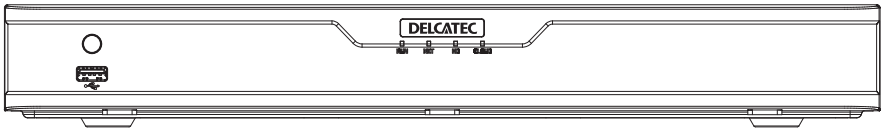
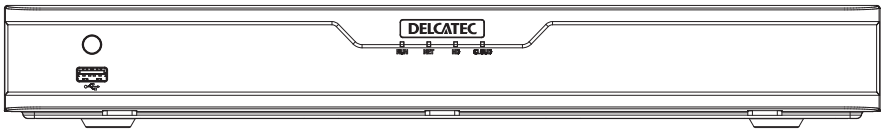
DELCATEC

取扱説明書

ネットワークレコーダー
CNE3R421・CNE3R441・CNE3R461
CNE3R841・CNE3R881・CNE3R8F1
CNE3RF81・CNE3RFF1







このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

・ **この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巣、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。**

DXアンテナ株式会社

2025年 10月 Ver.4.0

もくじ

はじめに 2

使用上のお願い 5
録画について 5
使用上のご注意 5
設置のご注意 5
商標について 5
用語 6
このマニュアルで使われている用語 .. 6
このマニュアルで使われている記号 .. 6
本製品の概要 7

準 備 8

準 備 8
管理画面について 9
接続方法 10
マウスの使い方 12
キーボード入力の方法 13

設 定 14

設定—初期設定 14
初期設定 15

設定—カメラ映像を見る 19
ホーム画面 20
メインメニュー 21
ポップアップメニュー 22
コンテキストメニュー 24
録画映像を再生する 26
再生画面の表示方法 26
再生画面について 27
タイムライン表示 29
タグ付けした映像を再生する 29
イベントとして登録された
映像を再生する 30
ファイル管理画面 31

設定—録画設定をする 32
録画画質を設定する 33
録画スケジュールを設定する 35

設定—その他の使い方 38
映像を拡大して見る
（デジタルズーム） 39
ライブ映像画面でズーム表示する .. 39
再生画面でズーム表示する 40

設定—設定リファレンス編 41
設定メニューについて 42
カメラ選択 43
カメラ選択 43
エンコード 47
音声検出 49
スナップショット 50
画面表示 51
画像 52
プライバシーマスク 56
PTZ 57
VCA 60
VCA 設定 60
ネットワーク情報 63
基本 63
プラットフォーム 66
アドバンスド 67

システム 70
基本 70
画面表示 71
時刻 74
ユーザー管理 77
セキュリティ 79
バックアップ 81
録画ステータス 81
画像 82
録画データをバックアップする 84
データをバックアップする 87
ストレージ 88
録画ステータス 88
スナップショット 90
ハードディスク 91
ディスクグループ 92
容量設定 93
アドバンスド 95
アラーム 96
動体検知 99
タンパリング 100
人体検知 100
ビデオロス検出 101
入力／出力 102
システム警告 104
音声検知 105
ブザー 106
ドアベルコール 106
人体検出アラーム 107
ワンキー警戒解除 108
メンテナンス 110
システム情報 110
ネットワーク情報 112
ログ 115
バックアップ 116
リストア 118
自動機能 118
アップグレード 119
HDD 120
メンテナンスログ 122
手動 123
マニュアル録画 123
手動スナップショット 124
手動アラーム 124
ブザー 125
電源オフ 126
電源オフ 126
設定—ブラウザーから Web 管理画面にアクセスする 127
Web 管理画面について 128
ホーム画面 130
ツールメニュー 132
再生画面 133
動画選択パネル 135
録画データの再生 136
設定画面 138
クライアント 141
システム—セキュリティ—HTTPS 142
システム—セキュリティ— SSH... 142
カメラ選択—カメラ選択 143
カメラステータス—画面表示
—画面表示内容 146
ハードディスク—ディスクグループ
—ディスクグループ 146
ハードディスク—容量設定—容量設定. 146
メンテナンス—ネットワーク情報
—パケットキャプチャ 147
メンテナンス—メンテナンス
—メンテナンス 148
その他 150
その他—こんなときは 150
故障と判断する前に 151

その他—付録編 159
使用上のご注意 160
設置上のご注意 161
このマニュアルについて 162
動作環境 163
各部の名称とはたらき 164
パソコンの IP アドレスの確認方法 167
Windows10 の場合 167
サポートサービスについて 168

使用上のお願い

録画について

本製品の故障や誤動作などの原因によって、本製品の内蔵メモリに正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。内蔵メモリの書き込み回数は、約 1000 回です。（ただし、使用環境によって異なります）

使用上のご注意

- 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

設置のご注意

- 本製品に登録するカメラを設置するときは、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。

商標について

- iPhone、iPad、iPod.touch は、米国および他の国々で登録された Apple.Inc. の商標です。
  App.Store は、Apple.Inc. のサービスマークです。
  iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
  iOS の商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
- Google および Google ロゴ、Android、アンドロイド、Google.Play は、Google.LLC の商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

用語

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	ネットワークレコーダー「CNE3R シリーズ」を称して「本製品」と表記しています。
4ch モデル	最大 4 チャンネルの映像入力を行える機種です。 型番：CNE3R421 ／ CNE3R441 ／ CNE3R461
8ch モデル	最大 8 チャンネルの映像入力を行える機種です。 型番：CNE3R841 ／ CNE3R881 ／ CNE3R8F1
16ch モデル	最大 16 チャンネルの映像入力を行える機種です。 型番：CNE3RF81 ／ CNE3RFF1

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
✎	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
4ch	4ch モデルの機種のみ該当する記述です。 型番：CNE3R421 ／ CNE3R441 ／ CNE3R461
8ch	8ch モデルの機種のみ該当する記述です。 型番：CNE3R841 ／ CNE3R881 ／ CNE3R8F1
16ch	16ch モデルの機種のみ該当する記述です。 型番：CNE3RF81 ／ CNE3RFF1
8ch/16ch	8ch ／ 16ch モデルの機種のみ該当する記述です。 型番：CNE3R841 ／ CNE3R881 ／ CNE3R8F1 ／ CNE3RF81 ／ CNE3RFF1

本製品の概要

本製品は、ハードディスク搭載ネットワークレコーダーです。本製品と当社監視カメラ（CNE3C シリーズ）を接続することで、すぐに利用いただくことが可能です。

●PoE 対応
カメラ接続用ポートはすべて PoE（PoweroverEthernet）に対応。PoE 対応カメラにカテゴリー 5e 以上の LAN ケーブルを接続することで給電することができます。

●USB ポート
USB ポートを搭載し、USB メモリーを挿すことで映像の書き出しができます。

●カメラ設定
接続しているカメラの設定を、本製品の管理画面から簡単に変更することができます。

●DDNS サービス
ダイナミック DNS サービス「SkyLinkDDNS」に対応し、IP アドレスが変更されても同一カメラの映像を見ることが可能です。

●モバイル用アプリ対応
モバイル用アプリ「Guard Viewer」に対応し、スマートフォン (iOS/Android 版) やタブレットから監視カメラのライブビュー・録画再生映像を見ることができます。

●本書に記載されているイラスト、画面などは開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

準 備

管理画面について

●カメラの設定は、管理画面で設定してください。本製品の管理画面を表示する方法は以下の 2 通りあります。

- 本製品に直接モニターを接続する方法（モニター管理画面）
- パソコン上のウェブブラウザーからカメラを操作する方法（カメラ用 Web 管理画面）
  カメラ本体の設定方法については、下記の URL よりカメラ本体用 Web マニュアルの設定ガイドをご確認ください。

  CNE3CDZ1/CNE3CDF1/CNE3CBZ1/CNE3CBF1
  https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualImg/CNE3CBF1.pdf

  CNE3CPZ1/CNE3CPZH1
  https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualImg/CNE3CPZ.pdf

●接続方法については、10 ページの接続方法をご確認ください。

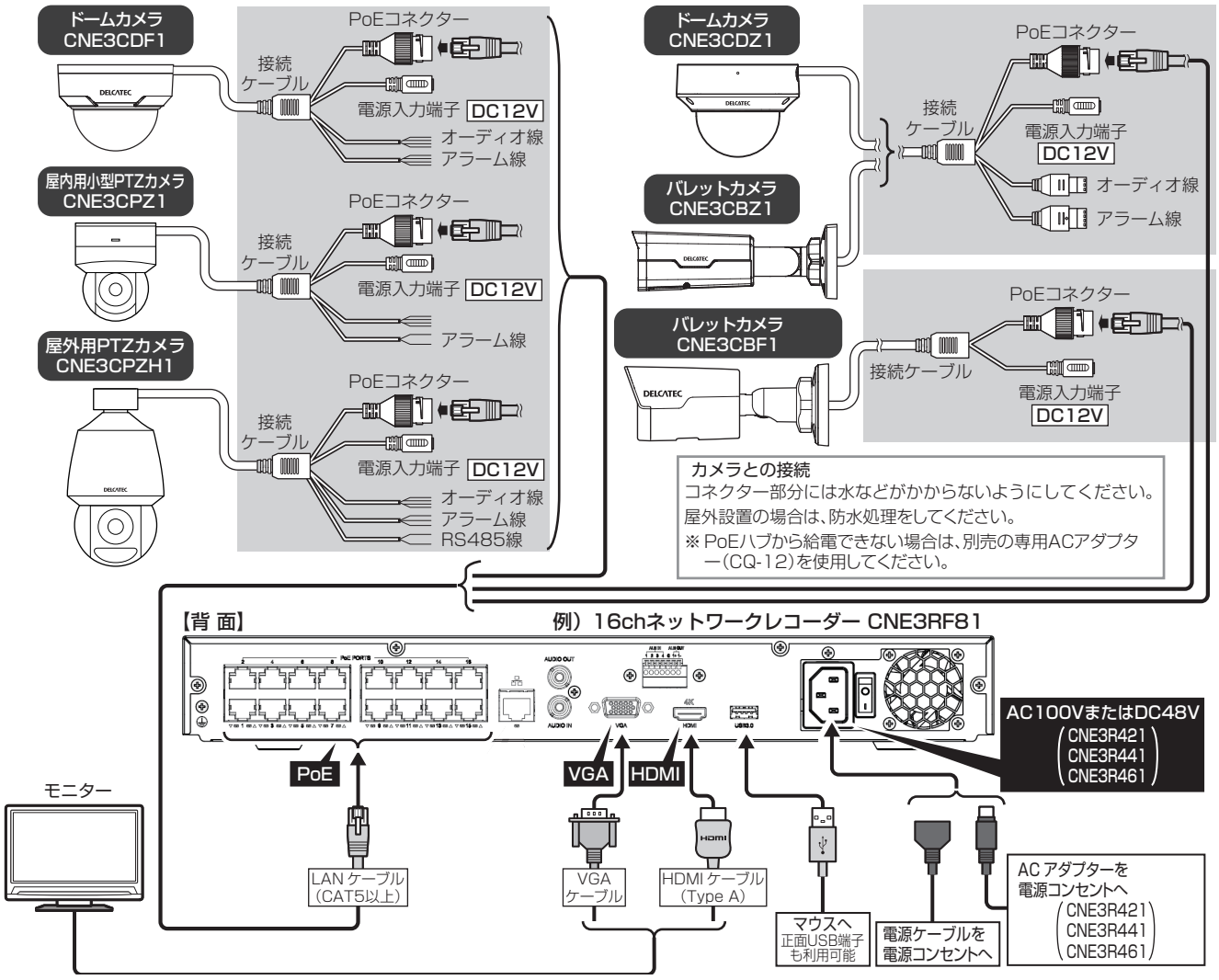
接続方法

■ CNE3R シリーズの接続例

各カメラの設置・接続方法は、カメラに付属している取扱説明書または PDF 版取扱説明書（詳細）を参照してください。

重要 ＜モニター接続時の注意＞

- **電源を入れる前に、必ず VGA または HDMI 端子にモニターを接続してください。**
- **ネットワークレコーダーの出力解像度の初期設定は、「1280x1024/60Hz」です。接続するモニターが上記解像度に対応していない場合は、接続する前にネットワークレコーダーの出力解像度を設定してください。（71 ページ「画面表示」参照）**



重要 ＜ VGA 接続時の注意＞

接続するモニターによっては、対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。モニター側の表示調整機能にて、調整をお試しください。（モニターや解像度によっては、調整を行っても正しい表示にはならない場合もあります。）

- CNE3C シリーズネットワークカメラは、カメラを本製品の PoE 端子に接続するだけで、ご利用いただけます。
- 2 つのモニターをそれぞれ HDMI 端子と VGA 端子に接続した場合、同じ映像が映ります。

■ネットワークカメラの接続可能台数について

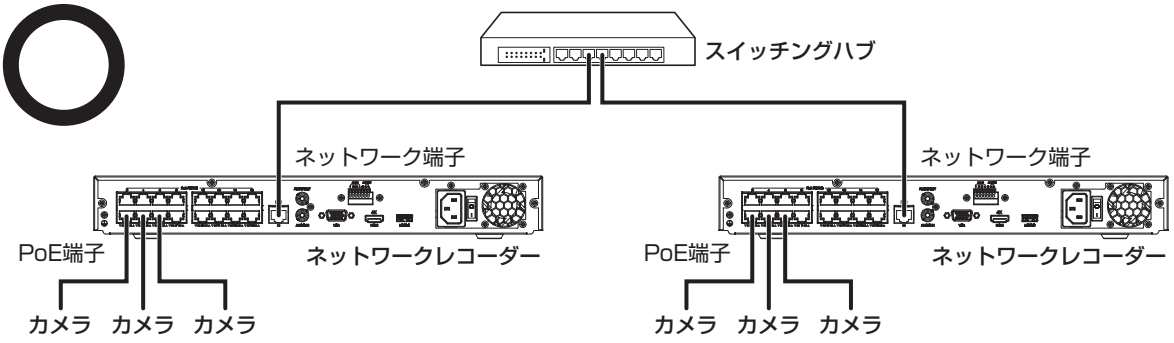
●バレットカメラ／ドームカメラ

ネットワークレコーダー	バレットカメラ／ドームカメラ
4ch モデル	4 台まで
8ch モデル	8 台まで
16ch モデル	16 台まで

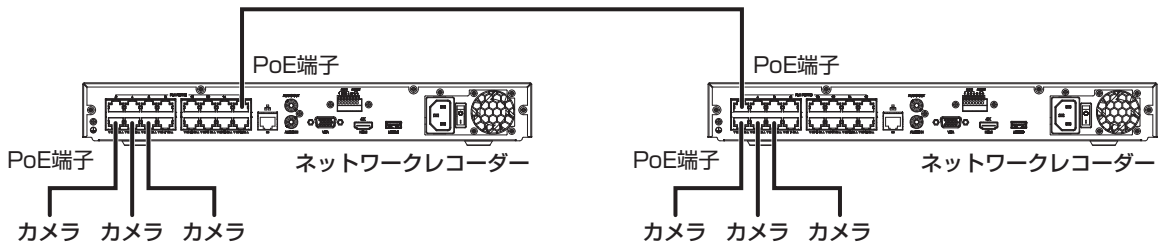
同一ネットワーク上に複数のネットワークレコーダーを接続する場合

ネットワークレコーダーはスイッチングハブ経由ネットワーク端子で接続してください。ネットワークレコーダー同士を PoE 端子を利用して接続すると、誤動作の原因となります。

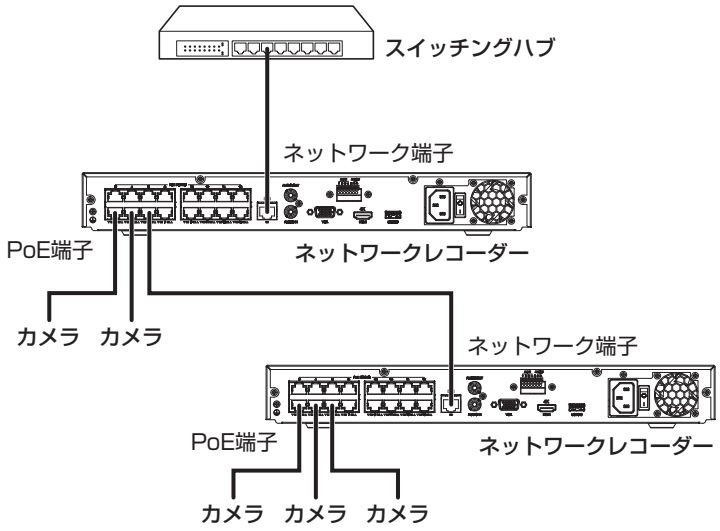
○



×　ネットワークレコーダー同士をPoE端子で接続しない。



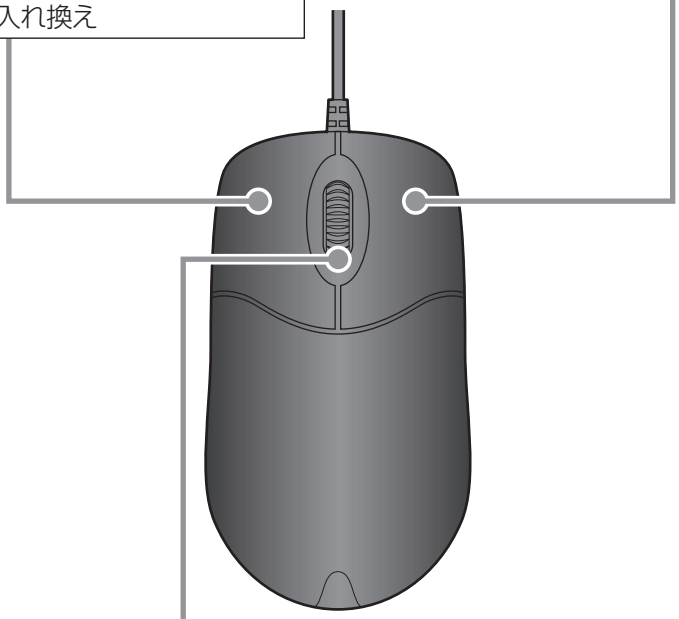
×　ネットワークレコーダー同士をPoE 端子とネットワーク端子で接続しない。



マウスの使い方

左ボタン	
クリック	・メニュー画面を表示する ・項目の選択または確定
ダブルクリック	・ライブビューでフルスクリーン表示にする ・フルスクリーン表示から通常表示に戻す
ドラッグ	・動体検知範囲などの設定 ・分割表示時、表示画面の入れ換え

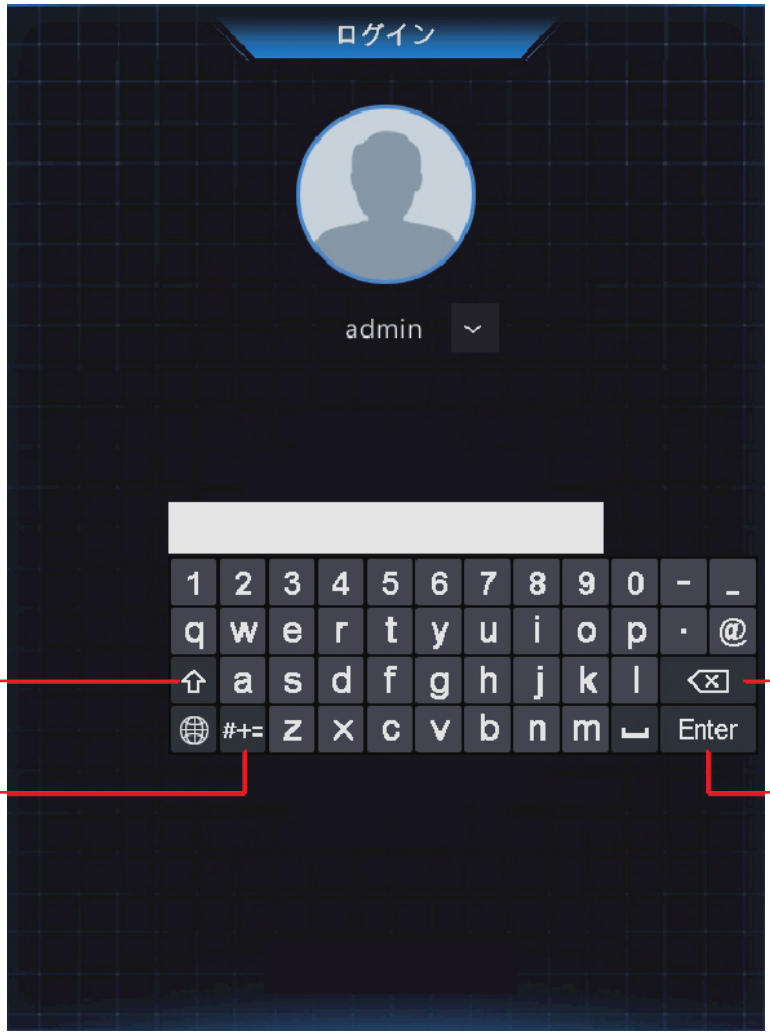
右ボタン	
クリック	・コンテキストメニューの表示 ・ズームの終了 ・ウィンドウを閉じる
長押し	・HDMI画面とVGA画面のマウス表示位置切換 （8ch/16chモデルのみ）



ホイール	
回転	・カメラ画面の切り換え ・メニューのスクロールまたは、プログレスバーの拡大／縮小
長押し	初期設定解像度（1280x1024/60Hz）に戻す

キーボード入力の方法

入力欄をクリックすると、ソフトキーボードが表示されます。マウスのカーソルを入力したい文字に合わせてクリックして文字を入力します。



本製品に USB キーボードを接続しても、ご利用になれません。

設定—初期設定

初期設定

本製品の電源を入れると、モニターに初期設定ウィザードが表示されますので、画面に従って設定します。
●初期設定の内容は、後からでも設定できます。

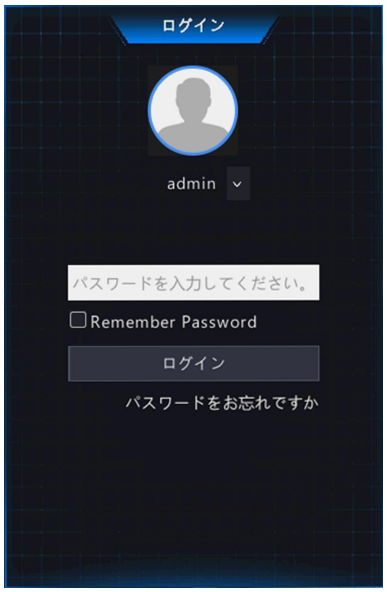
重要 **電源を入れる前に、必ず VGA または HDMI 端子にモニターを接続してください。**

CNE3C シリーズネットワークカメラは、カメラを本製品の PoE 端子に接続するだけで、ご利用いただけます。

1 言語を選択し、［確認］をクリックします。

2 入力欄をクリックして初期設定のパスワードを入力します。

初期設定のパスワード：123456



ログインすると、新しいパスワードに変更するよう促すメッセージが表示されます。
［確認］をクリックすると、パスワード変更画面が表示されます。

3 新しいパスワードを設定します。

新しいパスワードは英字・数字・記号をすべて使用した 9 ～ 20 文字で設定してください。
スペースは入力できません。

①「古いパスワード」入力欄をクリックして、現在のパスワードを入力します。
②「パスワード」入力欄をクリックして、新しいパスワードを入力します。
※英字・数字・記号を組み合わせた 9 ～ 20 文字のパスワードを設定してください。
パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されるので「強」になるようにしてください。

③確認のため、「パスワード（確認）」欄に新しく設定したパスワードを再度入力します。
④［確認］をクリックします。

重要 **●初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。**
●変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。

4 アンロックパターンの設定をします。

本機に接続したマウスでクリック＆ドラッグしながら、〇を結ぶお好きなパターンを設定します。
※確認のため同じパターンを２回入力する必要があります。
パターンが設定されると、ウィザード画面が表示されます。

5 タイムゾーンと時間を設定して、［次へ］をクリックします。

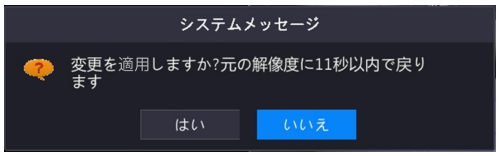
システム時刻は、NTP サーバーによる自動更新（同期）を設定することも可能です。初期設定完了後にメニューから［設定］ー［システム］ー［時刻］画面で設定できます。詳しい設定方法は 74 ページをご参照ください。

6 本機のネットワーク設定をして、［終了］をクリックします。

IP アドレスなどを変更したい場合は設定します。変更の必要のない場合は、そのまま［終了］をクリックします。

ウィザード終了の確認画面が表示されるので［はい］をクリックすると、最高の画質に調整するメッセージ画面が表示されます。
［スイッチ］をクリックすると、画質が自動調整されます。

自動調整後、確認メッセージが表示されます。設定を有効にするには［はい］をクリックします。



初期設定が終了し、ホーム画面が表示されます。

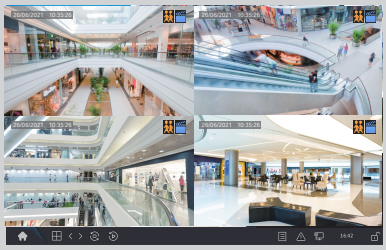
●カメラは接続するだけで、特別な設定を行わなくても映像が表示され、録画も常時行われるようになります。

●カメラ映像が表示されるまで少し時間がかかる場合があります。

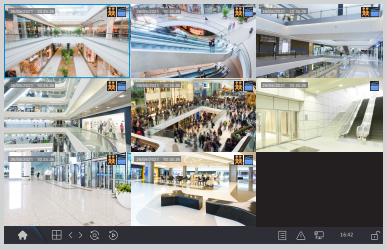
➡カメラ映像が表示されない場合は、153 ページをご参照ください。

4ch モデルは 4 分割画面、8ch モデルは 9 分割画面、16ch モデルは 16 分割画面が表示されます。

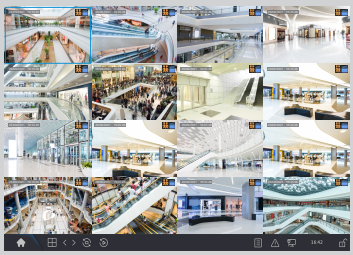
4 分割画面



9 分割画面

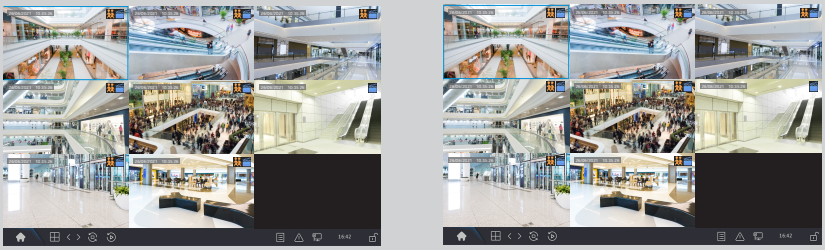


16 分割画面



8ch モデル／ 16ch モデルで HDMI 接続と VGA 接続の両方にモニターを接続した場合、HDMI 接続しているモニターには 9 分割／ 16 分割画面が、VGA 接続しているモニターにも、同じ画面が表示されます。

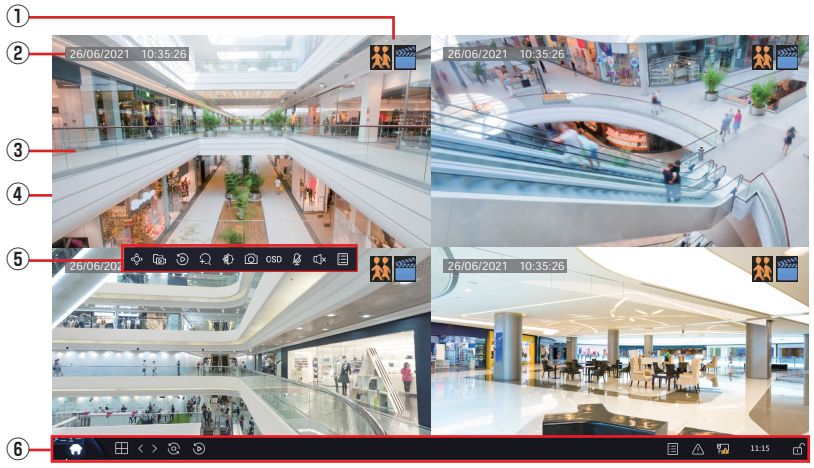
（例）HDMI 接続 9 分割画面の場合 ▶ VGA 接続も 9 分割画面を表示



設定―カメラ映像を見る

ホーム画面

ホーム画面には接続しているカメラのライブビューやメインメニューなどが表示されます。
（下図は画面表示が 4 分割表示に設定されている場合です。）



番号	項目	内容
①	**状態アイコン**	カメラの状態をアイコンで示します。 録画中です。 カメラのマイクが有効です。カメラ側に接続されたマイク（または内蔵マイク）に入力された音声が、ネットワークレコーダーに接続したスピーカーに出力されています。 カメラのマイクが有効です。カメラ側に接続されたマイク（または内蔵マイク）に入力された音声が、ネットワークレコーダーの LineOut に接続したスピーカーに出力されています。 動体を検知しています。 タンパリングアラーム（カメラ妨害検知機能）が発生中です。
②	**現在日時**	現在の日付と時刻を表示します。
③	**ライブビュー**	カメラの現在の映像が表示されます。
④	**アクティブカメラ**	映像を左クリックすると、アクティブ状態になり、ポップアップメニューが表示されます。
⑤	**ポップアップメニュー**	選択しているカメラに対するメニューです。 ➡ 22 ページ「ポップアップメニュー」
⑥	**メインメニュー**	マウスカーソルを画面下に移動すると、表示されます。 ➡ 21 ページ「メインメニュー」

メインメニュー

ホーム画面でマウスカーソルを一番下へ移動すると、メインメニューが表示されます。

番号	項目	内容
①	**メニュー**	管理画面が表示されます。表示にはログインする必要があります。
②	**画面分割数**	1 画面のみ表示します。 4 分割表示します。 9分割表示します。 16 分割表示します。
③	**前画面／次画面**	画面表示が「1 画面」のときに前または次の画面に移動します。 （増設用カメラを接続していないときは、利用できません。）
④	**シーケンス表示**	シーケンス表示のオン／オフを切り換えます。 シーケンス表示をオンにすると、設定した間隔で自動的に画面表示が切り換えられます。 画面レイアウト、画面数、時間間隔は、［メニュー］－［メニュー］－［システム］－［画面表示］で設定することができます。 ➡ 71 ページ「画面表示」 シーケンス表示オンの状態です。 クリックすると、シーケンス表示オフになります。 シーケンス表示オフの状態です。 クリックすると、シーケンス表示オンになります。
⑤	**再生**	録画した映像を再生します。 ➡ 26 ページ「録画映像を再生する」
⑥	**カメラ情報**	カメラの情報ウィンドウが表示されます。
⑦	**アラーム ステータス**	カメラのアラーム状態とネットワークレコーダーの状態が表示されます。
⑧	**状態**	アイコンの上にマウスカーソルを置くと、NIC 情報と IP アドレスが表示されます。 クリックすると、ネットワーク設定の管理画面が表示されます。
⑨	**時刻**	アイコンの上にカーソルを置くと、現在の日付が表示されます。 クリックすると、時刻設定の管理画面が表示されます。
⑩	**ロック**	メインメニューを自動的に隠します。 マウスカーソルを画面の一番下に移動すると表示されます。 メインメニューが常に表示されます。

ポップアップメニュー

ホーム画面でライブビュー表示の映像をクリックすると、クリックしたカメラ映像がアクティブ状態になり、ポップアップメニューが表示されます。

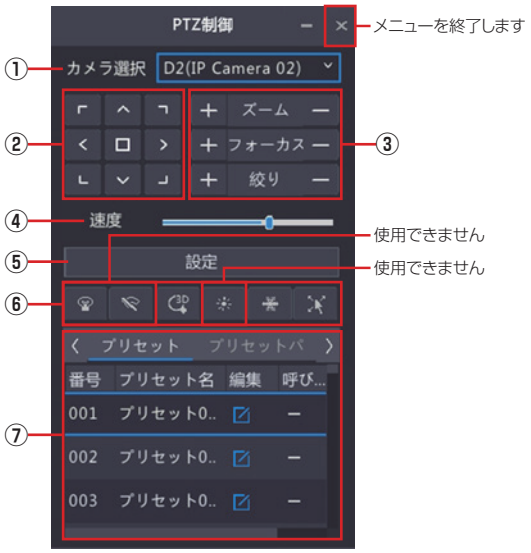
番号	項目	内容
①	**PTZ**	PTZ コントロール画面が表示され、カメラをコントロールすることができます。 ➡ 23 ページ「PTZ カメラの操作」
②	**ローカル録画** * スケジュール録画で録画中はローカル録画できません。	録画されていません。 クリックすると、ハードディスクに録画を開始します。 録画中です。 クリックすると、録画を停止します。
③	**インスタントプレイバック**	クリックすると、最新の録画映像を簡易的に再生します。さかのぼる時間は設定することができます（初期設定：5 分）。
④	**デジタルズーム**	表示中の映像をマウスでクリック & ドラッグをしながら、拡大したい箇所を選択します。
⑤	**画像設定**	画像設定の画面が表示され、撮影モード画面の輝度、彩度、コントラストを設定できます。
⑥	**スナップショット**	クリックするとスナップショットを保存します。
⑦	**OSD**	クリックすると、画面表示の設定画面が表示されます。
⑧	**双方向通話**	マウスカーソルを合わせると、通話の音量を調整できます。 クリックすると、双方向通話のオン／オフを切り換えます。 ※使用するカメラによって異なります。 双方向通話がオフの状態です。 クリックすると、双方向通話をオンにします。 双方向通話がオンの状態です。 クリックすると、双方向通話を終了します。
⑨	**音量設定**	マウスカーソルを合わせると、カメラの音量を調整できます。 クリックすると、ミュートのオン／オフを切り換えます。 ミュート中 ミュート解除中
⑩	**カメラ選択**	マウスカーソルを合わせると、カメラの画質・音質・画像解像度が表示されます。 クリックすると、［IP カメラ変更］画面が表示され、カメラの設定ができます。

✎ ライブビューでは、同時に複数のカメラの音声を有効にはできません。

■ PTZ カメラの操作

1 ライブビューのカメラ映像をクリックし、ポップアップメニューからPTZ制御アイコンをクリックします。

2 PTZ 制御パネルでカメラを制御します。



番号	項目	内容
①	**カメラ名**	選択制御するカメラを選択します。対応可能なカメラのみが表示されます。
②	**回転**	矢印の方向に、カメラの撮影方向を移動させることができます。※
③	**レンズ操作**	ズーム、フォーカス、絞りを設定します。
④	**速度**	カメラのパン、チルトの速度を調整できます。
⑤	**設定**	このボタンをクリックすると、PTZ 管理画面が表示されます。
⑥	**カメラ操作**	ライブ画面上で PTZ の方向を変える操作の ON・OFF ができます。 融雪を ON にすることで、パンチルト動作で雪を落とします。 カメラ映像画面内のカーソルが示す方向に、カメラ映像を移動させることができます。
⑦	**プリセット** **プリセット** **パトロール** **ガードポジション**	プリセット、プリセットパトロール、ガードポジションの詳細については、PTZの管理画面を参照してください。

※：使用するカメラによって、制御できる機能は異なります。

「×」を押して終了します。

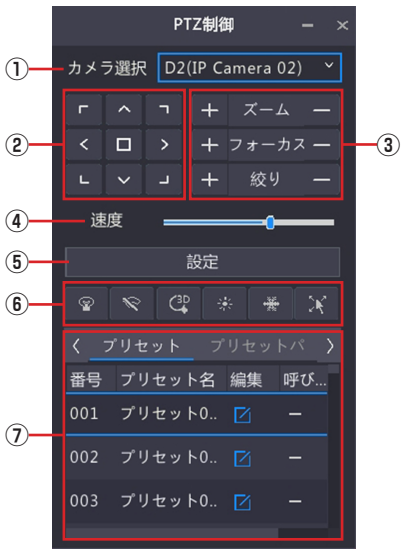
コンテキストメニュー

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

番号	項目	内容
①	**メニュー**	管理画面を表示します。
②	**共通メニュー**	カメラ選択・ネットワーク・バックアップの各設定画面を表示します。
③	**シングル ウィンドウ**	選択したライブビューのカメラ映像を 1 画面全体表示します。
④	**マルチウィンドウ**	ライブビューのカメラ映像をマルチウィンドウで表示します。
⑤	**コリドーモード**	ライブビューのカメラ映像を縦長に表示します。
⑥	**ワイドモード**	ライブビューのカメラ映像をワイド表示します。
⑦	**再生**	録画映像の再生をすることができます。➡ 26 ページ「録画映像を再生する」
⑧	**プレビューモード**	ノーマルとスマート（スマートモードは本製品では使用できません）を切り換えます。
⑨	**VCA 検索**	本製品では使用できません。
⑩	**照度設定**	カメラの設定画面を表示します。➡ 52 ページの「画像」
⑪	**出力モード**	接続しているすべてのカメラ映像の出力モードを設定できます。
⑫	**手動**	録画・スナップショット・アラーム・ブザーを手動で開始／停止できます。

PTZ 制御パネルが表示されます。

2 PTZ 制御パネルでカメラを制御します。



番号	項目	内容
①	**カメラ名**	選択制御するカメラを選択します。対応可能なカメラのみが表示されます。
②	**回転**	矢印の方向に、カメラの撮影方向を移動させることができます※。
③	**レンズ操作**	ズーム、フォーカス、絞りを設定します。
④	**速度**	カメラのパン、チルトの速度を調整できます。
⑤	**設定**	このボタンをクリックすると、PTZ 管理画面が表示されます。
⑥	**カメラ操作**	ショートカットボタンをクリックすると、カメラ映像画面内のカーソルが示す方向に、カメラ映像を移動させることができます。その他のボタンはご利用できません。
⑦	**プリセット** **プリセットパトロール**	プリセット、プリセットパトロール、ガードポジションの詳細については、PTZ の管理画面を参照してください。

※：使用するカメラによって、制御できる機能は異なります。

「×」を押して終了します。

録画映像を再生する

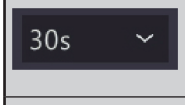
再生画面の表示方法

1 ホーム画面でライビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［再生］をクリックします。

再生画面が表示されます。

再生画面について

番号	項目	内容
①	**カメラ選択**	再生するカメラを選択します。
②	**日付**	選択再生する日付を選択します。録画データがある日付には、10 13 で表示されます。 10 イベント録画のデータがあります 。 13 スケジュール録画のデータがあります 。
③	**再生モード**	**ノーマル**：通常の再生画面です。 **スマート**：本製品では使用できません。 **コリドーモード**：縦長分割画面で映像を再生します。（最大 3 画面までの表示となります。）
④	**ツールボタン**	再生画面上で左クリックすると、ツールバーが表示されます。 **スナップショット** スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。 **タグの追加** 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けられます。タグは、映像をバックアップするときなど、後で特定シーンを検索するときに使用できます。 ➡ 29 ページ「タグ付けした映像を再生する」 **デジタルズーム** 画面の一部を拡大表示します。ボタンをクリックした後、拡大したい箇所をドラッグして拡大します。デジタルズーム機能は、4ch モデルは再生時のみ、8ch ／ 16ch モデルは再生時と一時停止時に使用できます。 ➡ 40 ページ「再生画面でズーム表示する」 **音量調整** 音量を調整します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り換わります。 **保護** 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。
⑤	**外部ファイル**	USB 端子に接続した USB メモリなどからファイルを読み出すことができます。

番号	項目	内容
⑥	**クリッピング開始・クリッピング終了**	ビデオの一部を切り取ることができます。「⑧タイムライン」上で切り取りを開始したい位置でクリックし、終了したい位置でもう一度クリックして指定します。切り取られる個所は水色で表示されます。切り取った後、［ファイル管理］ボタンをクリックすると、切り取った映像を保存することができます。
⑦	**ファイル管理**	［ファイル管理］画面を表示し、動画や画像をバックアップしたり、タグの編集をします。➡ 31 ページ「ファイル管理画面」
⑧	**スナップショット**	スナップショットを保存します。
⑨	**タイムライン**	映像の再生位置などが表示されます。➡ 29 ページ「タイムライン表示」
⑩	**コントロールパネル**	 スキップ時間設定 早送り／巻き戻しのスキップ時間を 5 秒･15 秒･30 秒･1 分･5 分・15 分・30 分・1 時間に設定できます。 一時停止 停止 逆再生 早戻し／早送り（初期値は 30 秒） （スキップ時間を 5 秒・15 秒・30 秒・1 分・5 分・15 分・30 分・1 時間に設定可能） 再生速度ダウン／再生速度アップ 逆再生時は「-1x」より遅い速度（-1/2x、-1/4x など）は設定できません。 コマ送り（8ch モデル／ 16ch モデルのみ） 再生速度表示
⑪	**解像度**	再生する映像の解像度を選択します。
⑫	**全画面**	表示全画面表示で再生します。右クリックで元の画面に戻ります。
⑬	**終了**	再生画面を閉じます。

タイムライン表示

番号	項目	内容
①	**プログレスバー**	選択中のカメラ（青色枠）の状態が表示されます。 通常録画された映像データは青色、イベントが検知された箇所はオレンジ色で表示されます。
②	**スライダー**	現在の再生位置を表示します。 スライダーを移動すると、再生位置を移動することができます。
③	**表示時間単位**	スライダーを移動すると、表示される時間軸の単位を６段階（10 分・30 分・1 時間・6 時間・12 時間・24 時間）に切り換えできます。

タグ付けした映像を再生する

タグ付けをした映像を検索して再生することができます。

1 **再生画面で画面左下の［ビデオ検索］をクリックします。**

2 **「タイプ」のプルダウンメニューから［タグ検索］をクリックします。**

3 **タグ付けされた映像を検索します。**

①検索するカメラを選択します。選択するカメラのチェックボックスにチェックを入れます。

②タグのキーワードで絞り込む場合は、「キーワード」欄にキーワードを入力します。

③検索する日時の範囲を指定します。

④［検索］ボタンをクリックします。

入力したタグのキーワードに該当するタグが表示されます。
キーワードを入力しない場合は、すべてのタグが表示されます。

4 **検索条件に当てはまるタグの一覧が表示されますので、再生するタグ付けされた映像の再生ボタンをクリックします。**

イベントとして登録された映像を再生する

イベントとして登録された映像を検索して再生することができます。

1 再生画面で再生画面左下の［ビデオ検索］をクリックします。

2 タグ付けされた映像を検索します。

①検索するイベントのプルダウンメニューから種類を選択します。

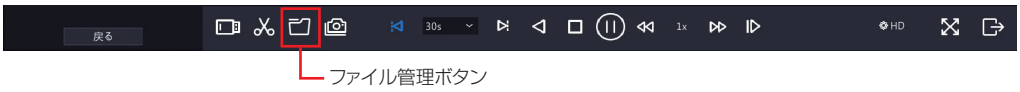
②検索するカメラを選択します。

③検索する範囲を指定します。

④［検索］ボタンをクリックします。

3 検索条件に当てはまるタグの一覧が表示されますので、再生するタグ付けされた映像の再生ボタンをクリックします。

ファイル管理画面



［ファイル管理］ボタンを押すと［ファイル管理画面］が表示され、クリップした映像などを USB ストレージにバックアップすることができます。

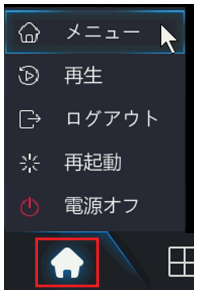
項目	内容
ビデオクリップ	クリッピングで切り取った映像を保存します。 クリッピング機能で切り取った映像が一覧表示されます。 クリッピングの方法は 28 ページの「クリッピング開始・クリッピング終了」をご参照ください。
再生画像	再生中に撮影されたスナップショットを表示します。
保護ファイル	保護した映像を保存します。
タグ	カスタムタグやデフォルトタグの編集をします。

設定―録画設定をする

録画画質を設定する

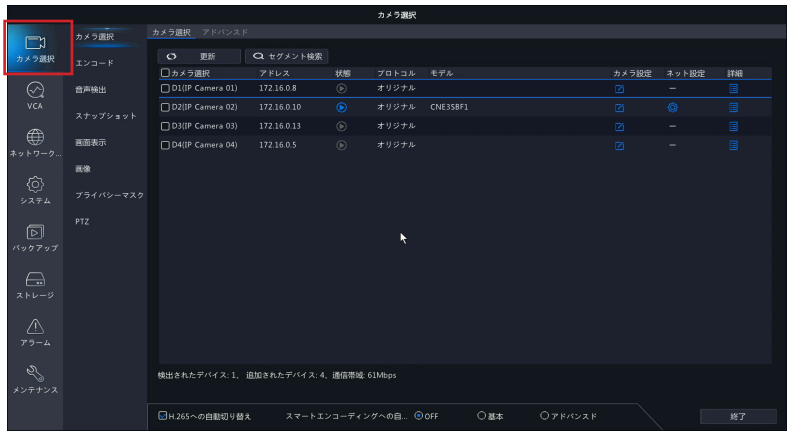
録画映像の解像度やフレームレート、画質を適切なものに設定します。

1 ホーム画面で設定メニューアイコンをクリックします。



映像を右クリックして表示されるコンテキストメニューにある「メニュー」からも管理画面へ入ることができます。

2 [カメラ選択] をクリックします。



3 必要に応じて以下のメニューに入り、設定を行います。

[カメラ選択] ー [エンコード]

映像の解像度や圧縮方法の設定を行います。

➡詳しい設定内容は 47 ページ「エンコード」

［カメラ選択］ー［画像］

映像の画質や露出、ホワイトバランスを設定します。

➡詳しい設定内容は 52 ページ「画像」

画質はライブビュー映像をクリックしたときのポップアップメニューからも簡易的に設定することができます。

録画スケジュールを設定する

初期設定では録画は 24 時間 365 日行われます。夜間や休日に録画をしないときなどは、スケジュール設定をします。

1 **ホーム画面で設定メニューアイコンをクリックします。**

2 **［ストレージ］ー［録画ステータス］をクリックします。**

スケジュール画面が表示されます。

3 **スケジュール設定するカメラを選択し、録画設定をします。**

①スケジュール設定するカメラを［カメラ名］から選択します。

注意 **別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。**
初期設定では常時録画状態（24 時間 365 日の録画）になっているので、任意で夜間や休日などの録画をしない時間を設ける場合は、スケジュール設定で変更を行う必要があります。

②［スケジュール有効］にチェックを入れます。

③［オーディオストレージ］にチェックを入れます。

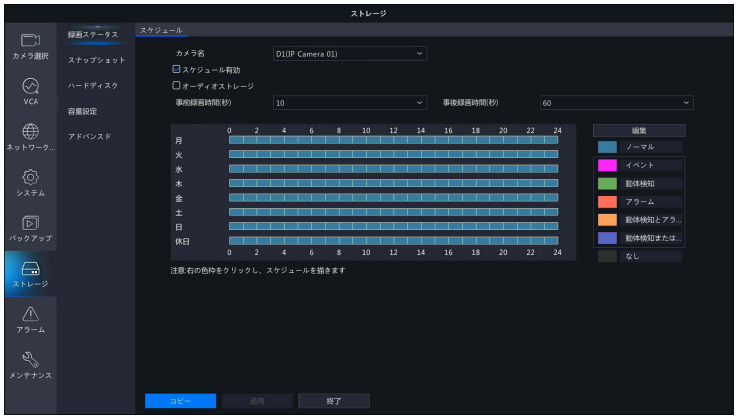
［オーディオストレージ］にチェックを入れると、音声付きで録画ができます。

④［事前 / 事後録画時間（秒）］を設定します。

事前録画時間：指定した時間だけスケジュールの録画開始時間より前に録画を開始します。

事後録画時間：指定した時間だけスケジュールの録画終了時間後も録画します。

4 スケジュール設定を行います。



①スケジュールに割り当てたい録画の種類をクリックします。

項目	内容
ノーマル	通常の録画を行います。
イベント	指定した時間にイベントが起こったときに録画を行います。 ➡ 96 ページ「アラーム」
動体検知	指定した時間に動体検知をしたときに録画を行います。動体検知機能が［有効］になっている必要があります。 ➡ 99 ページ「動体検知」
アラーム	指定した時間にアラーム発生したときに録画を行います。
動体検知とアラ...	指定した時間に動体検知とアラームが同時発生したときに録画を行います。
動体検知または...	動体検知またはアラームのどちらかが発生したときに録画を行います。
なし	録画を行いません。

②スケジュール表をクリックして色を塗り、スケジュールを設定します。

［編集］をクリックすると、他の曜日に設定をコピーすることができます。

＜設定例＞

月～日	0:00 ～ 6:00 と 19:00 ～ 24:00 はアラーム発生時のみ録画。 その他の時間は通常録画。
休日	録画なし。 ➡休日の設定方法は、76 ページ「休日」をご参照ください。

5 **［適用］をクリックして設定を保存します。**

注意 **［適用］を押す前に他のカメラを選択すると、設定がリセットされますのでご注意ください。**

6 **他のカメラも同様に設定します。**

［コピー］をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

設定—その他の使い方

映像を拡大して見る（デジタルズーム）

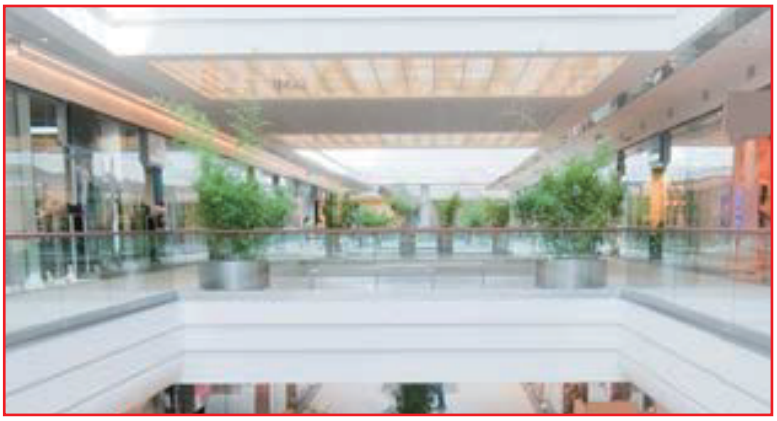
ライブ映像画面や再生画面では映像の一部をデジタルズームで拡大して見ることができます。

ライブ映像画面でズーム表示する

1 ズーム表示したい映像をクリックしてメニューを表示し、デジタルズームボタンをクリックします。

デジタルズームボタン

2 画面表示が「１画面」に切り換わりますので、ズーム表示するエリアをマウスでクリック＆ドラックして指定すると、選択した範囲が拡大表示されます。

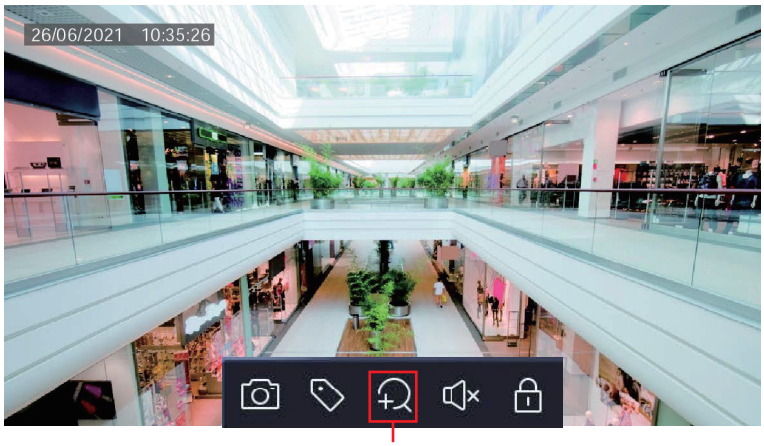


ズーム表示を解除するとき

右クリックでデジタルズームが終了します。

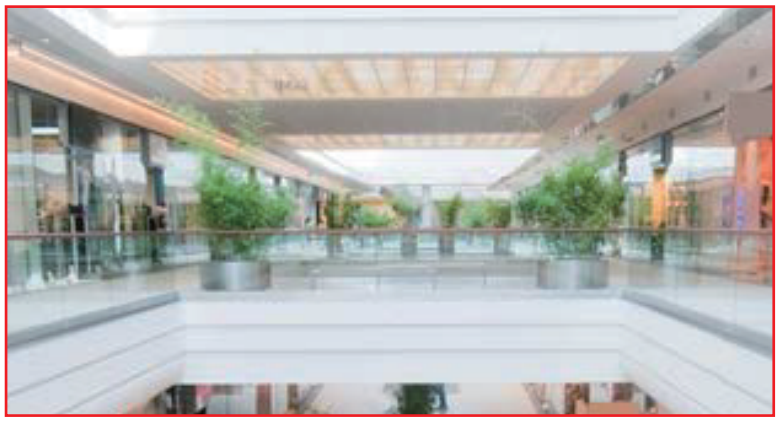
再生画面でズーム表示する

1 ズーム表示したい映像を左クリックしてメニューを表示し、デジタルズームボタンをクリックします。



デジタルズームボタン

2 画面表示が「1画面」に切り換わりますので、ズーム表示するエリアをマウスでクリック&ドラックして指定すると、選択した範囲が拡大表示されます。



デジタルズーム機能は通常の再生時のみ使用できます。インスタントプレイバック時は使用できません。

ズーム表示を解除するとき

右クリックでデジタルズームが終了します。

設定—設定リファレンス編

設定メニューについて

メニュー項目	内容	ページ
カメラ選択	映像の設定やカメラの操作を行います。	43 ページ
VCA	本製品では使用できません。	
ネットワーク	IP アドレスなど、ネットワークの設定を行います。	63 ページ
システム	本製品のシステム設定を行います。	70 ページ
バックアップ	録画した映像を USB ストレージデバイスにバックアップします。	81 ページ
ストレージ	録画スケジュールやハードディスクの設定を行います。	88 ページ
アラーム	アラーム入／出力の設定やシステムの警告などを設定します。	96 ページ
メンテナンス	録画状態や本システムの状態、システム設定の復元／初期化、本システムのアップグレードなどを行います。	110 ページ

カメラ選択

カメラ選択

■カメラ選択

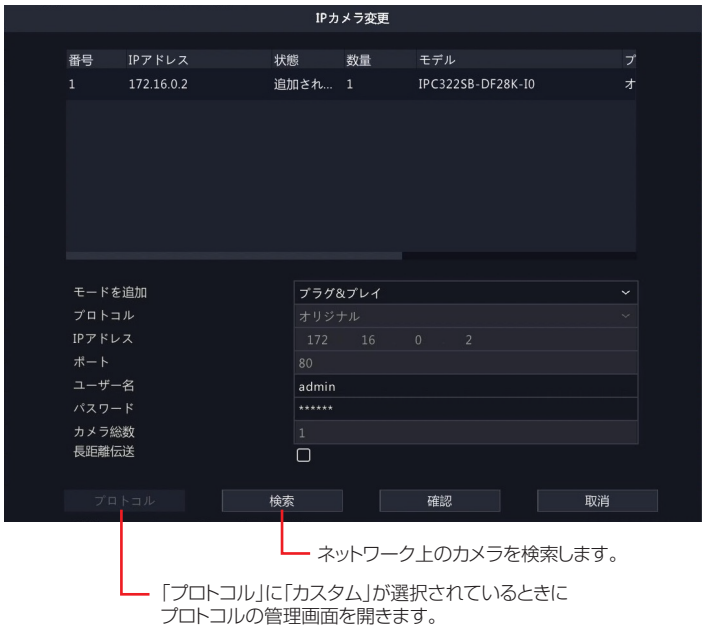
新しくカメラを追加したり、接続しているカメラを設定することができます。

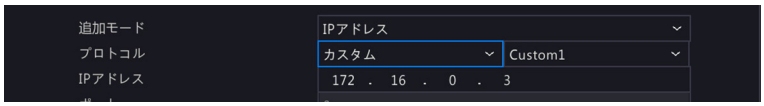
カメラ側の WebUI 上の管理画面で変更した設定はネットワークレコーダーには反映されません。

項目	内容
H.265 への自動切り替え	本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にビデオ圧縮形式を「H.265」に設定します。（初期値：有効）
スマートエンコーディングへの自動切り替え	本製品にカメラを初めて接続したときに、拡張エンコード設定が「OFF」に設定されています。[OFF（初期値）／基本／アドバンスド]

IP カメラ変更画面

「カメラ選択」-「カメラ選択」で（カメラ設定）をクリックします。



項目	内容
モードを追加	**IP アドレス**：IP アドレスを指定して接続します。 **プラグ＆プレイ（初期値）**：接続されたカメラを自動的に設定します。 **MyDDNS**：外部クラウドサービスを利用して接続します。クラウド側でのユーザー登録が必要となります。 **ドメイン名**：DDNS サービスを利用して接続します。ネットワークカメラ側で DDNS の設定が必要となります。
プロトコル	カメラとの通信プロトコルを選択します。 本設定項目は、他社製カメラ等を使用できるようにするための、将来拡張用の機能となります。通常は変更せずにご利用ください。 ［カスタム］を選択すると、以下のように表示され、カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。  プリセットは［プロトコル］ボタンをクリックすると設定することができます。 **ONVIF**：ONVIF で接続します。 **オリジナル（初期値）**：通常は［オリジナル］のままで使用します。 **カスタム**：カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。プリセットは［プロトコル］ボタンをクリックすると設定することができます。
IP アドレス	［追加モード］で［IP アドレス］を選択しているときに設定します。
ドメイン名	［追加モード］で［ドメイン名］を選択しているときに設定します。
ポート	カメラの接続情報を入力します。
ユーザー名	
パスワード	
カメラ総数	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。通常は初期値「1」のままでご利用ください。

項目	内容
長距離伝送	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。現在はご利用いただくことができません。通常はチェックをはずした状態でご利用ください。

インターネットを介してカメラを接続する場合は、カメラ側でポートマッピングを有効にする必要があります。

※本製品の IP アドレス（または本製品にアクセスできるドメイン名）を指定しないでください。誤動作の原因となります。
登録してしまった場合は、追加モードを「プラグ＆プレイ」に変更したあと、約 30 秒経過すると登録が解除されます。

カスタムプロトコル画面

CNE3C シリーズのネットワークカメラを利用する場合は、本画面での設定は利用できません。プロトコルはオリジナルのままご利用ください。
カスタムプロトコルの使用には、追加するネットワークカメラが標準の RTSP をサポートしている必要があります。
この方法で追加された IP デバイスは、本製品から設定できず、ライブビューと再生だけ行えます。

項目	内容
カスタム	設定するカスタムプリセットを選択します。
プロトコル名	カスタムプリセットの名称を設定します。
ポート	RTSP の設定をします。
伝送プロトコル	
メインストリーム有効	
リソースパス	
サブストリーム有効	
リソースパス	

アドバンスド

接続しているネットワークカメラのファームウェアをアップデートします。

項目	内容
パスワード変更	パスワードを変更することができます
デフォルトアイコン	選択したネットワークカメラを工場出荷時の設定に戻します。
パスワードの一括変更	選択したカメラのパスワードを変更できます。

- アップグレード権限のないユーザー（ゲストユーザーの初期権限など）では、ファームウェアのアップグレードはできません。管理者などアップグレード権限を持つユーザーでログインした状態で実施してください。
- パスワード変更できるカメラはオリジナルプロトコルで接続されている必要があります。CNE3CBZ1、CNE3CDZ1、CNE3CPZ1、CNE3CPZH1 のカメラは、パスワードが初期設定から変更していないとき、電源を再起動するとキャリブレーションのため、5 分間レンズユニットが動作します。キャリブレーション途中で 5 分経過するとピントがずれる場合があるため、登録後にカメラのパスワードを変更してご使用ください。

エンコード

映像のエンコード設定を行います。

項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
ストレージモード	録画に使用するストリームを選択します。 [メインストリーム（初期値）／サブストリーム／メインおよびサブストリーム／メインおよびサードストリーム／サブおよびサードストリーム]
撮影モード	解像度とフレームレートを設定します。 この設定は、プライベートプロトコルで本製品に接続しているネットワークカメラのみに有効です。 **2688*1520@30**：解像度 2688 × 1520、フレームレート 30fps **2688*1520@25**：解像度 2688 × 1520、フレームレート 25fps **2560*1440@30**：解像度 2560 × 1440、フレームレート 30fps **2560*1440@25**：解像度 2560 × 1440、フレームレート 25fps **1920*1080@30**：解像度 1920 × 1080、フレームレート 30fps **1920*1080@25**：解像度 1920 × 1080、フレームレート 25fps
ストリームタイプ	**ノーマル（初期値）**：予約録画用のメインストリームです。 **イベント**：アラーム入力や動体検知アラームなどのイベントによってトリガーされる録画を目的としたメインストリームです。 **ネットワーク伝送**：ローカルまたはリモートのリアルタイム監視を目的とした低解像度の映像です。基本はメインストリームを使用しますが、ネットワーク環境が悪い（細い）場合などに選択できるよう、サブストリーム、サードストリームとしてデータ容量が少ないストリームを設定しておきます。 **重要** **本製品は、動体検知中と動体非検知中で「ビットレートとフレームレート」を別の設定にすることができます。動体検知中と動体非検知中で同じビットレートとフレームレートに設定にしたいときは、ストリームタイプの「ノーマル」と「イベント」で、それぞれ「ビットレート」および「フレームレート」を同じ値に設定してください。** **「ノーマル」のみ設定を変えても動体検知中は「イベント」のビットレートおよびフレームレートの設定値で録画されます。**
ビデオ圧縮	ビデオの圧縮規格を選択します。 [H264（初期値）／H265]
解像度	メインストリームおよびサードストリームのビデオの解像度を変更します。

項目	内容
ビットレートタイプ	**CBR（初期値）**：ビデオストリームの品質を変えることによって特定のビットレートを維持します。帯域幅が限られている場合は、CBR が優先されます。ビデオの品質が変動し、シーン内の動きが増えるとビデオの品質が低下するデメリットがあります。 **VBR**：ビットレートが変わるかわりに、できるだけ映像を一定の品質に保ちます。高画質が要求される場合や、画像に動きがある場合は、VBR を選択することをおすすめします。
ビットレート（Kbps）	1 秒あたりの転送ビット数値を選択します。［カスタム］を選択すると、任意の値に設定することができます。 ［128 ／ 160 ／ 192 ／ 224 ／ 256 ／ 320 ／ 384 ／ 448 ／ 512 ／ 640 ／ 768 ／ 896 ／ 1024 ／ 1280 ／ 1536 ／ 1792 ／ 2048 ／ 3072 ／ 4096 ／ 5120 ／ 6144 ／ 7168 ／ 8192 ／ 9216 ／ 10240 ／ 12288 ／ 14336 ／ 16384 ／カスタム］
フレームレート（fps）	1 秒あたりのフレーム数を設定します。［撮影モード］の選択値によって設定できる最大フレームレートは異なります。
画質	画質を 9 段階で設定します。この設定は VBR を選択している場合のみ有効です。 ［レベル 1 ～レベル 9（初期値：レベル 5）］
I フレーム間隔	2 つの隣接する I フレーム間のフレーム数です。 ［5 ～ 250（初期値：50）］
平滑化	映像の変化が激しい場合に、ネットワークに流れる映像のデータ量が極端に上下しないように補正します。 スライダーが右にあるほど、急激な増加量を抑制します。
スマートエンコーディング	選択すると、より高い圧縮を行います。「OFF」＜「基本モード」＜「アドバンスドモード」の順で圧縮率が高くなりますが、動きの激しい場面などでブロックノイズなど乱れが目立つ場合もあります。本機能に対応しないカメラでは設定が行えません。 ［OFF（初期値）／基本モード／アドバンスドモード］

H.264 または H.265 では一定期間で I フレーム（イントラフレーム）として、完全な画像を送り、それ以外のときには、フレーム間の画像差分データのみを送ることで、圧縮率を上げています。ネットワーク上でパケットロスが発生した場合、映像の乱れが起きますが、I フレームを受信すると復旧されます。そのため I フレーム間隔を空けると（大きくすると）、映像の圧縮率が向上し全体のデータ量が少なくなりますが、映像の乱れが起きた場合に、復旧までの時間が長くなります。

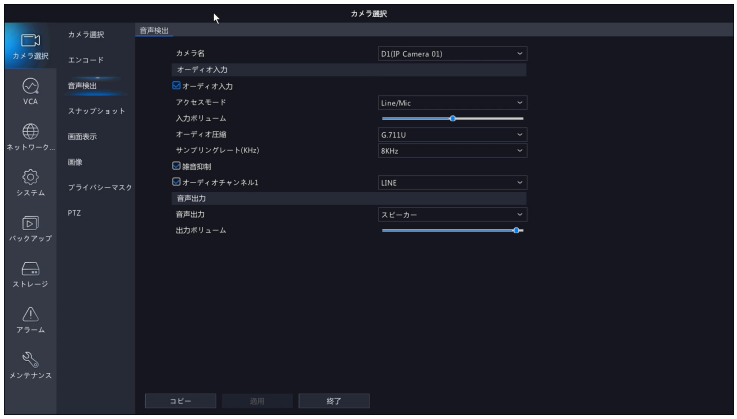
■ H.265+ の設定方法

H.265+ は、低いビットレートでも高い画質を実現でき、従来の H.264 に比べ約 4 倍の長時間録画が可能です。

- ビデオ圧縮を「H.265」に設定し、スマートエンコーディングを「アドバンスドモード」に設定すると、H.265 に対して、50%圧縮します。
- ビデオ圧縮を「H.265」に設定し、スマートエンコーディングを「基本モード」に設定すると、H.265 に対して、25%圧縮します。

音声検出

音声入出力の設定を行います。



項目	内容
カメラ名	音声検出の設定対象のカメラを選択します。
オーディオ入力	チェックを外すと、オーディオデータはエンコードされません。 音声が不要な場合は、チェックを外してください。
アクセスモード	「Line/Mic」のみ選択できます。この機能は、2 つのオーディオ出力チャンネルを持つデバイスには使用できません。
入力ボリューム	入力ゲインを設定します（初期値：50）。
オーディオ圧縮	音声の圧縮形式（G.711A、G.711U または AAL-LC）を選択します。
サンプリングレート	変更はできません。
雑音抑制	ノイズ制御するときは、チェックを入れます。
オーディオチャンネル1	チェックを入れると、AUDIO OUT に接続した機器より音声出力が有効になります。
音声出力	この機能は使用できません。
出力ボリューム	出力ボリュームを調整できます。(初期値：96（アラームボリューム / 出力ボリューム))

スナップショット

撮影されるスナップショットの設定を行います。

項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
スナップショットタイプ	**スケジュール** **解像度**：自動 /704 × 576(4CIF)（初期値）/352 × 288(CIF)/176 × 144(QCIF) **画質**：高 / 中（初期値）/ 低 **スナップショット間隔**：5 秒（初期値）/1 分 /10 分 /30 分 /1 時間 /12 時間 /24 時間
	イベント **解像度**：自動 /704 × 576(4CIF)（初期値）/352 × 288(CIF)/176 × 144(QCIF) **画質**：高（初期値）/ 中 / 低 **スナップショット間隔**：5 秒（初期値）/1 分 /10 分 /30 分 /1 時間 /12 時間 /24 時間

画面表示

映像上に表示される文字の設定を行います。

項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
名前	カメラの名前を設定します。
OSD カメラ名にコピー	チェックを入れると、画面に表示されるカメラ名も連動して変更されます。
OSD カメラ名	画面に表示されるカメラ名です。
日付形式	日付の表示形式を設定します。 (「yyyy」は年、「MM」は月、「dd」は日の数値表示を示しています。 「MMMM」は月、「dddd」は曜日の英語表示を示しています。) [dd/MM/yyyy ／ MM/dd/yyyy ／ dd MMMM, yyyy ／ MMMM dd, yyyy ／ dddd,yy,MM,dd ／ dd MMMM, yyyy ／ dddd, MMMM dd, yyyy ／ yyyy/MM/dd ／ yyyy, MMMM dd]
時間形式	時間の表示形式を設定します。 (「h」は時間、「m」は分、「s」は秒、「tt」は AM・PM の表示を示しています。) [hh:mm:ss（24 時間）（初期値）／ hh:mm:ss tt（12 時間)]
時間表示	時間表示の有無を設定します。(初期値：有)
カメラ名	カメラ名表示の有無を設定します。(初期値：なし)
フォントサイズ	フォントのサイズを設定します。内部フォントの仕様上、大と特大で OSD 文字のサイズ差を見分けることができない場合があります。[特大／大／中（初期値）／小]
フォントの色	フォントの色を設定します。(初期値：白)

画像

映像の画像設定を行います。

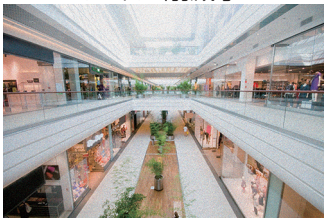
カメラ側に設定が保存される内容に関しては、この機能で工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。本ページでの設定も初期化する場合は、「カメラステータス - 詳細設定」画面（46 ページ）から「デフォルト」を実行してください。

項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
シーン	使用シーンに応じてあらかじめ設定されたプリセットを選択することができます。カメラによって設定できる項目が異なります。 ［カスタム／屋内 / 一般（初期値）/ スターライト / 道路向き HLC/WDR/ 周囲長］
スマート照度	スマート照度にチェックを入れると、スマート照度が有効になります。
イルミネーションモード	赤外線：夜間撮影時に、赤外線が有効になります
コントロールモード	グローバルモード：自動的に明るさや露出を調整します 露出オーバー抑制：自動的に露出オーバーを調整します 手動：手動で明るさや露出を設定します
画像補正	カメラ映像の画質を設定します。➡次項「画像補正」
露出	カメラ映像の露出を設定します。➡ 54 ページ「露出」
ホワイトバランス	カメラ映像のホワイトバランスを設定します。➡ 55 ページ「ホワイトバランス」
アドバンスド	カメラ映像の詳細設定をします。➡ 55 ページ「詳細設定」

カメラ側に設定が保存される内容に関しては、本製品の設定を初期化（118 ページ）しても工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。本ページでの設定も初期化する場合は、「カメラステータス - 詳細設定」画面（46 ページ）から「デフォルト」を実行してください。

■画像補正

カメラ映像の画質を設定します。

輝度	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、映像が明るくなります。 輝度小 輝度大
彩度	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、彩度が高くなります 彩度小 彩度大
コントラスト	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、コントラストが強くなります。 コントラスト小 コントラスト大
シャープネス	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、輪郭がはっきりします。 シャープネス小 シャープネス大
ノイズ削減	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、映像中のノイズを減らします。 ノイズ削減小  ノイズ削減大
画像回転	映像を回転表示します。 ［ノーマル（初期値）／ 180˚／ 90˚時計回り／ 90˚反時計回り］

※画像例は効果を説明するためのサンプルで、実際の画像画質とは異なります。

■露出

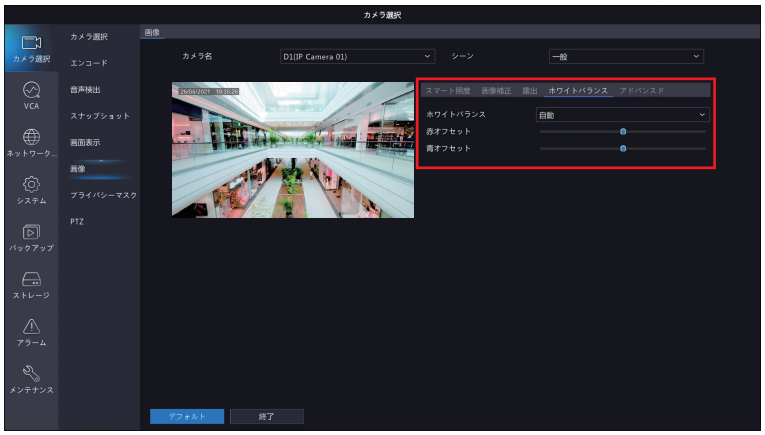
カメラ映像の露出を設定します。

項目	内容
露出モード	露出モードを選択します。 **自動（初期値）**：自動設定（屋外環境に適した調整を行います） **カスタム**：露出の内容を手動より細かく設定 **屋内 50Hz**：50Hz の蛍光灯に対応 **屋内 60Hz**：60Hz の蛍光灯に対応 **手動**：パラメータを自分で設定 **低モーションブラー**：動きの大きな映像に対してブレを少なくする
シャッター（秒）	シャッタースピードを設定します。動きの速い被写体には速いシャッタースピード、動きの遅い被写体には遅いシャッタースピードが向いています。「露出モード」を「カスタム」に設定している場合は、2 つのシャッタースピードを設定することができます。
ゲイン（dB）	カメラがさまざまな照明条件で標準のビデオ信号を出力できるように、画像信号を制御します。「露出モード」を「カスタム」に設定している場合は、2 つのゲインを設定することができます。[0 ～ 100]（初期値：0、カスタムモードのときは 0 と 100）
スローシャッター	チェックを入れると、暗い場所に設定するときに映像を明るくさせることができます。 [初期値：無効]
最遅シャッター	スピードの下限を設定します。[スローシャッター] にチェックを入れると、設定することができます。 [1/6 ／ 1/8 ／ 1/10 ／ 1/12（初期値）／ 1/15 ／ 1/20 ／ 1/25 ／ 1/30]
補正	露出補正を設定します。逆光のときなどに映像を見て、映像の中で見たい範囲が白飛びしたり、黒つぶれしないように調整できます。[露出モード] が [手動] のときは設定できません。[初期値：0]
デイ / ナイトモード	**自動（初期値）**：周囲の照明条件に応じて、夜間モードと昼間モードを自動的に切り換えます。 **デイ**：周囲の照明条件に応じて高品質のカラー画像を出力します。 **ナイト**：周囲の照明条件に応じて高品質の白黒画像を出力します。
デイ / ナイト感度	[デイ / ナイトモード] が [自動] に設定されている場合に、デイモードとナイトモードを切り換えるときのしきい値を設定します。撮影環境が暗くなると、カメラの「シャッター速度、CMOS のゲイン、レンズの絞り（現在のラインナップでは固定）」を調整して撮影された映像のデイ / ナイト感度ノイズを抑えますが、調整してもノイズを抑えきれなくなり、ノイズがしきい値を超えるとナイトモードに変わります。早くナイトモードに切り換えたいときは [高] に、映像のノイズが多くなってもデイモードを維持したい場合は「低」や「最低」に設定してください。 [最低（初期値）／低／中／高]
デイ / ナイト切替	デイモードとナイトモードを切り換えるまでの時間を設定します。設定した値が小さすぎると、夕暮れや朝日のときに頻繁に切り換わることがあります。設置する環境・状況に合わせて、調整してください。 [3 ～ 120（秒）]（初期値：3）

項目	内容
WDR	WDR（ワイドダイナミックレンジ）機能を有効にして、被写体のコントラストが高い場合でも映像を鮮明にします。[ON ／ OFF（初期値）]
WDR レベル	映像を見て、映像の中で見たい範囲が白飛びしたり、黒つぶれしないよう WDR レベルに調整できます。[初期値：5]

■ホワイトバランス

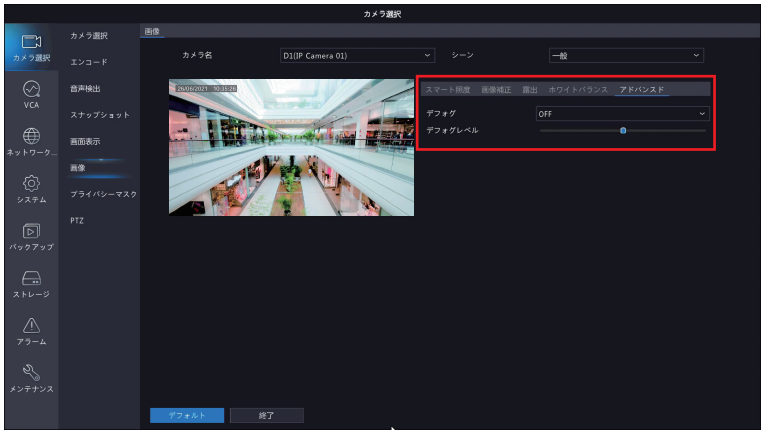
カメラ映像のホワイトバランスを設定します。



ホワイトバランス	ホワイトバランスの補正モードを選択します。 [自動（初期値）・微調整・屋外・ナトリウムランプ・保護]
赤オフセット	赤色のオフセット値を手動で調整します。[− 127 ～ 127]
青オフセット	青色のオフセット値を手動で調整します。[− 127 ～ 127]

■アドバンスド

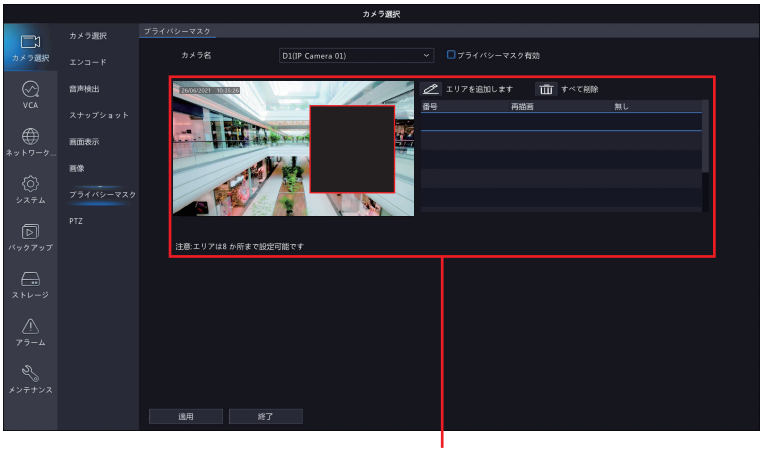
カメラ映像の詳細設定をします。



デフォグ	霧補正機能を使用するときは［ON］に設定します。[OFF（初期値）／ ON]
デフォグレベル	［デフォグ］を［ON］に設定したときに霧補正レベルを設定します。[1 ～ 9（初期値:5）]

プライバシーマスク

映像の一部を覆いたいときに設定します。



プライバシーマスク設定ウインドウ

項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
プライバシーマスク有効	チェックを入れると、プライバシーマスクが有効になります。

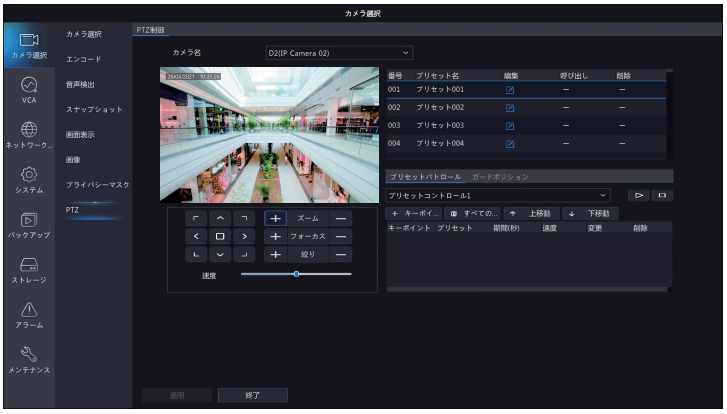
プライバシーマスク設定ウィンドウ

プライバシーマスクを最大４か所まで作成することができます。プライバシーマスクを設定するとその部分は黒塗りになり、映像に映らなくなります。

「追加」「削除」など変更を行った後は「適用」をクリックして設定を保存してください。Web 管理画面では、「すべて削除」ボタンをクリックした場合のみ自動的に「保存」も行われます。

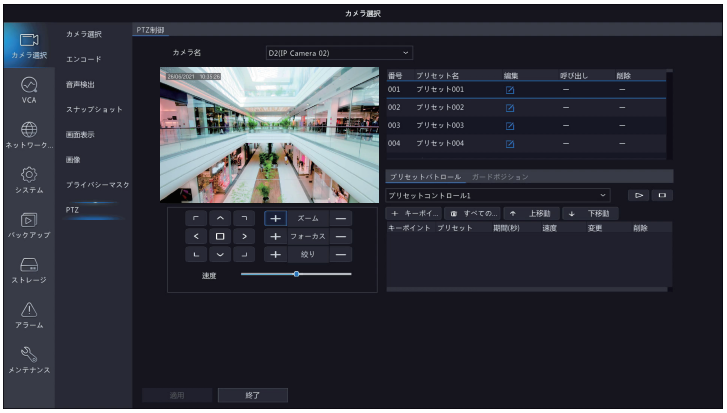
PTZ

PTZ に対応しているカメラは、パン制御（P)、チルト制御（T)、ズーム制御（Z）ができます。



■ PTZ 管理画面

PTZ カメラを操作したり、パトロール機能などのプリセットを設定したりすることができます。



プリセットの設定

プリセットとは、カメラが特定の方向・ズームの倍率を点で記憶させる機能です。
呼出を押すことで別の方向から特定の位置に移動させます。
プリセットパトロールおよびガードポジションで使用するプリセット条件を登録します。

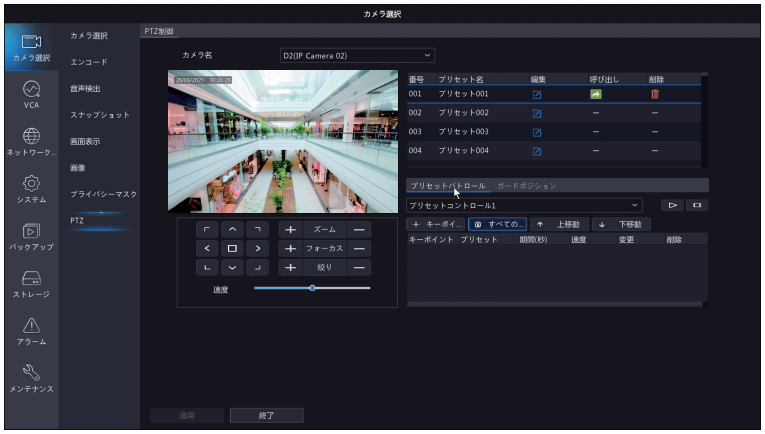
■プリセット条件の登録方法

①カメラの向きと角度を設定します。
② (編集) をクリックします。
③プリセット名を登録します。
④「確認」をクリックして、決定します。

■プリセット条件の削除方法

①設定したプリセット条件を選択します。
② をクリックします。

をクリックすると PTZ カメラの調整した向きを確認することができます。



設定後は［終了］をクリックして設定を完了します。

プリセットパトロール

プリセットパトロールを設定します。
プリセットパトロールは、登録したプリセットの順番・回転速度・留まる時間を設定します。

① プリセットコントロールを設定します
②「キーポイント追加」をクリックします。
③ プリセット配置画面で、設定したプリセット条件の番号を選択します。
④ プリセット配置画面で、「期間（秒）」、「速度」を設定します。
⑤「確認」をクリックして、プリセット配置画面を終了します。
⑥「適用」をクリックします。

項目	内容
	キーポイントの設定を変更することができます。
	キーポイントを削除することができます。
	パトロールを開始します。
	パトロールを停止します。

ガードポジション

ガードポジションを設定します。ガードポジションでは選択した項目をホームポジションのように扱うことができます。プリセットを選ぶとカメラが別の方向を向いていても、設定時間後に登録プリセットの方向を向くようになります。

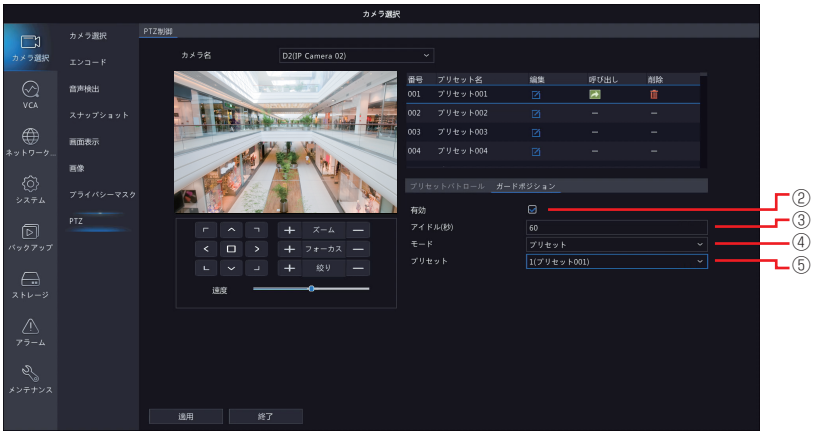
① 有効にチェックマークをいれます。

② 待機時間「アイドル（秒）」を設定します。
（待機時間は 120 秒 -1800 秒の間で設定してください。）

③ 設定したいモードを選択します。

- **プリセット**：　カメラが特定の方向・ズームの倍率を点で記憶させた位置に移動させます。
- **プリセットパトロール**：キーポイントで設定した PTZ カメラを順番にパトロールを開始することで、点と点をつないで巡回させることができます

④「モード」でプリセットパトロールを選択したときは、「ルート」を設定します。
「ルート」を設定すると、プリセットコントロールを選択することができます。
プリセットコントロールは、キーポイントで設定したプリセットコントロールを呼び出して設定します。
1 台の PTZ カメラに 4 つまで設定できます。



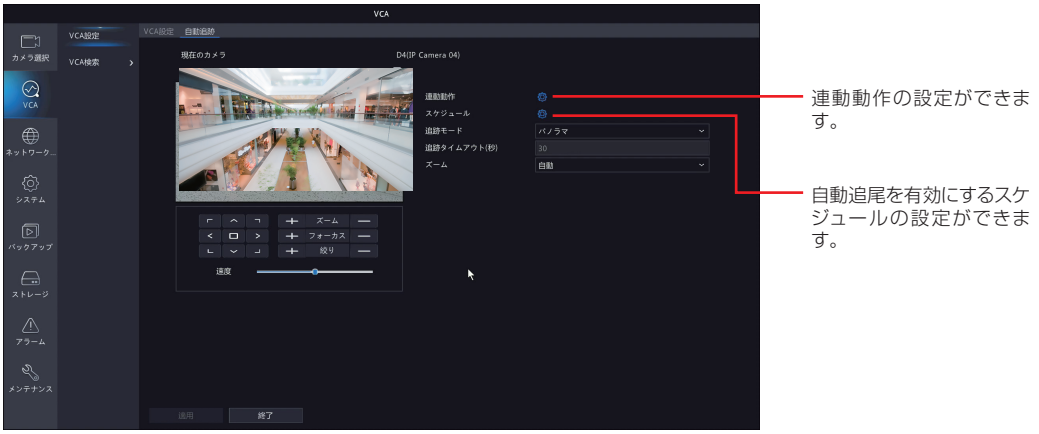
VCA

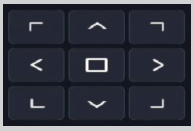
VCA 設定

自動追尾以外は、動作しません。※設定できる項目は使用するカメラによって異なります。

■自動追尾（CNE3CPZH1）

検出物を一定時間追尾します。「継続的な追跡を有効にする」にチェックを入れます。



項目	内容
ズーム	ズーム操作ができます。
フォーカス	フォーカス操作ができます。
絞り	カメラの絞りを調整できます。
	カメラの方向（パン・チルト）をコントロールします（PTZ カメラのみ）。 ※ライブビュー画面上でマウスカーソルを各方向をクリック、または長押しすることでカメラ方向をコントロールすることができます。
速度	スライダーが右にあるほど、カメラの方向（パン・チルト）をコントロールする速度は速くなります。

設定後は［適用］をクリックして設定を完了します。

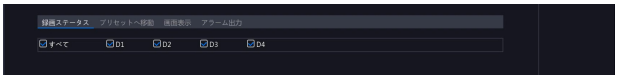
自動追尾詳細設定

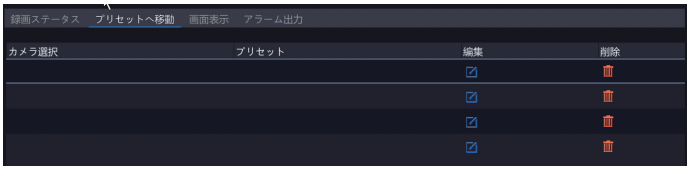
自動追尾の詳細設定をします。

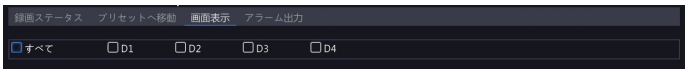
項目	内容
追跡モード	パノラマのみ設定ができます。
追跡タイムアウト(秒)	追跡する時間を設定します。
ズーム	ズーム比を「現在のズーム倍率」または「自動」から設定します。

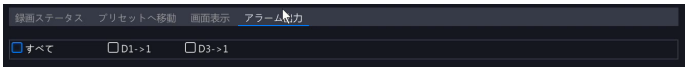
連動動作画面

項目	内容
ブザー	チェックを入れると、イベントが発生した場合、ブザー音を鳴らします。
E メール送信	チェックを入れると、イベントが発生した場合、E メールを送信します。 E メールの設定は、65 ページをご確認ください。 **以下のような E メールが送信されます。** 件名　「デバイスアラーム」(イベントタイプ : 発生したイベント名 , カメラ ID:**) 本文　「これはデバイスから自動的に作成されたメールです」 アラーム時刻 :（アラーム発生年月日・時分秒） カメラ名 :（カメラ名） デバイス名 :（レコーダー名） S/N 値 :（レコーダーのデバイス番号）

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ポップアップウインドウ</td><td>チェックを入れると、イベントが発生した場合、ポップアップウィンドウを表示します。</td></tr>
<tr><td>連動カメラ設定</td><td>
連動動作の内容を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。
＜録画ステータス＞
侵入検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。


＜プリセットへ移動＞
本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在はご利用いただくことはできません。


＜画面表示＞
検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。


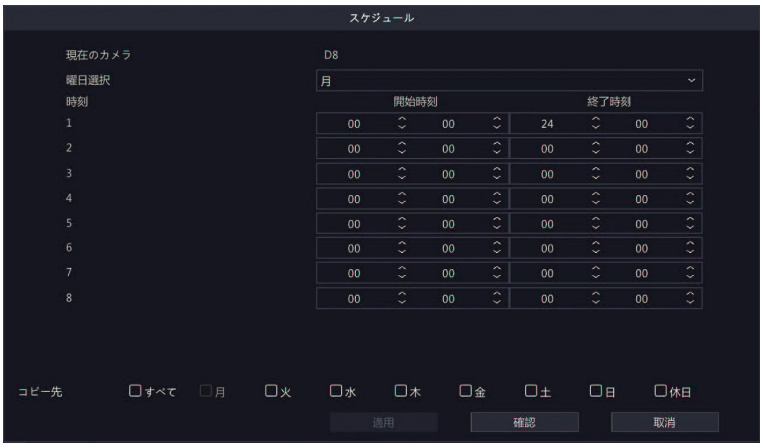
＜アラーム出力＞
検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。


＜アラーム音＞（屋内用 PTZ カメラのみ）
アラーム音のスケジュールを設定します。

<table>
<tr><td>アラーム音</td><td>アラーム音を出力するときは、チェックを入れます。</td></tr>
<tr><td>モードを選択</td><td>
<table>
<tr><td>デイ / ナイトモード</td><td>選択したアラーム音を昼または夜のみ有効にすることができます。</td></tr>
<tr><td>カスタムモード</td><td>選択したアラーム音を有効にするための詳細設定ができます。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>曜日選択</td><td>時間背設定する曜日を選択します。</td></tr>
<tr><td>開始時刻 / 終了時刻</td><td>選択したアラーム音を有効にする時間を設定します。</td></tr>
<tr><td>音声検出</td><td>出力する音声を選択します。</td></tr>
<tr><td>繰り返し</td><td>繰り返し回数を選択します [0 ～ 50（初期値：3）]</td></tr>
<tr><td>コピー先</td><td>ほかの曜日に設定をコピーします。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

スケジュールの設定

検知を有効にするスケジュールを設定します。

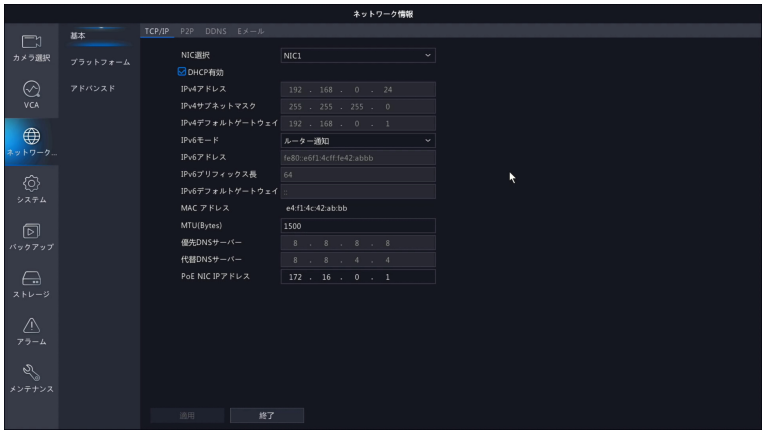


項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は「休日」（➡ 76 ページ）をご確認ください。
開始時刻 / 終了時刻	イベントの発生を有効にする時間を設定します。
コピー先	ほかの曜日に設定をコピーします。

ネットワーク情報

基本

■ TCP/IP



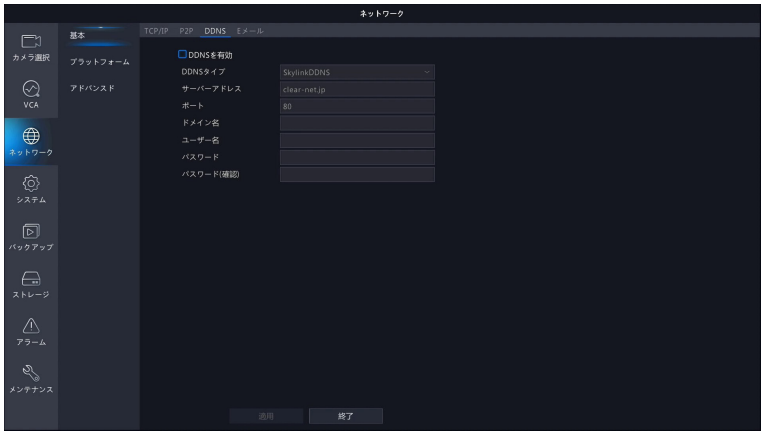
項目	内容
NIC 選択	「NIC1」のみ選択できます。
DHCP 有効	チェックすると、自動的に IP アドレスを取得します。（初期値：有効）
IPv4 アドレス	［DHCP 有効］にチェックを入れていないときに、設定します。
IPv4 サブネットマスク	
IPv4 デフォルトゲートウェイ	
IPv6 モード	本製品では設定できません
IPv6 アドレス	
IPv6 プリフィックス長	
IPv6 デフォルトゲートウェイ	
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスが表示されます。変更はできません。
MTU（Bytes）	MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値（単位バイト）を設定します。通常は変更する必要はありません。 4ch モデル：［576 ～ 1500（初期値：1496）］ 8ch ／ 16ch モデル：［576 ～ 1500（初期値：1500）］
優先 DNS サーバー	［DHCP 有効］にチェックを入れていないときに、設定します。
代替 DNS サーバー	
PoE NIC IP アドレス	PoE チャンネル側のアドレスを設定します。 先頭アドレスは IPv4 アドレスとは異なる数値にしなければなりません。 （初期値：172.16.0.1）

■ P2P

項目	内容
P2P を有効	P2P を有効に設定します。（初期値：無効）
サーバーアドレス	利用できる P2P サーバーのアドレスです。
登録コード	サーバー側でデバイスを登録するのに必要となります。
デバイス状態	デバイスのネットワーク接続状態を表示します。
アカウントなしで追加できる	アプリ等からデバイスを追加する際に、QR コードをスキャンすることで、追加することができます。

■ DDNS

DDNS（ダイナミック DNS）を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、SkylinkDDNS サービスに登録する必要があります。



項目	内容
DDNS を有効	DDNS を有効に設定します。（初期値：無効）
DDNS タイプ	ダイナミック DDNS、No-IP、MyDDNS、SkylinkDDNS から選択できますが、本製品では SkylinkDDNS サービスをご利用ください。
サーバーアドレス	DDNS サービスタイプに基づいた、サーバーアドレスが自動で入力されます。
ポート	プロトコルの標準番号です。
ドメイン名	登録したドメイン名を入力します。
ユーザー名	登録したアカウントを入力します。
パスワード	設定したパスワードを入力します。
パスワード（確認）	指定したパスワードを再入力します。

● SkylinkDDNS については、右記のページをご参照ください（https://www.clear-net.jp/）。
SkylinkDDNS へ登録するときは、本製品のラベルに記載されたシリアルナンバーをシリアル変換ページで変換して登録してください。
(シリアル変換ページ　https://www.dxantenna.co.jp/product/skylink/skylink_ddns_for_dx_.html)

本製品のシリアルナンバー：

■ E メール

アラーム発生時に送信する E メールの設定をします。
（アラーム発生時に E メールを送付するようにする設定は、［アラーム］－［システム警告］設定で行います。
➡ 104 ページ「システム警告」）

項目	内容
サーバー認証を有効	サーバー認証が必要な場合にチェックを入れます。（初期値：無効）
ユーザー名	認証用のユーザー名とパスワードを入力します。
パスワード	
SMTP サーバー	SMTP サーバー情報を入力します。
SMTP ポート	
TLS/SSL を有効	TLS/SSL を有効にした場合には、25 を使用してください。それ以外では 587/465 を使用してください。
送信者名	メールの送信者となる名前とアドレスを設定します。
送信者アドレス	
受信者選択	受信者の情報を入力します。宛先は最大 6 件まで登録できます。
受信者名	
受信者アドレス	
スケジュール	アラームが発生したときに E メールを送信する時間帯を設定します。設定すると、設定した時間帯以外の時間にアラームが発生しても E メールを送信しなくなります。
スナップショット間隔	添付画像に ✓ を入れると、スナップショットの撮影間隔が設定できます。2 秒～5 秒の間で設定ができます。

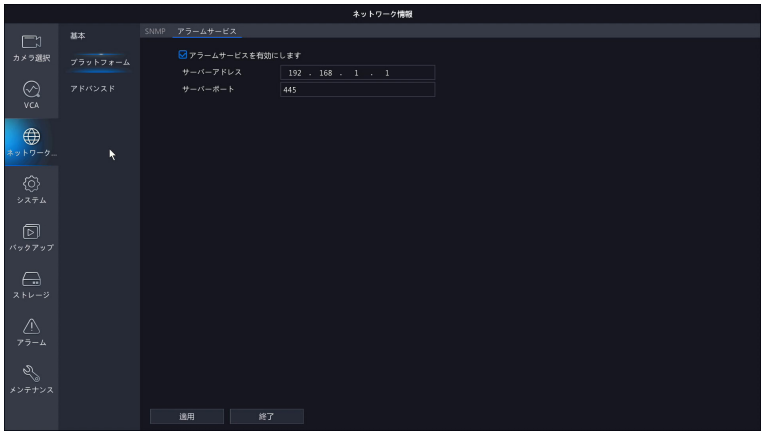
- ●「テスト」ボタンをクリックすると、メールの送信テストを行えます。受信者アドレステストで、すべての受信者の状態が有効となっていることをご確認ください。複数の受信者を設定したときに 1 つでも受信者の設定に失敗がある場合は、正常な受信者を含めすべての受信者宛メールが送信されません。
- ●一部の Web メールサービスではご利用いただけない場合があります。

プラットフォーム

■ SNMP

本製品では設定できません。

■アラームサービス



項目	内容
アラームサービスを有効にします	チェックするとアラームサービスが有効になります。（初期値：無効）
サーバーアドレス	アラーム情報を送信するサーバーのアドレスを入力します。

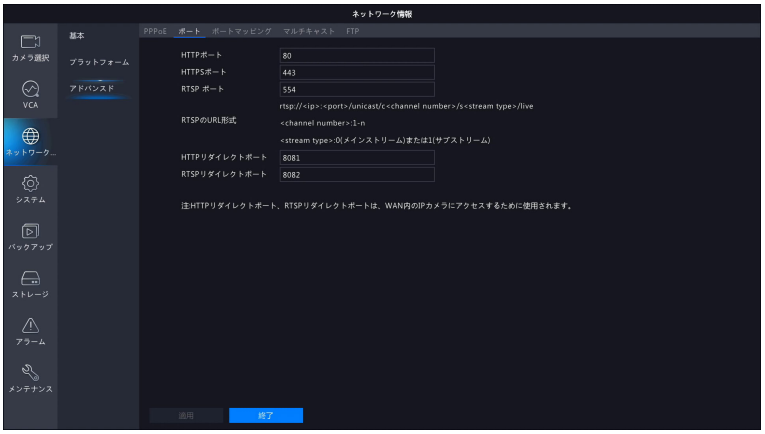
アドバンスド

■PPPoE

本製品では設定できません。

■ポート

通常、ポート番号は初期設定から変更する必要はありません。
この設定はおもにポートマッピング設定と合わせて設定します。



項目	内容
HTTP ポート	ポート番号を設定します。 ポート番号は 1 から 65535 の範囲で設定できますが、以下の番号は予約されているので、設定できません。 21、23、2000、3702、60000
HTTPS ポート	
RTSP ポート	
RTSP の URL 形式	RTSP の URL 形式を表示します。
HTTP リダイレクトポート	WAN 内の IP カメラにアクセスするために使用されます。
RTSP リダイレクトポート	

※ RTSP のライブ映像視聴は非対応

■ポートマッピング

ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。

項目	内容
ポートマッピングを有効	チェックすると、ポートマッピング機能が有効になります。 （初期値：有効）
マッピングモード	**UPnP（初期値）**：ネットワーク上の他のデバイスを検出し、データ共有や通信などのネットワークサービスを確立できます。本製品で UPnP を使用するには、接続先のルーターで UPnP を有効にする必要があります。UPnP がネットワークアドレス変換（NAT）に対応していると、本製品のポートは自動的にルーターにマッピングされ、コンピュータは LAN の外部から本製品にアクセスできます。 **手動**：ルーターが UPnP をサポートしていない場合は［手動］を選択します。
UPnP マッピング	ポートを手動でマッピングする場合は、［手動］を選択します。 ●［自動］を選択することをおすすめします。正しく設定されていないと、ポートが競合します。 ［自動（初期値）／手動］
HTTP ポート **RTSP ポート** **HTTPS ポート**	［マッピングモード］または［UPnP マッピング］を［手動］に設定しているときに、ポート番号を設定します。 ●本製品の内部ポートと外部ポートがルーターのポートと一致している必要があります。 ●一部のルーターは、本製品とルーターに同じ内部ポートと外部ポートを設定する必要があります。
HTTP リダイレクトポート	HTTP リダイレクトポートは新しい場所への通信において、通信ポートを指定します。
RTSP リダイレクトポート	データの転送先が変更されても、クライアントは正しく新しい場所にアクセスできるようになります。

●ポートマッピングが完了したら、Web ブラウザのアドレスバーに以下を入力すると、本製品の Web 管理画面にアクセスできます。
http://（ルーターの WAN ポート IP アドレス）:（外部 HTTP ポート）
例）IP アドレス：10.2.2.10
外部 HTTP ポート番号：82　の場合は、
http://10.2.2.10:82

●この機能を使うためには、本製品が接続されているネットワーク上にあるルーターの設定も必要となります。インターネット側からのアクセスを受け入れる設定のため、セキュリティに充分配慮の上で設定を実施してください。

■マルチキャスト

本製品では設定できません。

■ FTP

本製品では設定できません。

システム

基本

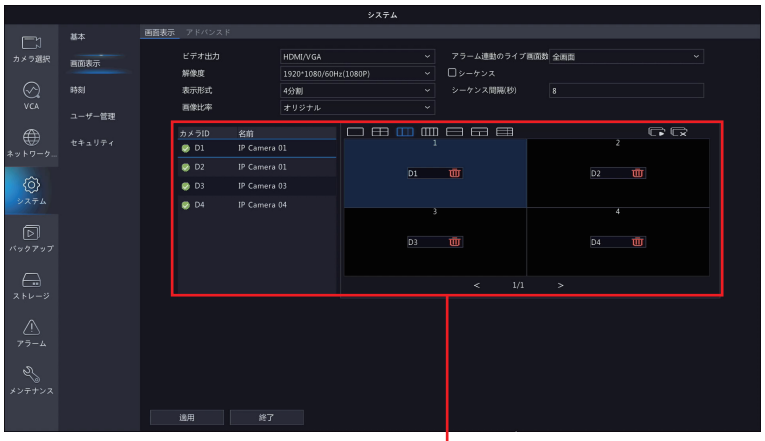
システムの基本的な設定をします。

項目	内容
デバイス名	本製品のデバイス名が表示されます。
デバイス ID	本製品のデバイス ID が表示されます。
表示言語	管理画面の表示言語を以下の中から選択します。[English ／日本語（初期値）]
オートログアウト時間（分）	一定時間操作しなかったときに、自動的にログアウトするまでの時間を設定します。 ［無効］に設定すると、自動的にログアウトしません。 [1 ／ 5（初期値）／ 10 ／ 15 ／ 20 ／ 25 ／ 30 ／無効]
即時再生（分）	ライブビュー上で簡易再生するときに、逆上る時間を設定します。[0～60分(初期値:5)]
マウスポインタの速度	マウスポインタの速度を 4 段階で設定できます。スライダーを右に移動させるほど速くなります。[1 ～ 4（初期値：1)]
パスワード保護を有効にします	チェックを外すと、パスワードを入力せずに管理画面に入ることができるようになります。この項目は、管理者のみ変更できます。(初期値：有効)
スタートアップ時ウィザード有効	チェックすると、電源オン時に毎回初期設定ウィザードを表示します。［ウィザード］をクリックすると、すぐに初期設定ウィザードが表示されます。

画面表示

■画面表示

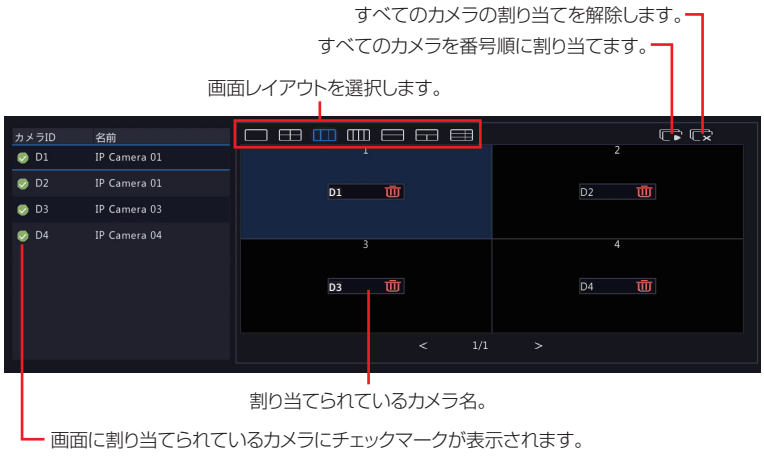
管理画面の画面表示を設定します。



項目	内容
ビデオ出力	設定変更はできません。
解像度	管理画面の解像度を選択します。 **4ch モデル：** [1024*768/60Hz ／ 1280*720/60Hz ／ 1280*1024/60Hz（初期値）／ 1600*1200/60Hz ／ 1920*1080/50Hz(1080P) ／ 1920*1080/60Hz(1080P) ／ 3840*2160/30Hz(4K)] **8ch ／ 16ch モデル：** [1024*768/60Hz ／ 1280*720/60Hz ／ 1280*1024/60Hz（初期値）／ 1600*1200/60Hz ／ 1920*1080/50Hz(1080P) ／ 1920*1080/60Hz(1080P) ／ 3840*2160/60Hz(4K)] スクロールホイールを 3 秒以上押すと、デフォルトの解像度に戻すことができます。
表示形式	ライブビューの表示方法を設定します。 （表示形式は、使用するモデルによって異なります）
画像比率	画像の比率を設定します。 [フル／オリジナル（初期値）]
アラーム連動のライブ画面数	アラームが発生したときにライブを表示する画面モードを設定します。 **4ch モデル：**[全画面（初期値）／ 4 分割] **8ch ／ 16ch モデル：**[全画面（初期値）／ 4 分割／ 9 分割]
シーケンス	チェックすると、設定した間隔で自動的にライブビューの画面表示が切り換えられます。画面が分割表示に設定されているとき、チェックしても画面が切り換わりません。 （初期値：無効）
シーケンス間隔（秒）	シーケンス表示時の表示時間を設定します。[8 ～ 3600（初期値：8）]

レイアウト設定ウィンドウ

ライブビューのレイアウトを設定することができます。



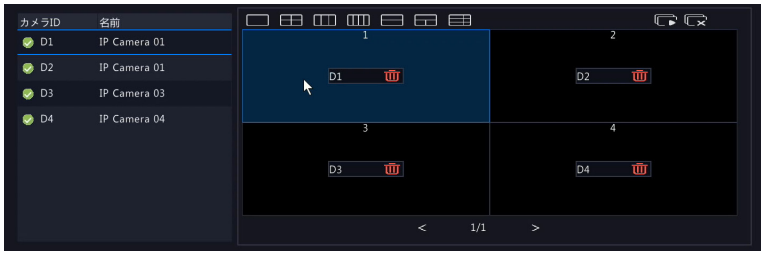
＜各場所に割り当てられているカメラを変更したいとき＞

例）上図の状態を、以下の状態に変更したい場合

ウィンドウ「1」:「D1」⇒「D2」のカメラに変更

ウィンドウ「2」:「D2」⇒「D1」のカメラに変更

①「1」をクリックして選択状態にします。



②左のリストから「D2」のチェックマークをクリックします。

ウィンドウ「1」に「D2」が設定され、ウィンドウ「2」の選択が「なし」になります。

③ウィンドウ「2」をクリックしたあと、左のリストから「D1」をクリックします。

ウィンドウ「2」に「D1」のカメラが設定されます。

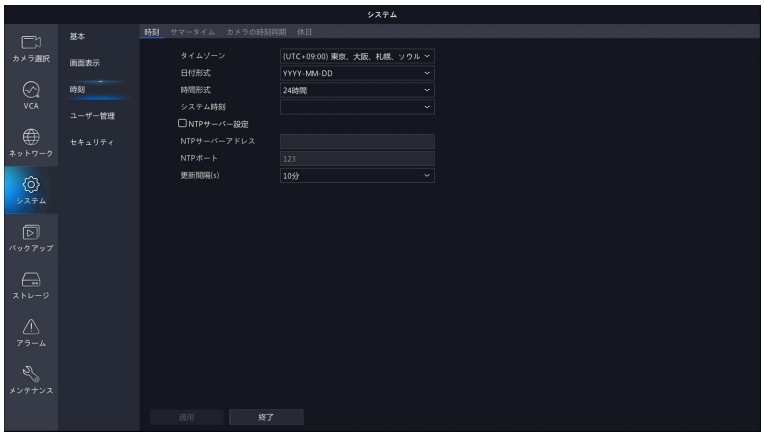
■アドバンスド

項目	内容
サブストリーム優先	有効にするとライブ映像にサブストリームの映像を表示します。（初期設定：無効）

時刻

■時刻

本システムの時刻を設定します。

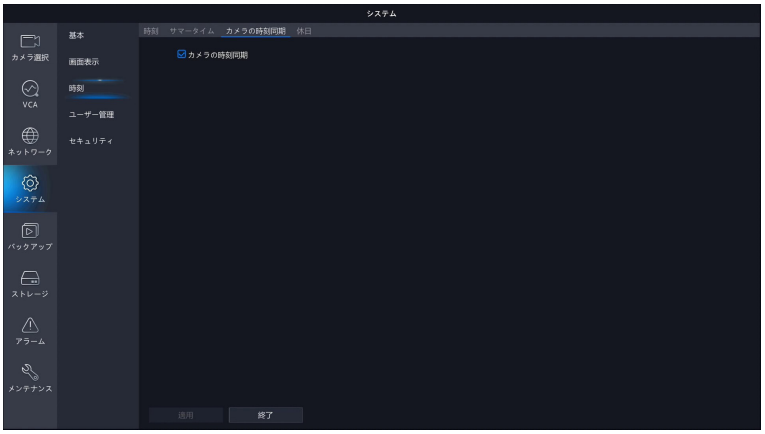


項目	内容
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
日付形式	カメラ映像の左上に表示する日付の形式を選択します。 例）「YYYY-MM-DD」の場合「2021-02-12」と表示
時間形式	時間表示形式を選択します。[12 時間／ 24 時間（初期値）]
システム時刻	システム時刻を設定します。
NTP サーバー設定	NTP（ネットワークタイムプロトコル）を使用する場合はチェックします。（初期値：無効）
NTP サーバーアドレス	NTP を使用する場合は、NTP サーバーのアドレスを入力します。
NTP ポート	NTP を使用する場合は、NTP サーバーのポート番号を入力します。
更新間隔（s）	NTP を使用する場合は、時刻を更新する間隔を設定します。 [5 分／ 10 分（初期値）／ 15 分／ 30 分／ 1 時間／ 2 時間／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 1 日／ 1 週間]

■サマータイム

項目	内容
サマータイム有効	指定した期間、指定した時差でサマータイムを適用できます。
開始時刻	開始時刻と終了時刻を設定します。
終了時刻	
サマータイム調整	サマータイムをする季節に合わせて、サマータイムと標準時間の差を設定します。

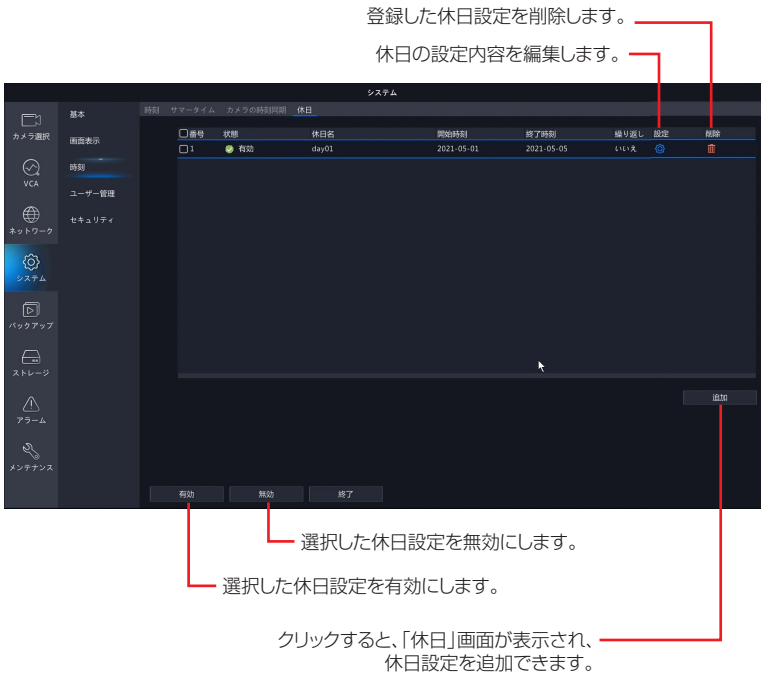
■カメラの時刻同期



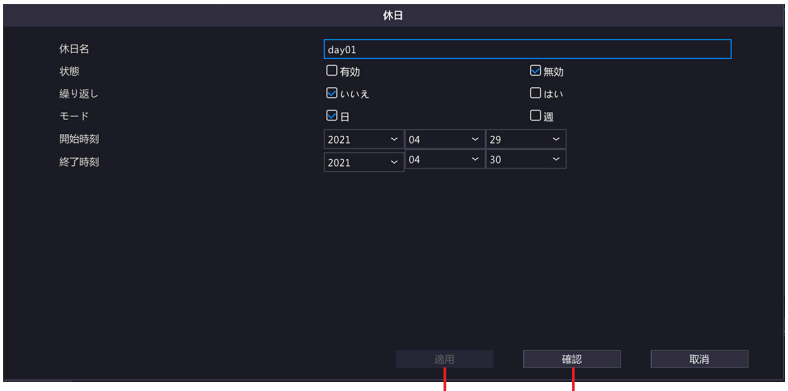
項目	内容
カメラの時刻同期	チェックすると、本製品と接続しているカメラの時刻を本製品の時刻に合わせます。通常はチェックを外さずにご利用ください。（初期値：有効）

■休日

休日を定義します。定義した休日は、録画スケジュールを設定するときに利用します。



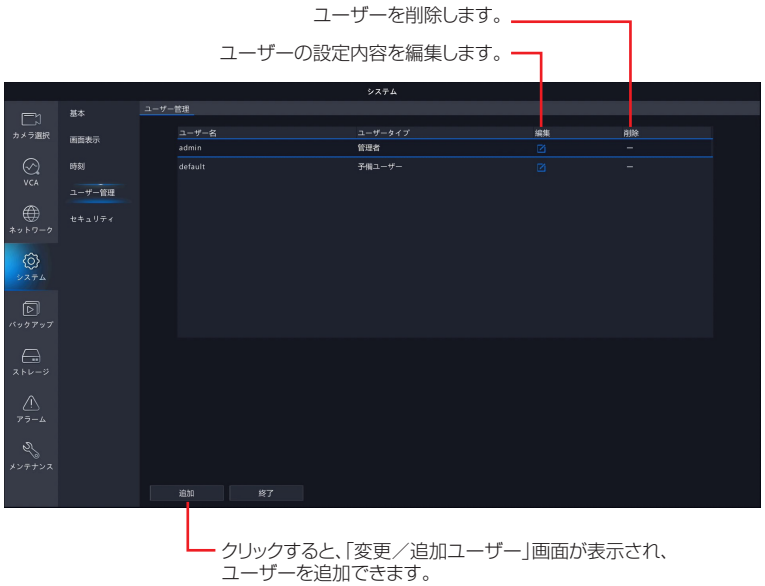
「休日」画面



項目	内容
休日名	休日の名称を設定します。
状態	追加する休日を有効にするか無効にするか設定します。 （初期値：有効）
繰り返し	［はい］を選択すると、日ごとまたは週ごとに休日を繰り返します。 （初期値：いいえ）
モード	［繰り返し］で［はい］を選択している場合に、日ごとに繰り返すか、週ごとに繰り返すか設定します。 ［日（初期値）／週］
開始時刻（開始日時）／終了時刻（終了日時）	休日に設定する日付を設定します。 （［繰り返し］または［モード］で選択している項目によって設定内容が異なります）

ユーザー管理

ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。



項目	内容	
ユーザータイプ	**管理者**	すべてのアクセス権を持ちます。 初期パスワードは「123456」です。
	予備ユーザー	ログインなしでライブビューと双方向オーディオを利用可能にするために、あらかじめ登録されているシステム用ユーザーです。新たに作成したり、削除することはできません。また、このユーザーでログインすることもできません。
	オペレーター	基本的な権限とカメラへのアクセス権があります。 基本権限・カメラ権限を設定することができます。
	ゲスト	初期設定ではカメラにのみアクセスできます。 初期設定ではカメラ権限を設定することができます。 権限の設定変更を行い、基本的な権限へのアクセス権と、基本権限の設定もすることができます。

［変更 / 追加ユーザー］画面

重要

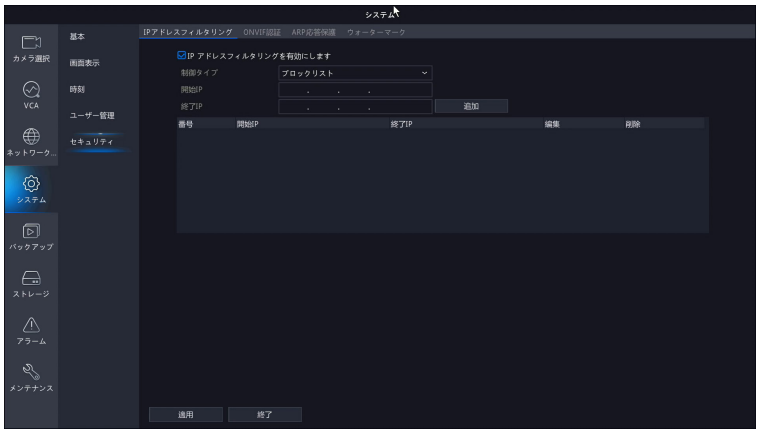
- **初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。**
- **変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。**
- **パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。弊社カスタマーセンターへお問い合わせください。**

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ユーザー名</td><td>1 ～ 18 文字でユーザー名を設定します。英字（A-Z,a-z）、数字（0-9）、アンダーバー（_）、ハイフン（-）が利用できます。英字の大文字と小文字は区別されます。</td></tr>
<tr><td>ユーザータイプ</td><td><table>
<tr><td>オペレーター</td><td>初期設定では、基本権限とカメラへのアクセス権があります。</td></tr>
<tr><td>ゲスト</td><td>初期設定ではカメラにのみアクセスできます。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td>9 ～ 20 文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字･記号を組み合わせたパスワードを設定してください。
スペースは使用できません。</td></tr>
<tr><td>パスワード（確認）</td><td>確認のため、設定したパスワードを再度入力します。</td></tr>
<tr><td>パターン</td><td>パスワード入力の代わりに、登録したアンロックパターンでロック解除ができるようになります。チェックを入れるとアンロックパターンの登録画面が表示されます。</td></tr>
<tr><td>基本権限</td><td>付与する権限を設定します。<table>
<tr><td>設定</td><td>管理画面にアクセスすることができます。</td></tr>
<tr><td>アップグレード</td><td>システムのアップグレードができます。</td></tr>
<tr><td>ログの表示とエクスポート</td><td>システムのログを表示したり、書き出すことができます。</td></tr>
<tr><td>再起動</td><td>システムを再起動することができます。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>スマートプレビュー</td><td>本製品では使用できません。</td></tr>
<tr><td>カメラ権限</td><td>カメラごとに付与する権限を設定することができます。選択している項目に対して、チェックが入っているカメラは以下のように権限が与えられます。<table>
<tr><td>ライブビュー</td><td>ライブビューを表示したり、双方向通話ができます。</td></tr>
<tr><td>PTZ 制御</td><td>PTZ 制御パネルでカメラを制御できます。</td></tr>
<tr><td>再生</td><td>録画された映像を再生できます。</td></tr>
<tr><td>NVR マニュアル録画</td><td>マニュアル録画をすることができます。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>カメラ名</td><td>「カメラ権限」を設定するカメラにチェックを入れます。</td></tr>
</table>

●モニター管理画面で入力したユーザー名・パスワードは、すべて半角文字となります。
●ユーザーは最大 33 ユーザー※まで登録できます。
（あらかじめ登録されている「admin」「default」ユーザーを含む）

セキュリティ

指定した IP アドレスからネットワークレコーダーへのアクセスを許可または禁止することができます。

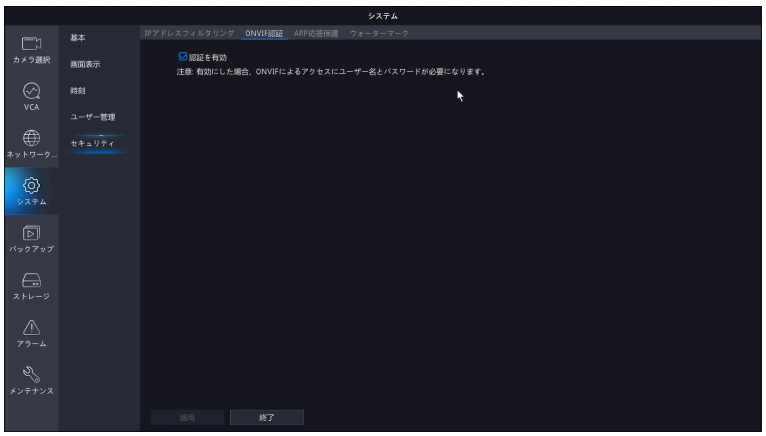


■ IP アドレスフィルタリング

項目	内容
IP アドレスフィルタリングを有効にします	チェックすると、IP 制御機能が有効になります。（初期値：無効）
制御タイプ	**ブロックリスト**：指定した IP アドレスからのアクセスを拒否します。 **許可リスト**：指定した IP アドレスのみアクセスを許可します。IP アドレスを指定せずに、「許可リスト」を選択すると、リモートアクセスをすべて拒否します。 制御タイプを変更したときには、「適用」ボタンを押して変更を先に確定してください。
開始 IP	ブロックリストまたは許可リストに追加する IP アドレスの範囲を入力します。 ［追加］をクリックすると、入力した範囲の IP アドレスがリストに追加されます。 「追加」の場合は「適用」をクリックしなくても設定が反映されます。 変更する場合は、設定値変更後に「適用」をクリックしてください。
終了 IP	

■ ONVIF 認証

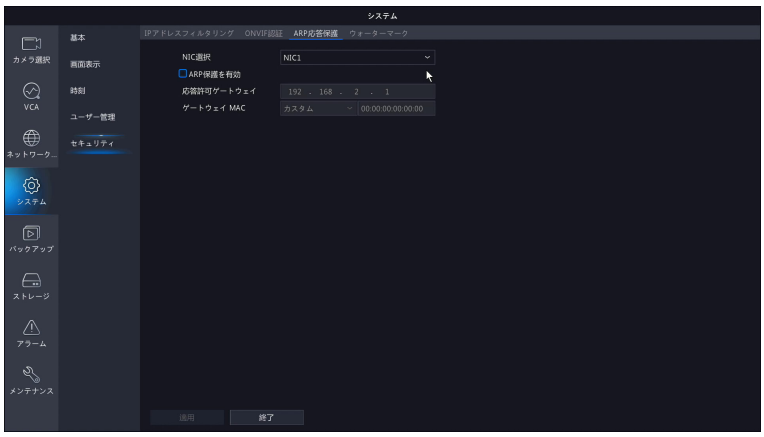
通常は本設定を変更せずご利用ください。使用するカメラによって、異なります。



項目	内容
認証を有効	チェックすると、ONVIF ベースのデバイスアクセスにユーザー名とパスワードが必要になります。（初期値：有効）

■ ARP 応答保護

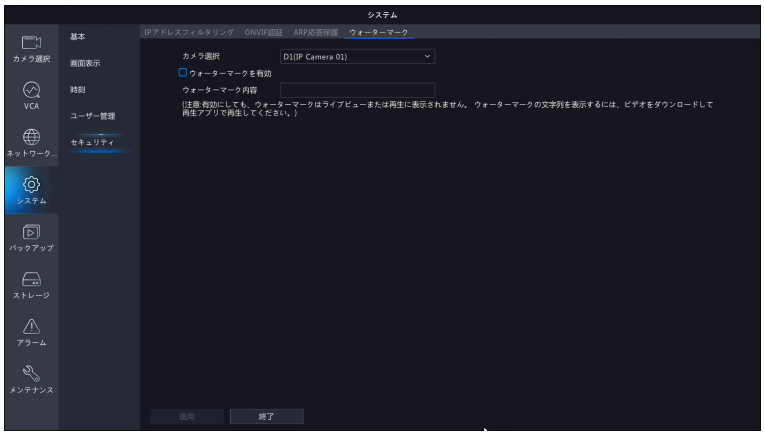
ARP 保護機能を有効にすると、ARP 攻撃を防ぐことができます。



項目	内容
NIC 選択	［NIC1］のみ選択します。
ARP 保護を有効	チェックを入れると、ARP 保護機能が有効になります。（初期値：無効）
応答許可ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレスが表示されます（変更不可）。
ゲートウェイ MAC	ゲートウェイの MAC アドレスを自動的に取得するか、手動で設定します。

■ウォーターマーク

不正な変更を防ぐためにビデオデータの中に、ウォーターマークで設定した文字列を書き込んで、どのカメラで撮影した映像か、あとで確認することができるようになります。



項目	内容
カメラ選択	対象となるカメラを選択します。
ウォーターマークを有効	チェックすると、ウォーターマーク機能が有効になります。（初期値：無効）
ウォーターマーク内容	ウォーターマークとして使用する文字列を入力します。

バックアップ

録画ステータス

■録画バックアップ

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます。

●USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。

●映像のファイル形式は、「.mp4」です。

バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できないときは、156 ページをご確認ください。

項目	内容
開始時刻	映像の開始時刻を指定します。
終了時刻	映像の終了時刻を指定します。
録画タイプ	バックアップする映像の種類を指定します。 **すべて（初期値）**：すべての映像から選択します。 **ノーマル**：通常の録画映像から選択します。 **手動**：手動録画した映像から選択します。 **イベント**：イベントとして録画された映像から選択します。
イベントタイプ	［録画タイプ］で［イベント］を選択したときに、イベントの種類を以下の中から指定します。 ［すべて（初期値）／動体検知／アラーム／動体検知とアラーム／動体検知またはアラーム／ビデオロス検出／音声検知／人体検出アラーム／人体検知］
VCA タイプ	本製品では使用できません。
ファイルタイプ	映像の種類を以下の中から指定します。［すべて（初期値）／解除／保護］
明瞭度	明瞭度を指定します。[HD（初期値／ SD）]

●検索結果は、検索結果画面（➡ 83 ページ）を参照してください。

画像

■画像バックアップ

本製品のハードディスクに保存されている画像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます。

- USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。
- 画像のファイル形式は、「.jpg」です。

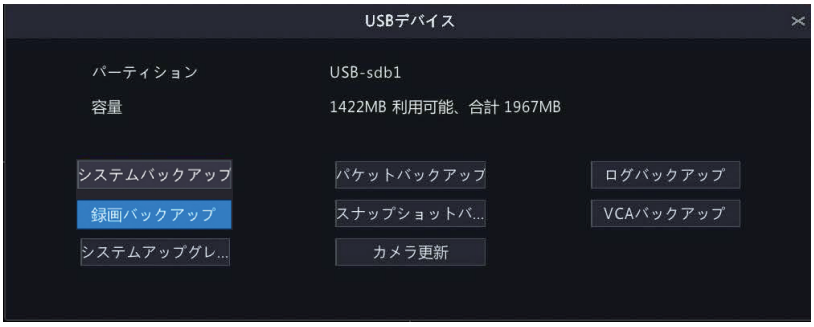
項目	内容
開始時刻	映像の開始時刻を指定します。
終了時刻	映像の終了時刻を指定します。
画像タイプ	画像の種類を以下の中から指定します。 すべて（初期設定）/ ノーマル / 動体検知 / アラーム / 動体検知とアラーム / 動体検知またはアラーム / ビデオロス検出 / 手動スナップショット / プレイバックスナップショット / プレビュースナップショット

検索結果画面

項目	内容
全て バックアップ	すべて画像をバックアップします。
バックアップ	チェックを入れている画像をバックアップします。
ページ操作	≪ ページを先頭に戻します。 < 1ページ前に戻します。 > 1ページ先に進みます。 ≫ 最終ページに進みます。 1 → 入力したページに進みます。

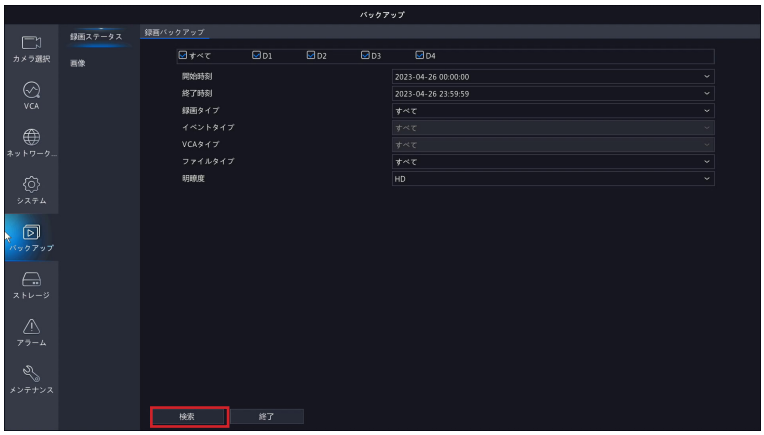
録画データをバックアップする

1 ホーム画面で設定メニューアイコンをクリックするか、USB ストレージデバイスを本製品に接続したときに表示されるメニューから「録画バックアップ」を選択します。



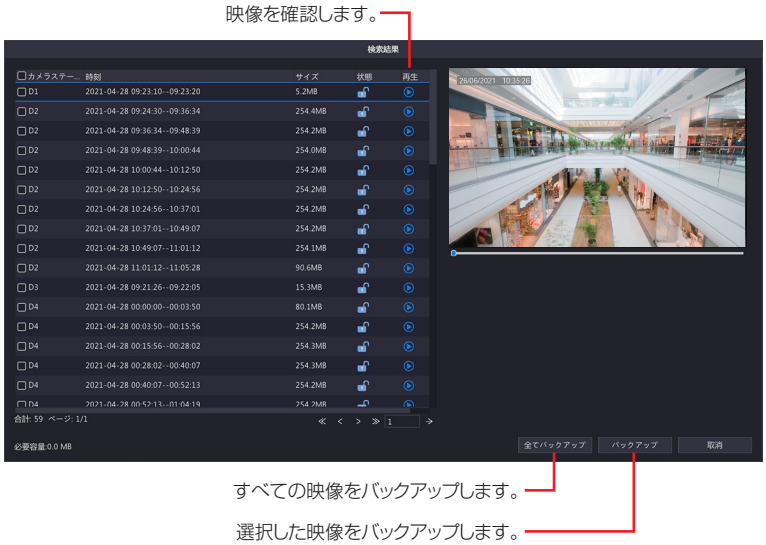
2 ［バックアップ］ー［録画ステータス］をクリックします。
バックアップ画面が表示されます。

3 バックアップしたい映像の条件を指定し、［検索］をクリックします。



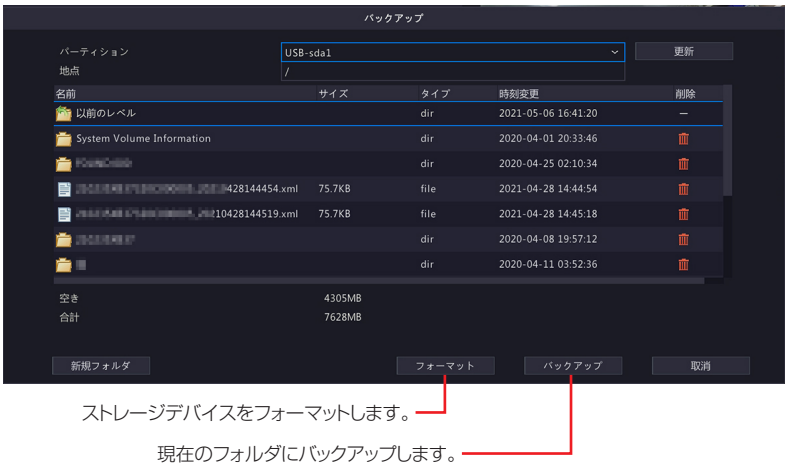
<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>開始時刻</td><td>映像の開始時刻を指定します。</td></tr>
<tr><td>終了時刻</td><td>映像の終了時刻を指定します。</td></tr>
<tr><td>録画タイプ</td><td>バックアップする映像の種類を指定します。
<table>
<tr><td>すべて</td><td>すべての映像から選択します。</td></tr>
<tr><td>ノーマル</td><td>通常の録画映像（手動録画した映像・動体検知録画・アラーム録画含むイベント録画として録画された映像以外）から選択します。</td></tr>
<tr><td>手動</td><td>手動録画した映像から選択します。</td></tr>
<tr><td>イベント</td><td>イベントとして録画された映像から選択します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>イベントタイプ</td><td>［録画タイプ］で［イベント］を選択したときに、イベントの種類を以下の中から指定します。
［すべて（初期値）／動体検知／アラーム／動体検知とアラーム／動体検知またはアラーム／ビデオロス検出／音声検知／人体検出アラーム／人体検知］</td></tr>
<tr><td>VCA タイプ</td><td>本製品では使用できません。</td></tr>
<tr><td>ファイルタイプ</td><td>映像の種類を右記の中から指定します。［すべて (初期設定) ／解除／保護］</td></tr>
<tr><td>明瞭度</td><td>画像の明瞭度を以下の中から指定します。［HD(初期設定) ／ SD］</td></tr>
</table>

4 検索結果画面が表示されますので、バックアップする映像を選択するか、［全てバックアップ］をクリックします。



- 本製品では、カメラの映像を約250MBごとに1つのファイルとして内部で管理しています。バックアップ時もこの内部ファイル単位でバックアップファイルが作成されます。そのため、開始時間・終了時間によっては、複数のファイルが出力されます。
- 録画データのバックアップの際に、外付けのUSBハードディスクを使用する場合、ファイルやフォルダに、2バイト文字（全角文字）が含まれていると、正しく表示されない場合があります。
※外付けのUSBハードディスクのフォーマット形式はFAT32またはNTFSに対応しています。

5 バックアップ画面が表示されますので、フォルダを選択し、[バックアップ] をクリックします。



- ●接続されている USB ストレージデバイスの容量が 2TB を超える場合は、[フォーマット] をクリックすると、NTFS ファイルシステムにフォーマットされます。容量が 2TB 以下の場合、FAT32 または NTFS ファイルシステムにフォーマットされます。
- ●バックアップファイルの名前は、「(カメラ名)(録画開始時間).mp4」となります。(例:Ch9-20150630183546.mp4)
- ●画像のバックアップは、[バックアップ] - [画像] メニューから同じ手順で行います。ファイルの拡張子は「.jpg」となります。

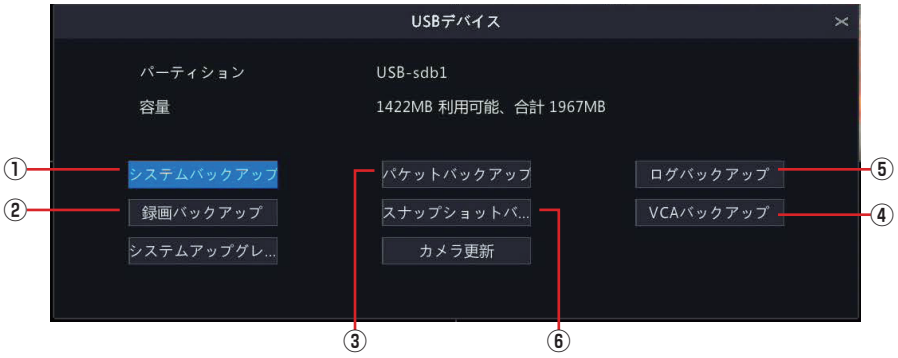
データをバックアップする

本製品の設定データや録画データを USB ストレージデバイスにバックアップすることができます。

1 **USB ストレージデバイスを本製品に接続します。**

2 **USB ストレージデバイス接続後に自動表示されるメニューから、接続している USB デバイスの名前をクリックします。**

3 **［USB デバイス］画面が表示されますので、バックアップメニューをクリックします。**



バックアップ方法は以下の各参照ページをご参照ください。

番号	項目	内容	参照ページ数
①	**システムバックアップ**	設定情報を USB ストレージデバイスに保存したり、保存した設定情報を読み込むことができます。	116 ページ
②	**録画バックアップ**	本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存します。	84 ページ
③	**パケットバックアップ**	パケットをキャプチャして保存します。	83 ページ
④	**VCA バックアップ**	本製品では使用できません。	—
⑤	**ログバックアップ**	ユーザーが実行した操作やデバイスのステータスの履歴を保存します。	116 ページ
⑥	**スナップショットバックアップ**	スナップショットのデータを保存します。	83 ページ

録画データのバックアップの際に、外付けの USB ハードディスクを使用する場合、ファイルやフォルダに、2 バイト文字（全角文字）が含まれていると、正しく表示されない場合があります。
※外付けの USB ハードディスクのフォーマット形式は FAT32 または NTFS に対応しています。

ストレージ

録画ステータス

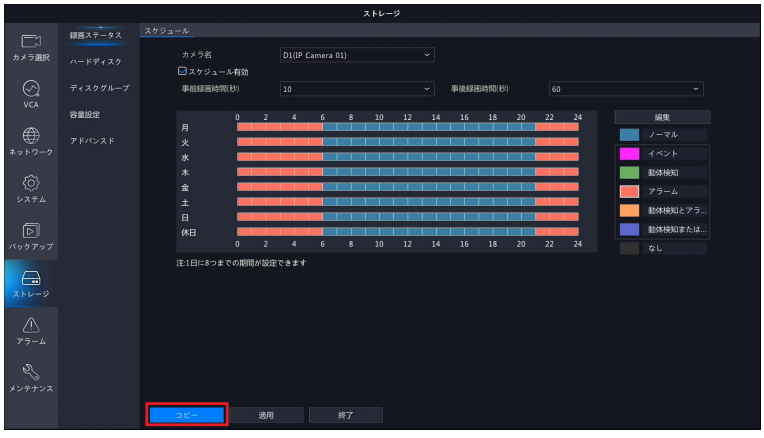
録画スケジュールを表示することができます。
スケジュールの設定は、「録画スケジュールを設定する」（➡ 35 ページ）をご確認ください。

音声付きで録画するときは [オーディオストレージ] にチェックを入れます。

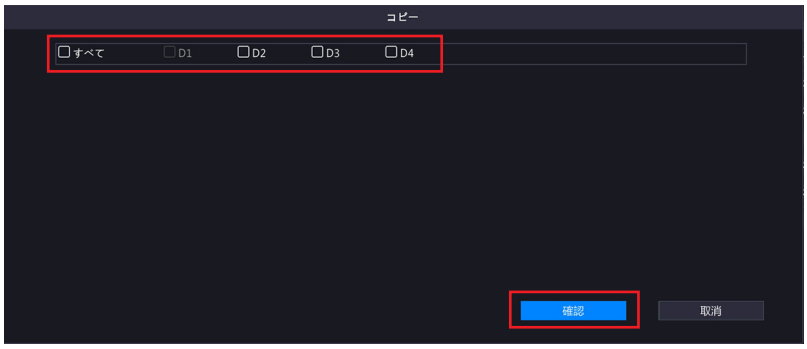
項目	内容
カメラ名	スケジュール設定するカメラを選択します。 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。設定中の場合は、カメラを変更する前に、[適用] をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。
スケジュール有効	チェックを入れると、スケジュール設定が有効になります。（初期値：有効）
オーディオストレージ	チェックを入れると、音声付きで録画ができます。(初期値：無効)
事前録画時間（秒）	指定した時間だけスケジュールの録画開始時間より前に録画を開始します。 [0 ／ 5 ／ 10（初期値）／ 20 ／ 30 ／ 60]
事後録画時間（秒）	指定した時間だけスケジュールの録画終了時間後も録画します。 [5 ／ 10 ／ 30 ／ 60（初期値）／ 120 ／ 300 ／ 600]

スケジュールをコピーする方法

①コピー元となるカメラのスケジュールを表示し、[コピー] をクリックします。



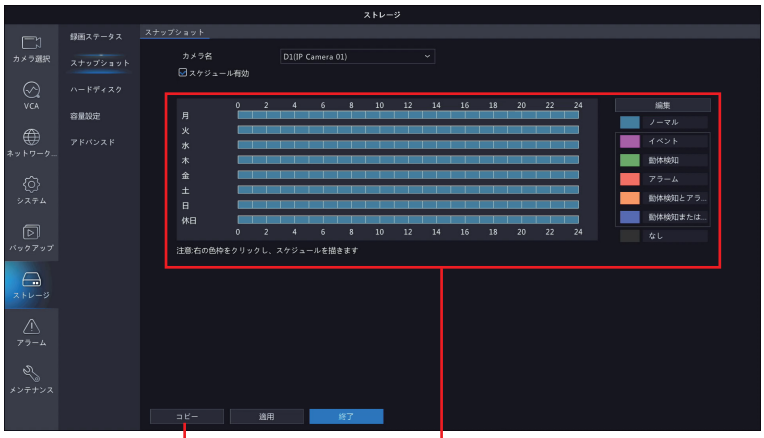
②［コピー］ダイアログボックスが表示されますので、設定をコピーするカメラにチェックを入れ、［確認］をクリックします。



CNE3C シリーズのカメラとレコーダーの通信ができないとき、カメラ内のストレージに録画し、通信が回復したときに、ネットワークレコーダーに映像データを補間する、ANR 機能があります。
この機能はカメラ側で設定する必要があります。
下記の URL よりカメラの取扱説明書（詳細）をご確認ください。
https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualImg/CNE3CBF1.pdf

スナップショット

スナップショット撮影スケジュールを表示することができます。
スケジュールの設定は、「録画スケジュールを設定する」（➡ 35 ページ）をご確認ください。



スケジュール設定ウインドウ

スケジュール設定を他のカメラにコピーします。
スケジュールをコピーする方法については、
録画ステータスと同じです
（➡ 88 ページ）。

項目	内容
カメラ名	スケジュール設定するカメラを選択します。 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。設定中の場合は、カメラを変更する前に、［適用］をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。
スケジュール有効	チェックを入れると、スケジュール設定が有効になります。（初期値：有効）

ハードディスク

内蔵ハードディスクの設定をします。

ハードディスク編集画面

項目	内容	
用途	用途は変更できません。	
プロパティ	**読取 / 書込（初期値）**	読み取りと書き込みができます。
	読取専用	書き込みができなくなります。

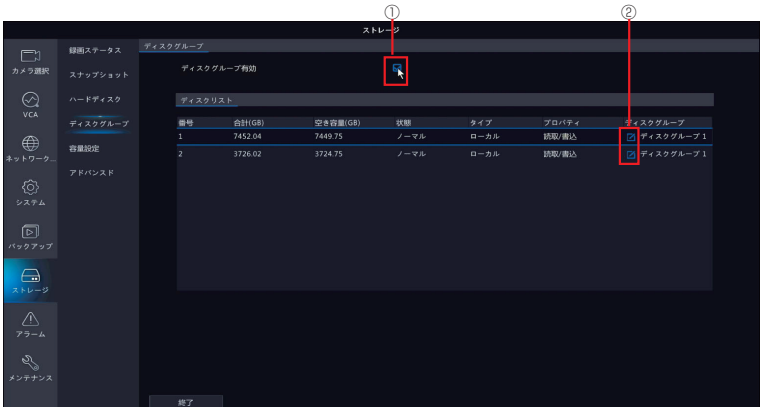
ディスクグループ

ディスクグループを選択します。

ディスクグループを設定する方法

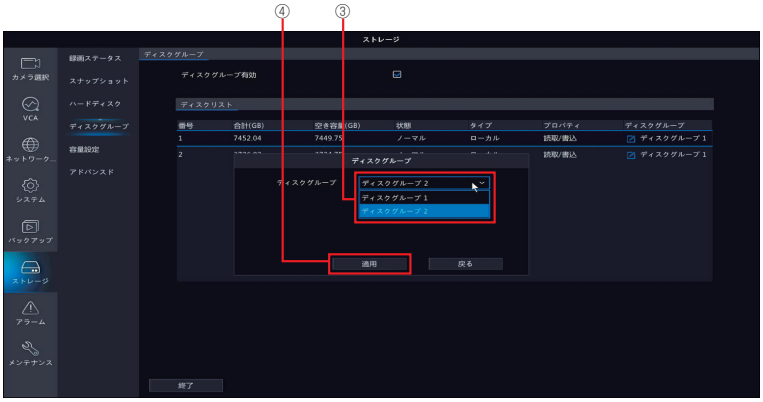
①ディスクグループ有効にするにチェックを入れます。

② (編集) をクリックします。



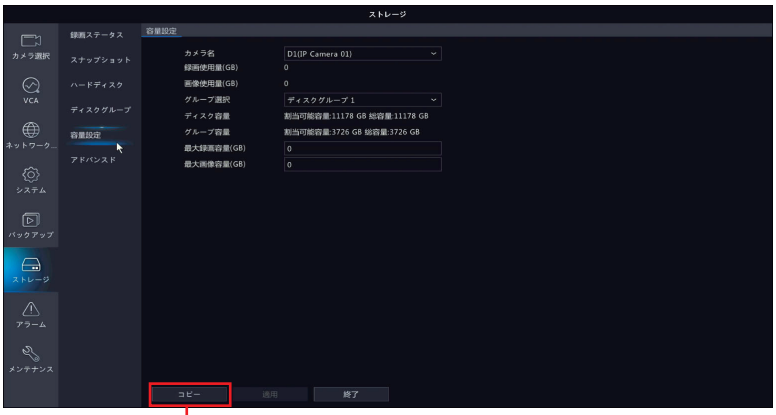
③ディスクグループを選択します

④「適用」をクリックします。



容量設定

カメラごとに映像と画像を保存する場所を設定します。



設定を他のカメラにコピーします。

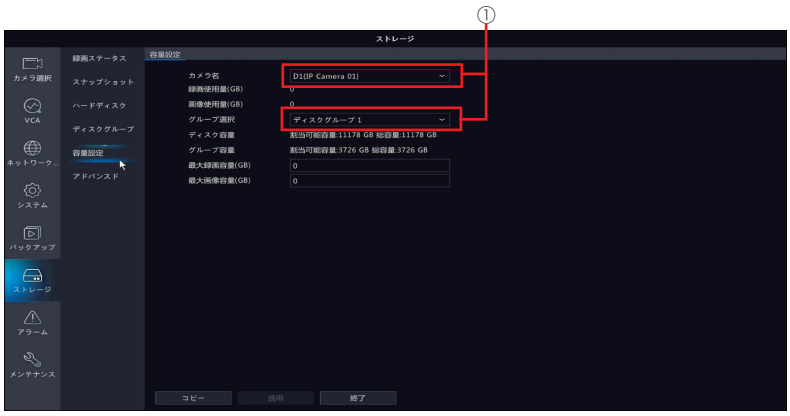
項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。設定中の場合は、カメラを変更する前に、［適用］をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。
録画使用量（GB）	現在使用している録画データのサイズが表示されます。
画像使用量（GB）	現在使用している画像データのサイズが表示されます。
グループ選択	ディスクグループを選択します。
ディスク容量	ディスクの合計容量が表示されます。
グループ容量	ディスクグループの容量が表示されます。
最大録画容量（GB）	保管する録画データサイズの上限を設定します。すでに録画データがある状態でこの設定値を変更すると以前の録画データはそのまま残され、この設定をしたときから、最大録画容量分の空きが確保されます。
最大画像容量（GB）	保管する画像データサイズの上限を設定します。すでに画像データがある状態でこの設定値を変更すると以前の画像データはそのまま残され、この設定をしたときから、最大画像容量分の空きが確保されます。

注意

- **映像の録画ファイルは、約 0.25GB 単位で内部管理されています。そのため、最大録画容量を設定した場合でも、指定した値より 0.25GB 程度多く録画データが作成される場合があります。あらかじめご了承ください。**
- **「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合、利用可能なスペースを最大限利用します。また、HDD がいっぱいになっていても録画 / 画像の保存を停止せず、もっとも古いデータを上書きして（ファイル単位でデータを削除）、録画 / 画像の保存を継続します。**

録画領域の選択（グループ分け）をする方法

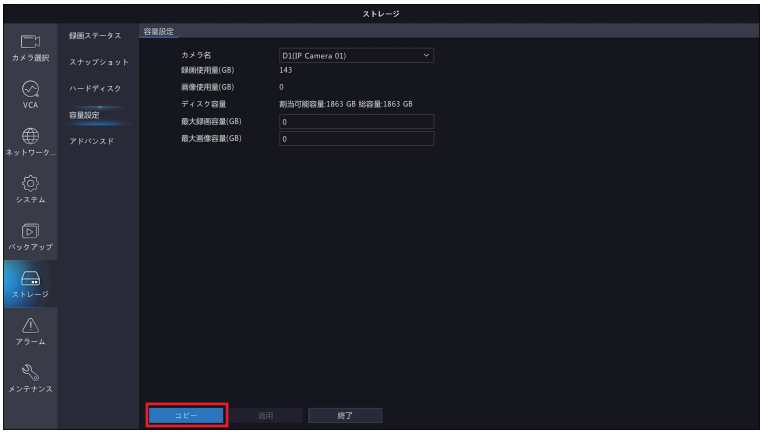
①設定するカメラ名およびディスクグループを選択し、「適用」をクリックします。
　この時、録画できる最大容量などの制限設定もできます。



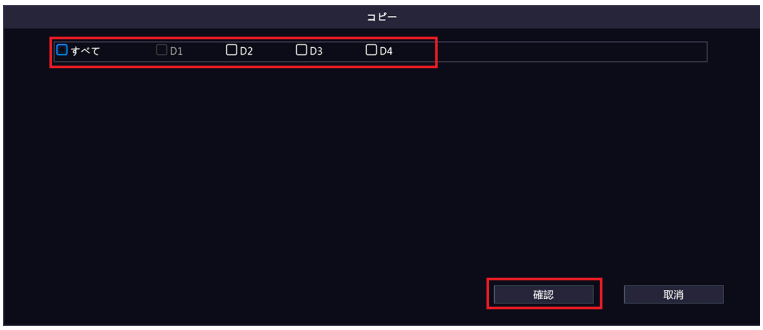
ディスクグループが無効となっている場合、「グループ選択」「グループ容量」は表示されません（➡ 92 ページ）。

容量設定をコピーする方法

①コピー元になるカメラの内容を設定し、［コピー］をクリックします。



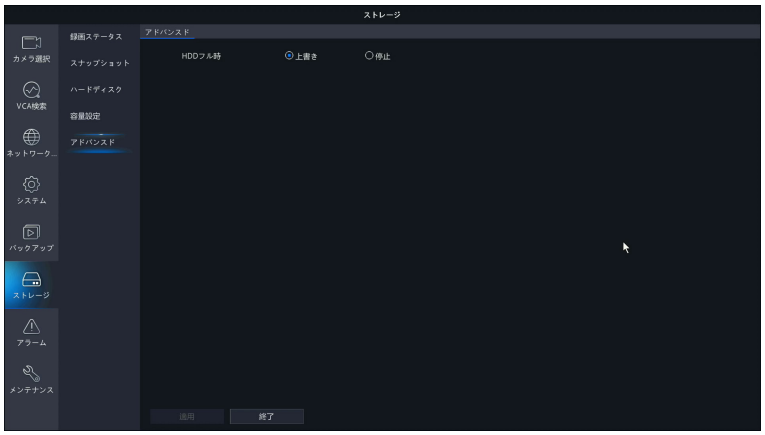
②［コピー］ダイアログボックスが表示されますので、設定をコピーするカメラにチェックを入れます。



③［確認］をクリックします。

アドバンスド

ディスク容量が満杯になったときの動作を設定します。



項目	内容	
HDD フル時	**上書き（初期値）**	容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合： まず割り当てられていないスペースを使用します。 そのスペースがなくなると、もっとも古いデータが上書きされます (ファイル単位でデータを削除)。 容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）以外の場合： 割り当てられたスペースを使い切ると、もっとも古いデータが上書きされます。
	停止	容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合： まず割り当てられていないスペースを使用します。 そのスペースがなくなると、もっとも古いデータが上書きされます（ファイル単位でデータを削除）。 容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）以外の場合： 割り当てられたスペースを使い切ると、それ以上録画 / 画像データは保存されません。

注意 **容量設定画面で設定した、「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合は、「停止」を選択しても、古いデータを上書きして録画を継続します。**

アラーム

映像に動きや妨害行為を検知したときや、映像が中断したときにブザーや E メールで通知することができます。

項目	内容	参照ページ
動体検知	動体検知機能を有効にすると、動きを検知したときにアラームを出力します (初期設定では有効になっています)。	145 ページ
タンバリング	タンバリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。	100 ページ
ビデオロス	カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力します。初期設定では有効になっています。	101 ページ
人体検知	CNE シリーズのカメラではこの機能はサポートされておりません	100 ページ
ビデオロス検出	カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力し、カメラの LAN 切断などのトラブルを検出できるようになります	101 ページ
入力 / 出力	本製品背面にある ALM IN 端子、カメラの ALM IN 端子への入力と連動する機能を設定します。	102 ページ
システム警告	システムに関する警告について設定します。	104 ページ
音声検知	カメラが突然の音の変化を検知したときに右上にアラームアイコンが表示されます。	105 ページ
ブザー	ブザーを鳴らす時間を設定します。	106 ページ
ドアベルコール	CNE シリーズのカメラではこの機能はサポートされておりません	106 ページ
人体検出アラーム	カメラが設定したしきい値を超えた人数をカウントしたときにアラームアイコンが表示されます。	107 ページ
ワンキー警戒解除	ネットワークレコーダまたはカメラで設定したすべてのアラームの解除するスケジュールを設定したりすることができます。	108 ページ

アラームの表記形式

アラームは以下の形式で入力／出力されます。
［機器の種類］［入出力］［機器のアラーム端子番号］
（例）　A<-1：ネットワークレコーダーのアラーム入力
　　D9<-2：ネットワークカメラ（カメラ ID9）のアラーム入力 2
　　D11->1：ネットワークカメラ（カメラ ID11）のアラーム出力

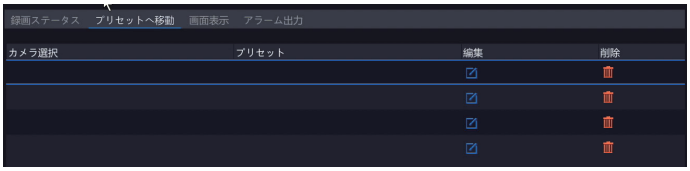
機器の種類	A:ネットワークレコーダー D+ 数字:ネットワークカメラ＋登録番号（カメラステータス画面に記載されたカメラ ID）
入出力	＜ - ：アラーム入力　- ＞：アラーム出力
機器のアラーム端子番号	数字：アラームの番号 ※アラームの入出力が各 1 つの場合は「1」、複数のアラームがある場合にはアラーム端子の番号に対応します。

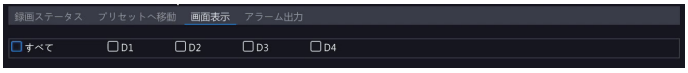
〈連動動作設定〉

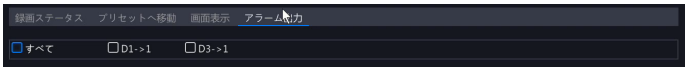
各メニューで連動動作を設定します。

項目	内容
ブザー	チェックを入れると、イベントが発生した場合、ブザー音を鳴らします。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>E メール送信</td><td>チェックを入れると、イベントが発生した場合、E メールを送信します。
E メールの設定は、65 ページをご確認ください。
✎ 以下のような E メールが送信されます。
件名「デバイスアラーム」(イベントタイプ : 発生したイベント名 , カメラ ID:**)
本文
「これはデバイスから自動的に作成されたメールです」
アラーム時刻 :（アラーム発生年月日・時分秒）
カメラ名 :（カメラ名）
デバイス名 :（レコーダー名）
S/N 値 :（レコーダーのデバイス番号）</td></tr>
<tr><td>ポップアップウインドウ</td><td>チェックを入れると、イベントが発生した場合、ポップアップウィンドウを表示します。</td></tr>
<tr><td>連動カメラ設定</td><td>連動動作の内容を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。
＜録画ステータス＞
侵入検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。

＜プリセットへ移動＞
本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在はご利用いただくことはできません。
 

＜画面表示＞
検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。
 

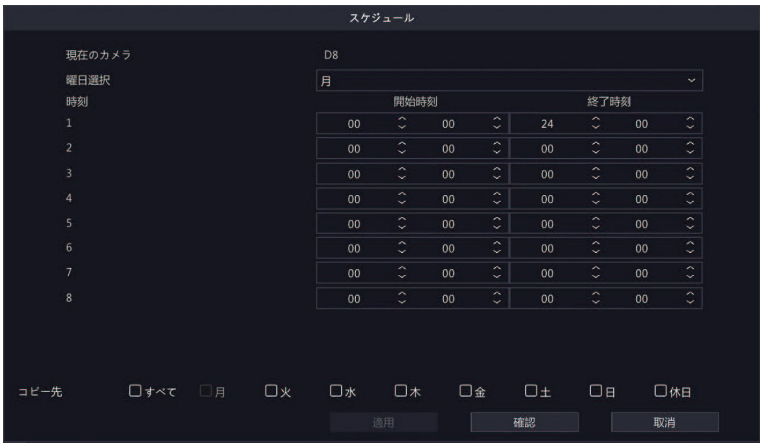
＜アラーム出力＞
検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。
 

＜アラーム音＞（屋内用 PTZ カメラのみ）
アラーム音のスケジュールを設定します。

<table>
<tr><td>アラーム音</td><td>アラーム音を出力するときは、チェックを入れます。</td></tr>
<tr><td>曜日選択</td><td>時間設定する曜日を選択します。</td></tr>
<tr><td>開始時刻 / 終了時刻</td><td>選択したアラーム音を有効にする時間を設定します。</td></tr>
<tr><td>音声検出</td><td>出力する音声を選択します。</td></tr>
<tr><td>繰り返し</td><td>繰り返し回数を選択します [0 ～ 50（初期値：3）]</td></tr>
<tr><td>コピー先</td><td>ほかの曜日に設定をコピーします。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

〈スケジュール設定〉

各メニューで検知を有効にするスケジュールを設定します。



項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は「休日」（➡ 76 ページ）をご確認ください。
開始時刻 / 終了時刻	イベントの発生を有効にする時間を設定します。
コピー先	ほかの曜日に設定をコピーします。

動体検知

動体検知機能を有効にすると、動体を検知したときにライブビューの右上にアラームアイコンが表示されます。
初期設定では動体検知は有効になっています。

アラームアイコン：

項目	内容
カメラ名	動体検知を設定するカメラを選択します。
有効	チェックを入れると、選択しているカメラの動体検知機能が有効になります。 （初期値：有効）
感度	動体検知の感度を設定します。感度の数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやくなります。［1 ～ 100（初期値：98）］

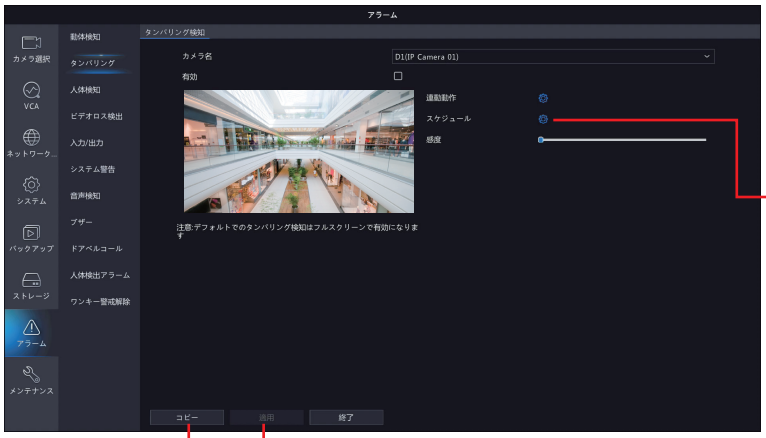
設定後は［適用］をクリックして設定を完了します。

動体検知連動動作画面

動体検知をしたときに連動させる動作を設定します。

タンパリング

タンパリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力し、カメラを覆い隠すようなイタズラがあったときに検知できるようになります。初期設定では無効になっています。



項目	内容
カメラ名	タンパリング機能を設定するカメラを選択します。
有効	チェックを入れると、選択しているカメラのタンパリング機能が有効になります。 (初期値：無効)
感度	タンパリングの感度を設定します。感度の数値が高いほど（スライダーが右にあるほど)、検知しやくなります。[1 ～ 100（初期値：1)]

タンパリング連動動作画面

タンパリング検知をしたときに連動させる動作を設定します。
連動動作の設定方法は、〈スケジュール設定〉と同じです（➡ 97 ページ)。
スナップショットの設定方法は、スナップショット（➡ 90 ページ）を参照してください。

人体検知

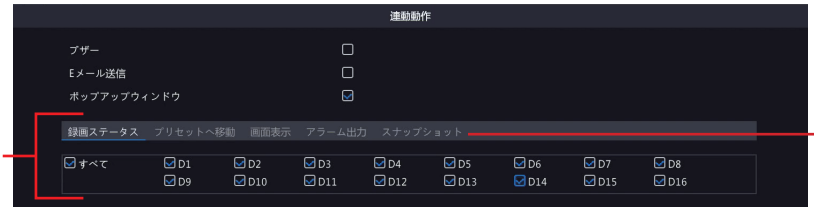
CNE3C シリーズのカメラではこの機能はサポートされておりません。

ビデオロス検出

カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力し、カメラの LAN ケーブル切断などのトラブルを検知できるようになります。初期設定では有効になっています。

ビデオロス連動動作画面

ビデオロスを検知したときに連動させる動作を設定します。



連動動作の設定方法は、94 ページを参考にしてください。

スナップショットの設定方法は、スナップショット（➡ 90 ページ）を参照してください。

ビデオロス検知に録画の開始、プリセット、ライブビュー動作を連動させることはできません。

入力／出力

■アラーム入力

本製品背面にある ALM IN 端子、カメラの ALM IN 端子への入力と連動する機能を設定します。
※ CNE3R421、CNE3R441、CNE3R461 では設定できません。

アラーム入力画面

アラーム入力設定を行います。

項目	内容
アラーム入力	チェックするとアラーム入力が有効になります。（初期値：有効）
アラーム入力名	アラーム名を入力します。
アラームタイプ	常時オン、または常時オフを選択します。 **常時オン**：通常はオンの状態で、オフになるとアラームが発生したと認識します。（N.C.） **常時オフ（初期値）**：通常はオフの状態で、オンになるとアラームが発生したと認識します。（N.O.）

アラーム入力連動動作画面

アラームに連動させる動作を設定します。
連動動作の設定方法は、〈スケジュール設定〉と同じです（➡ 97 ページ）。
スナップショットの設定方法は、スナップショット（➡ 90 ページ）を参照してください。

■アラーム出力

アラーム出力を設定します。

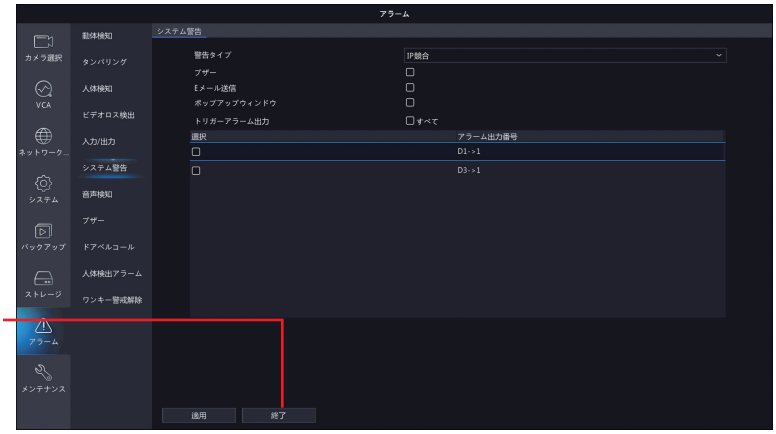
アラーム出力画面

アラーム出力設定を行います。

項目	内容
デフォルト状態	常時オン、または常時オフを選択します。 **常時オン**：通常はオンの状態で、アラームが発生するとオフになります。(N.C.) **常時オフ（初期値）**：通常はオフの状態でアラームが発生するとオンになります。(N.O.)
アラーム持続時間	アラームが出力される時間を設定します。 **カスタム（初期値）**：指定した秒数アラームを鳴らします。 **最大**：最大の時間アラームを鳴らします。
遅延	対象イベントを検知してから実際にアラームを発生させるまで（アラーム状態を変化させるまで）の時間を設定します。設定した時間が短すぎると、アラーム出力が過剰に発生する場合があります。時間が長すぎると、検知からアラームによる通知が遅くなりすぎる場合があります。利用する環境に合わせて、調整をしてください。 [5 ～ 3600（初期値：30)]（秒）
リレーモード	この機能はサポートされておりません。

システム警告

システムに関する警告について設定します。

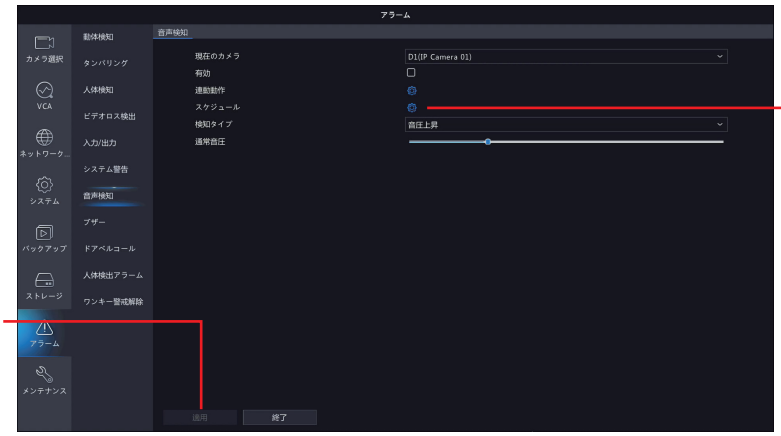


設定後は［適用］をクリックして設定を完了します。

項目	内容
警告タイプ	設定する警告のタイプを選択します。 **IP 競合（初期値）**：本製品と同じネットワークにある別の機器が同じ IP アドレスを持っているとき **ネットワーク未接続**：ネットワークが切断されたとき **ディスクオフライン**：ディスクが正しく接続されていないか、損傷しているとき **ディスク異常**：ディスクは検出しているがアクセスができないとき **不正アクセス**：ログイン時に存在しないユーザー名または正しくないパスワードが入力されたとき **ハードディスクの空き容量が少ない**：残りのディスク容量が 10%未満になったとき **ハードディスクフル**：ディスク容量がなくなったとき **録画 / スナップショット異常**：録画映像やスナップショット画像の保存場所がみつからないとき
ブザー	チェックを入れると、選択中の警告が発生したときにブザーが鳴ります。（初期値：無効）
E メール送信	チェックを入れると、選択中の警告が発生したときにメールを送信します。 E メールの設定は 65 ページの「E メール」をご参照ください。 ✎ **発生した警告タイプにより、以下のような E メールが送信されます。** 件名「デバイスアラーム（イベントタイプ :IP 競合）」 件名「デバイスアラーム（イベントタイプ : ディスクオフライン）」 件名「デバイスアラーム（イベントタイプ : ディスクエラー）」 件名「デバイスアラーム（イベントタイプ : ネットワーク未接続）」 件名「デバイスアラーム（イベントタイプ : 容量不足 , カメラ ID:**）」 件名「デバイスアラーム（イベントタイプ : 不正アクセス）」 件名「デバイスアラーム（イベントタイプ : 録画 / スナップショット異常 , カメラ ID:**）」 本文「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻 :（アラーム発生年月日・時分秒） カメラ名 :（カメラ名）※ デバイス名 :（レコーダー名） S/N 値 :（レコーダーのデバイス番号）」 ※「IP 競合」「ディスクオフライン」「ディスク異常」「ネットワーク未接続」「不正アクセス」では、カメラ名は記載されません。 （初期値：無効）
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、選択中の警告が発生したときにポップアップウィンドウが表示されます。（初期値 : 無効）
トリガーアラーム出力	アラーム出力を有効にするカメラを選択します。［すべて］にチェックを入れると、本製品およびカメラすべてのアラーム出力を選択します。

音声検知

音声検知機能を有効にすると、カメラが突然の音の変化を検知したときに右上にアラームアイコンが表示されます。初期設定では無効になっています。



音声検知を有効にするスケジュールを設定します。
設定方法は、〈スケジュール設定〉と同じです
（➡ 97 ページ）。

設定後は［適用］をクリックして設定を完了します。

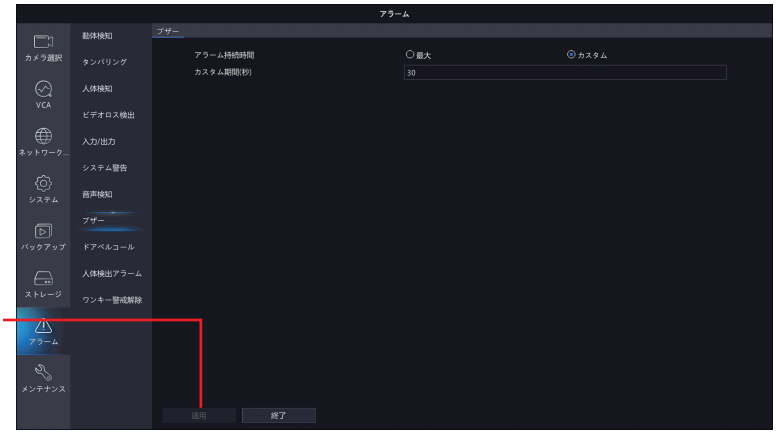
項目	内容
現在のカメラ	音声検知機能を設定するカメラを選択します。
有効	チェックを入れると、選択しているカメラの音声検知機能が有効になります。 （初期値：無効）
検知タイプ	検知する音圧の変化を設定します。 ［音圧上昇（初期値）／音圧下降／音圧変化／しきい値］
通常音圧	音圧レベルを設定します。 数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、検知する音圧変化は大きくなります。
しきい値（検知タイプをしきい値に設定したときのみ）	通知をする音圧のしきい値を設定します。

音声検知連動動作画面

音声検知をしたときに連動させる動作を設定します。
連動動作の設定方法は、〈スケジュール設定〉と同じです（➡ 97 ページ）。
スナップショットの設定方法は、スナップショット（➡ 90 ページ）を参照してください。

ブザー

ブザーを鳴らす時間を設定します。



設定後は[適用]をクリックして設定を完了します。

項目	内容
アラーム持続時間	**最大**：最大の時間ブザーを鳴らします。 **カスタム（初期値）**：指定した秒数ブザーを鳴らします。
カスタム期間（秒）	ブザーを鳴らす秒数を設定します。 [1 ～ 600（初期値：30)]

ドアベルコール

CNE3C シリーズのカメラではこの機能はサポートされておりません。

人体検出アラーム

人流カウントが有効に設定されている状態で、人体検出アラームを有効に設定すると、カメラが設定したしきい値を超えた人数をカウントしたときにアラームアイコンが表示されます。

人体検出アラームを有効にするスケジュールを設定します。
設定方法は、〈スケジュール設定〉と同じです（➡ 97 ページ）。

設定後は［適用］をクリックして設定を完了します。

項目	内容
カメラ名	人体検出アラーム機能を設定するカメラを選択します。
有効	チェックを入れると、選択しているカメラの人体検出アラーム機能が有効になります。（初期値：無効）
人体検知アラームしきい値	アラームを出力する人数のしきい値を設定します。［1 ～ 100000（初期値：1）］

人体検出アラーム連動動作画面

人体検出をしたときに連動させる動作を設定します。
連動動作の設定方法は、〈スケジュール設定〉と同じです（➡ 97 ページ）。
スナップショットの設定方法は、スナップショット（➡ 90 ページ）を参照してください。

ワンキー警戒解除

ネットワークレコーダーまたはカメラで設定したすべてのアラームを、の解除するスケージュールを設定したりすることができます。

項目	内容
OFF	警戒解除の設定をしていません。
スケジュールによる警戒解除	アラーム解除するスケジュールを設定します。
一度警戒解除	警戒解除する期間を設定します。

スケジュールによる警戒解除

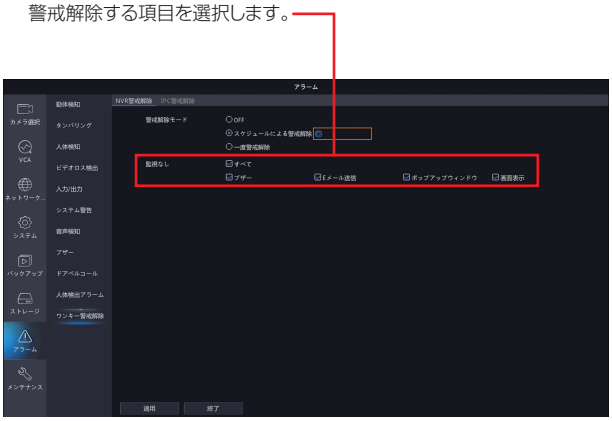
警戒解除するスケジュールを設定します。

■ネットワークレコーダーの場合

①「NVR 警戒解除」を選択します。

②「スケジュールによる警戒解除」を選択します。

③解除する警戒を選択します。



④スケジュールによる警戒解除の⚙をクリックします。設定方法は、「動体検知スケジュール画面」と同じです（➡ 100 ページ）

⑤設定後、［適用］をクリックして設定を完了します。

■カメラの場合

①「IPC 警戒解除」を選択します。

②「スケジュールによる警戒解除」を選択します。

③カメラ名から解除するカメラを選択します。

④スケジュールによる警戒解除の⚙をクリックします。設定方法は、「動体検知スケジュール画面」と同じです（➡ 100 ページ）

⑤設定後、［適用］をクリックして設定を完了します。

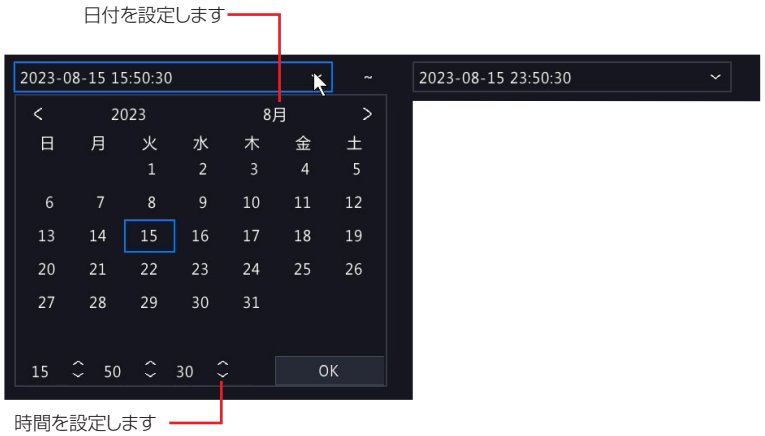
一度警戒解除

警戒解除する期間を設定します。

①解除する警戒を選択します。(ネットワークレコーダのみ)

項目	内容
警戒解除時間	警戒解除する期間を設定します。

②開始側と終了側の日付と時間を設定します。



メンテナンス

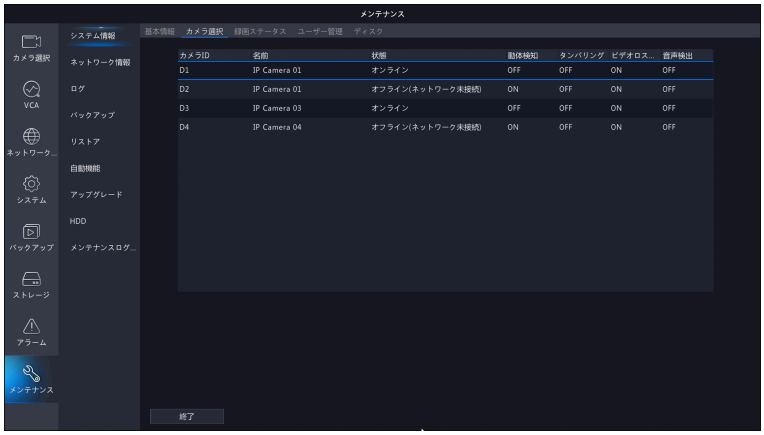
システム情報

■基本情報

システムの基本情報を表示します。

■カメラ選択

カメラの状態を表示します。

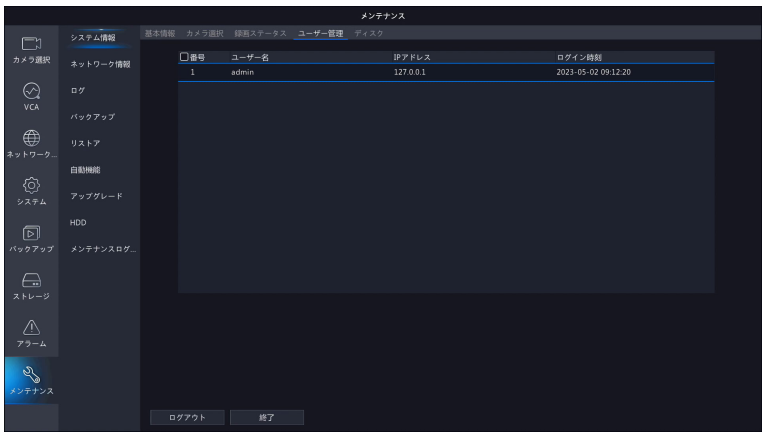


■録画ステータス

録画の状態を表示します。

■ユーザー管理

現在管理画面にログインしているユーザーを表示します。



■ディスク

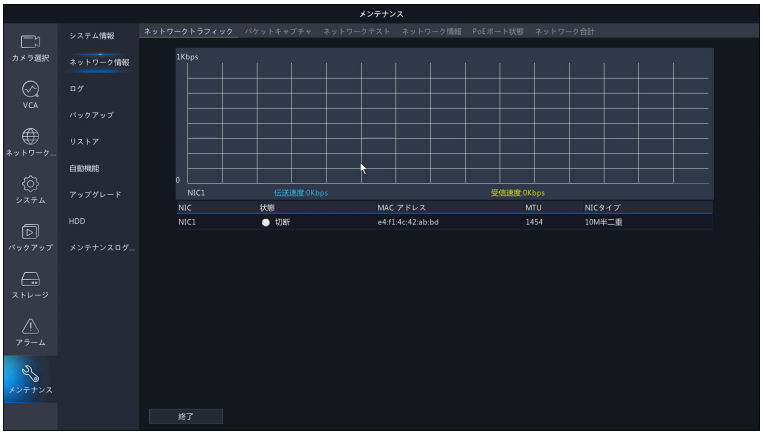
ハードディスクの状態を表示します。

ネットワーク情報

■ネットワークトラフィック（ネットワークフロー）

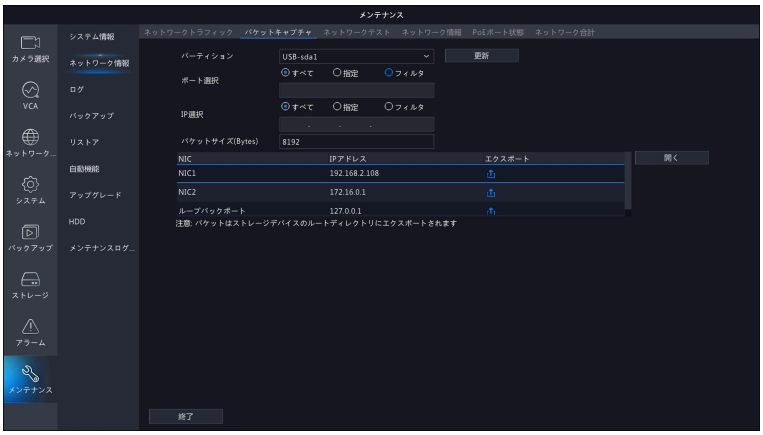
※Web 管理画面上では「ネットワークフロー」と表示されます。

ネットワークに流れているデータ量をリアルタイムに折れ線グラフで表示します。青い線は、本製品から送出しているデータ量、黄色い線は本製品が受信しているデータ量を表します。



■パケットキャプチャ

パケットを USB ストレージに保存できます。



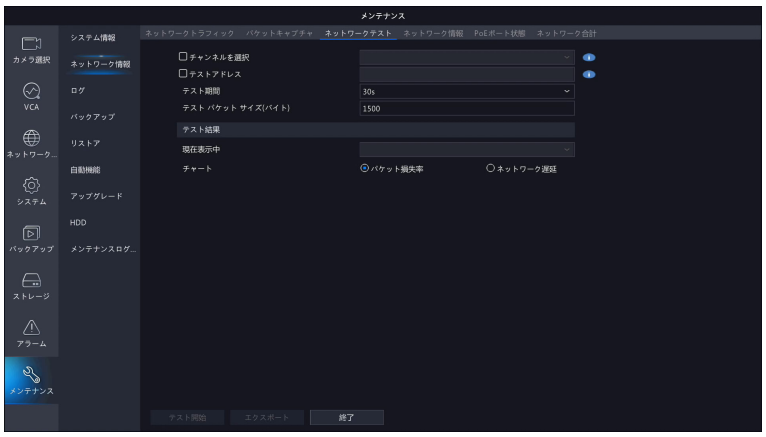
本製品に接続している USB ストレージにパケットをキャプチャして保存することができます。
［エクスポート（ ）］をクリックすると、キャプチャが保存されます。
ファイル名は、「(NIC 名)（日付）（時間）.pcap」の形式で保存されます。
［開く］をクリックすると、USB ストレージの内容が表示されます。
キャプチャしたデータは「取消」をクリックするか、USB ストレージが一杯になるまで保存されます。

パーティション	キャプチャを保存するデバイスを選択します。
ポート選択	キャプチャのポート番号と IP アドレスを指定します。
IP 選択	

●パケットキャプチャは本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。
●詳細な進行状況は表示されませんが終了するまでお待ちください。
●パケットが Web 管理上ですでに開始されている場合は、パケットをキャプチャすることはできません。

■ネットワークテスト

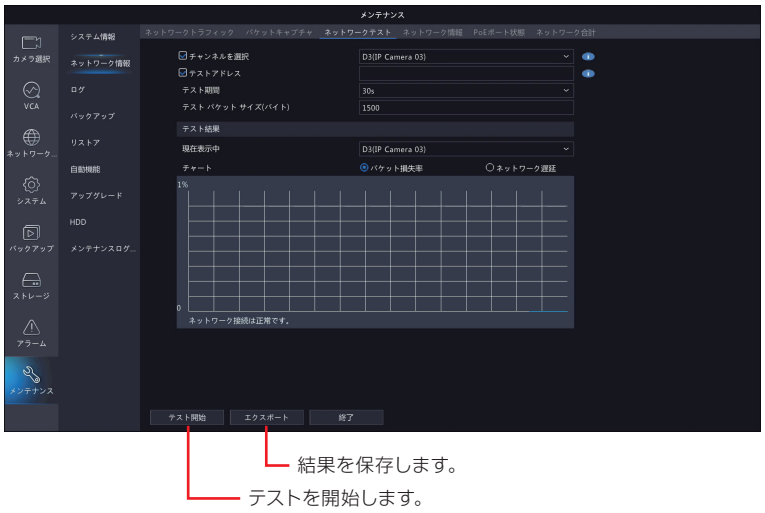
ネットワーク遅延とパケット損失率をテストすることができます。



ネットワーク遅延とパケット損失率をテストすることができます。

チャンネル選択	カメラを選択します。
テストアドレス	テスト送信するアドレスを設定します。
テスト期間	テスト期間を設定しします。 [30s ／ 1min ／ 5min ／ 10min ／ 30min ／ 1hour(初期値：30s)]
テストパケットサイズ(バイト)	テスト送信するパケットのサイズを設定します。
テスト結果	［テスト開始］ボタンをクリックすると、テスト結果が表示されます。

現在表示中	選択しているカメラを表示します。
チャート	パケット損失率またはネットワーク遅延を設定します。



結果を保存します。

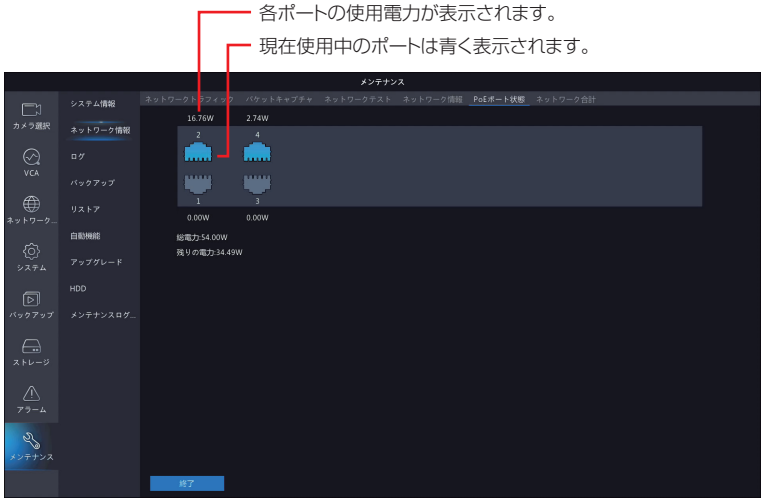
テストを開始します。

■ネットワーク情報

ネットワーク情報を表示します。

■ PoE ポート状態

PoE ポートの状態を表示します。

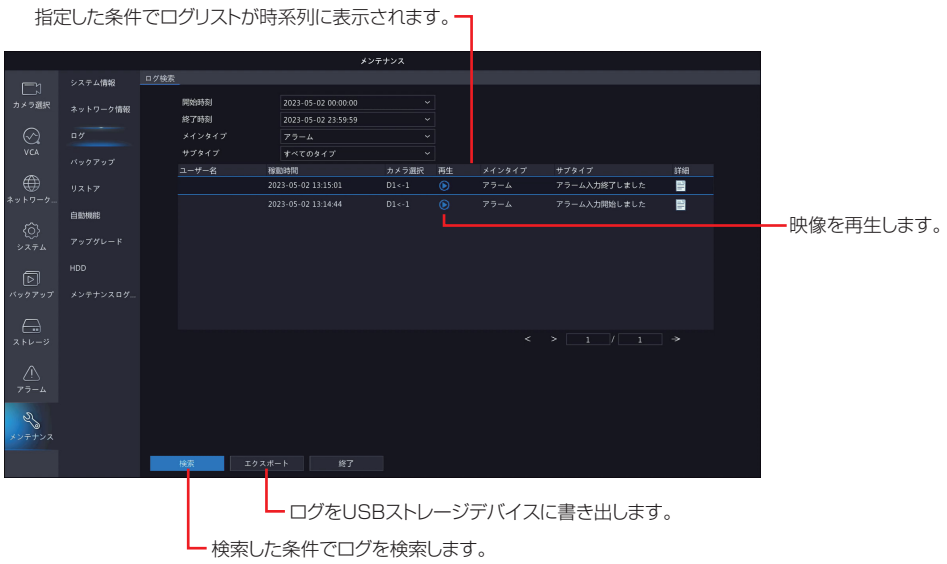


■ネットワーク合計

ネットワーク帯域の使用状況を表示します。

ログ

ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します。



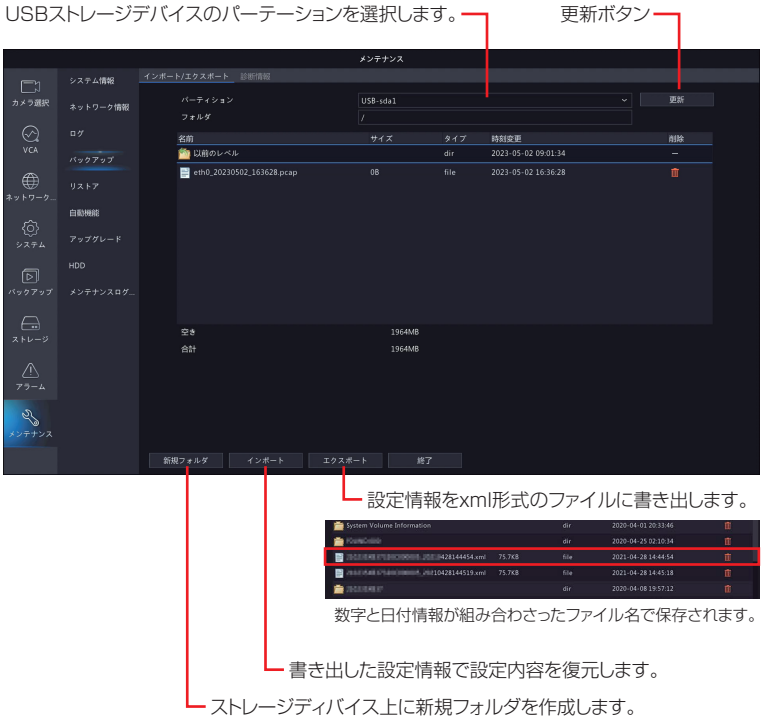
項目	内容
開始時刻	ログを取得する時間を設定します。
終了時刻	
メインタイプ	ログの種類（大項目）を選択します。［すべて］を選択することもできます。 ［アラーム・システム警告・操作・通知・すべて（初期値）］
サブタイプ	ログの種類（小項目）を選択します。［すべてのタイプ］を選択することもできます。選択したメインタイプの項目により、選択できる項目が異なります。

ライブビューの表示に切り換えると、ログに「IP カメラ簡単検索」のログが残ることがあります。

バックアップ

■インポート / エクスポート

設定情報を USB ストレージデバイスに保存したり、保存した設定情報を読み込むことができます。
更新ボタンをクリックすると、表示を更新します。

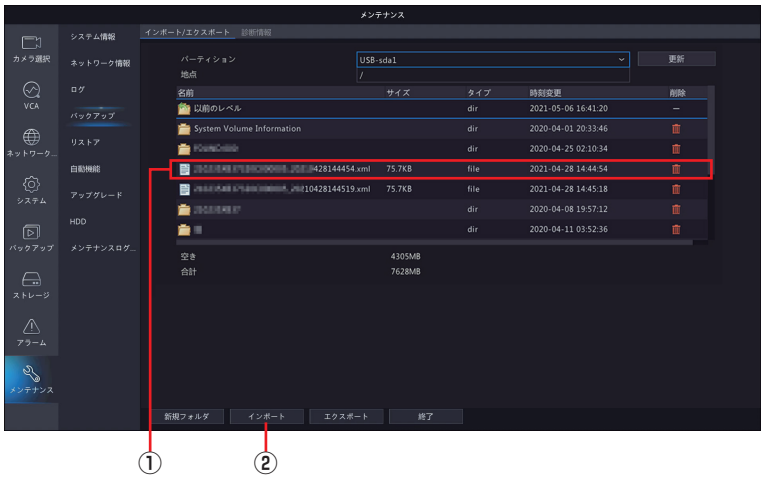


システム設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更を行っていた場合は、読み込み後に再設定してください。ストレージデバイス上に新規フォルダを作成します。

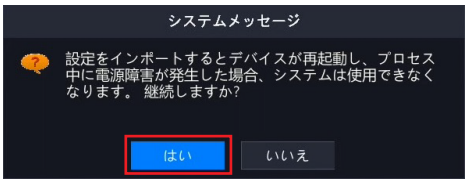
設定内容を復元する方法

①設定情報を書き出した xml ファイルを選択します。

②［インポート］をクリックします。

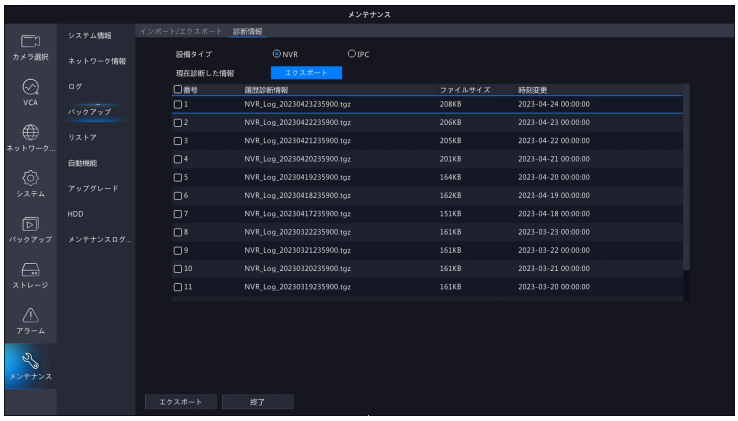


③確認のダイアログボックスが表示されますので、［はい］をクリックしてシステムを再起動します。



■診断情報

診断情報を 14 日間保管します。空き容量が満杯になると、一番古い情報が上書きされます。

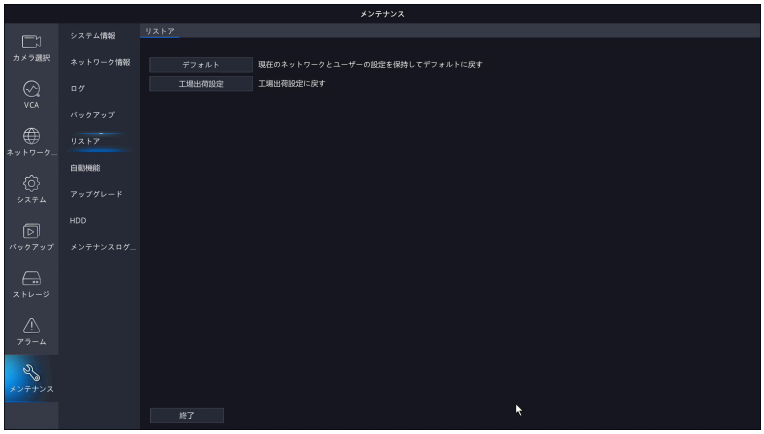


項目	内容
設備タイプ	診断情報を表示するデバイスを選択します。 本製品の診断情報は毎日 0:00 に生成されます。 カメラの診断情報は毎日 0:05 に生成されます。 **NVR**：本製品を診断します。 **IPC**：本製品に接続されたカメラを診断します。
現在診断した情報	現在診断した情報の右にある「エクスポート」をクリックすると、診断情報のファイルを USB ストレージデバイスに書き出します。 現在表示されている診断情報のファイルを USB に書き出す場合は、履歴診断情報の番号にチェックを入れ、画面左下の「エクスポート」をクリックします。

本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。

リストア

設定をデフォルトあるいは工場出荷時の設定に戻すことができます。実行すると、システムが再起動します。

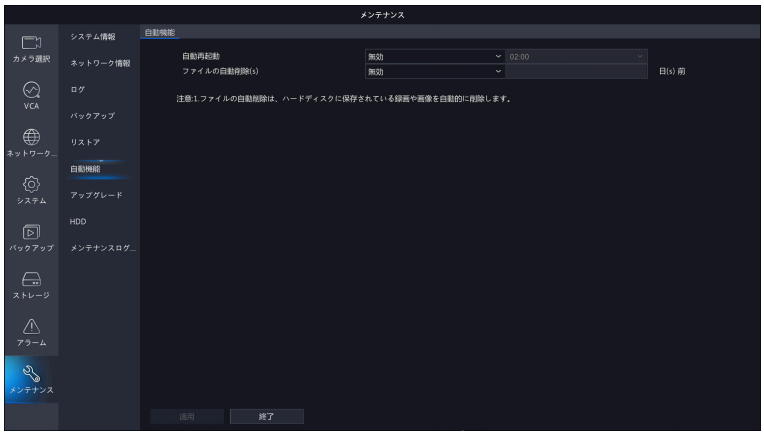


項目	内容
デフォルト	ネットワーク設定とユーザー設定をのぞいて設定をデフォルトの状態に戻します。
工場出荷設定	設定をすべて工場出荷時に戻します。ネットワーク設定およびユーザー設定も初期化されます。

カメラ側に設定が保存される内容に関しては、この機能で工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。

自動機能

指定した時間に、再起動したり、録画映像を削除する設定を行います。

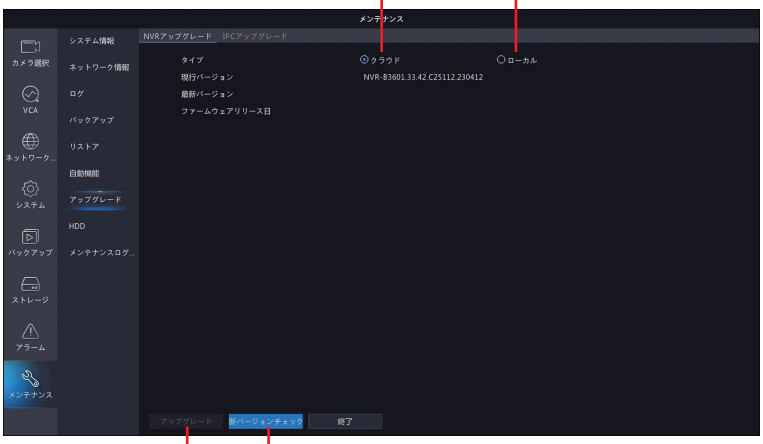


項目	内容
自動再起動	自動的に再起動する曜日と時間を設定します。
ファイルの自動削除	[カスタム] に設定すると、いつまで（～日前まで）の録画ファイルを削除するのかを設定できます。（1 ～ 240 日前までの録画データを削除する設定ができます。）

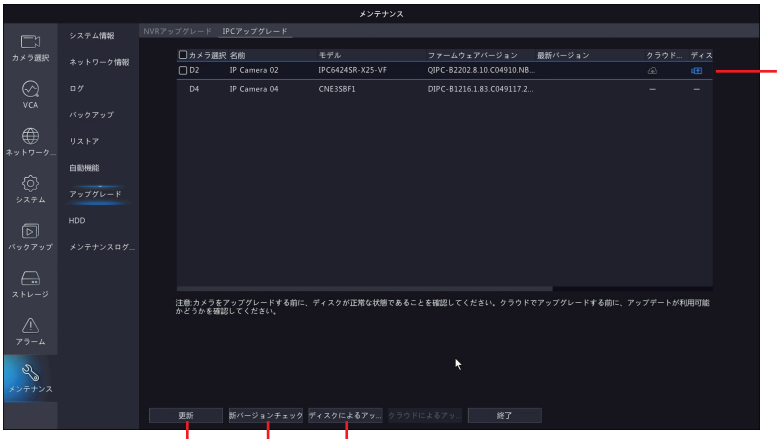
アップグレード

DX アンテナ Web サイトからあらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定して本製品のシステムをアップデートします。

■ NVR アップグレード



■ IPC アップグレード



HDD

■ S.M.A.R.T テスト

ハードディスクのヘッド、プラッタ、モーター、および回路をチェックして、それらの正常性状態を評価します。

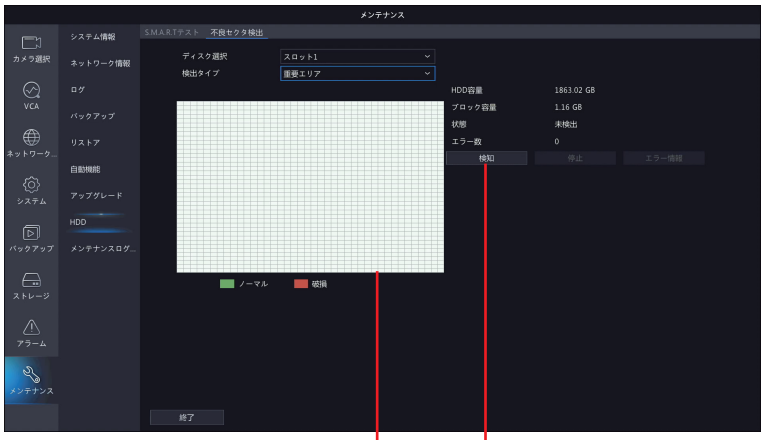
重要 **このテストの実行中は、ほかの操作は行わないでください。**

評価を開始します。

項目	内容
ディスク選択	評価するディスクを選択します。
評価の種類	**不足**：比較的簡易な評価を行います。 **拡張**：より徹底した評価を行います。 **運搬**：おもにデータ伝送の問題を検出します。
評価の状態	評価の状態が表示されます。
メーカー **モデル** **ファームウェアバージョン** **ディスク温度（℃）** **稼働時間（日）** **自己評価**	ハードディスクの情報が表示されます。
総合評価	評価結果が表示されます。［失敗］と表示された場合は、故障する可能性が高いので、すぐにディスクを交換することをおすすめします。

■不良セクタ検出

ハードディスクに不良セクタがないかチェックします。



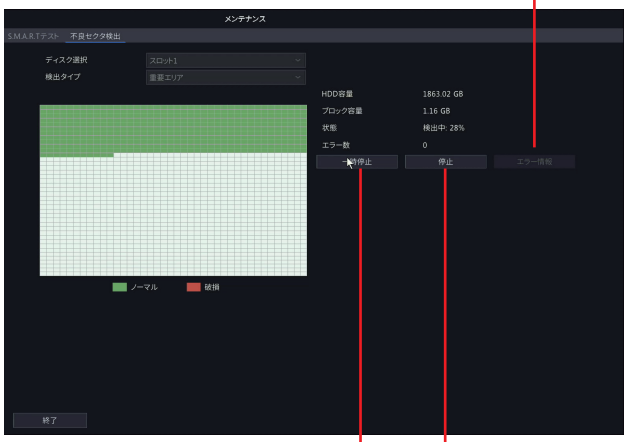
チェック結果が表示されます。

チェックを開始します。

項目	内容
ディスク選択	チェックするディスクを選択します。
検出タイプ	チェックする範囲を選択します。 **重要エリア**：ディレクトリなどのデータ管理エリアをチェックします。 **全検出**：すべての範囲をチェックします。

不良セクタ検出中

破損（赤色）が表示されたときにクリックして、詳細を確認します。



検出動作を一時停止します。

検出動作を停止します。

項目	内容
ノーマル	セクタは問題ありません
破損	不良セクタがあります。

メンテナンスログ

■メンテナンスログの一括出力

NVR の診断情報と操作ログを一括して出力します。

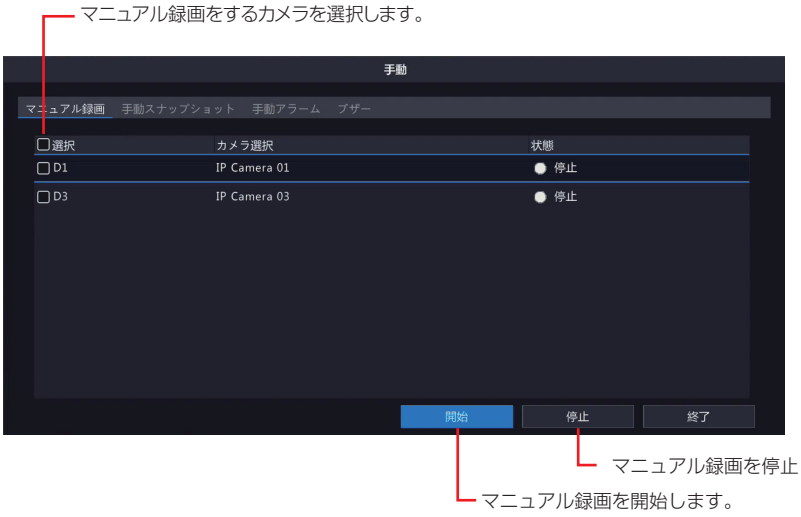
項目	内容
IPC の診断情報	診断情報を出力するカメラをカメラを選択します。
ログの出力期間	[1 日／3 日（初期値）／7 日／すべて]
エクスポート	この操作は、NVR の診断情報と操作ログを一括して出力します。「すべて」を選択すると、エクスポートに時間がかかる場合があります。

手動

ホーム画面でライビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［手動］をクリックすると、手動の画面が表示され、「録画」「スナップショット」「アラーム」「ブザー」を手動で設定／解除できます。

マニュアル録画

手動で選択したカメラの録画を開始・停止します。



項目	内容
カメラ選択	カメラ名が表示されます。
状態	録画状態が表示されます。

手動スナップショット

手動で選択したカメラのスナップショットを開始・停止します。

項目	内容
カメラ選択	カメラ名が表示されます。
状態	撮影状態が表示されます。

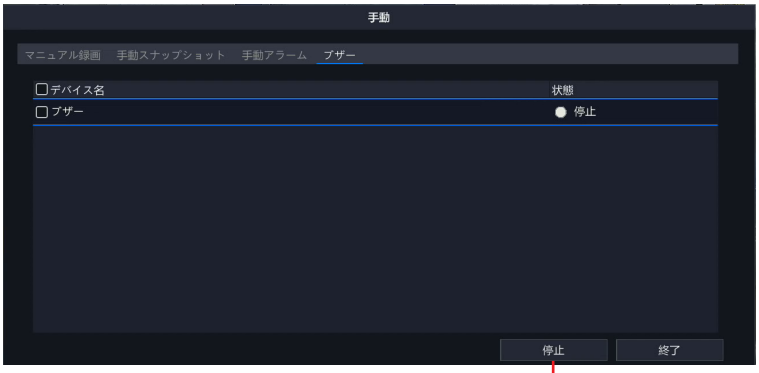
手動アラーム

手動でアラームにトリガーを設定します。
※本製品ではサポートしておりません。

項目	内容
トリガー	トリガーの状態が表示されます。

ブザー

ブザーを手動で停止します。



項目	内容
状態	ブザーの状態が表示されます。

電源オフ

電源オフ

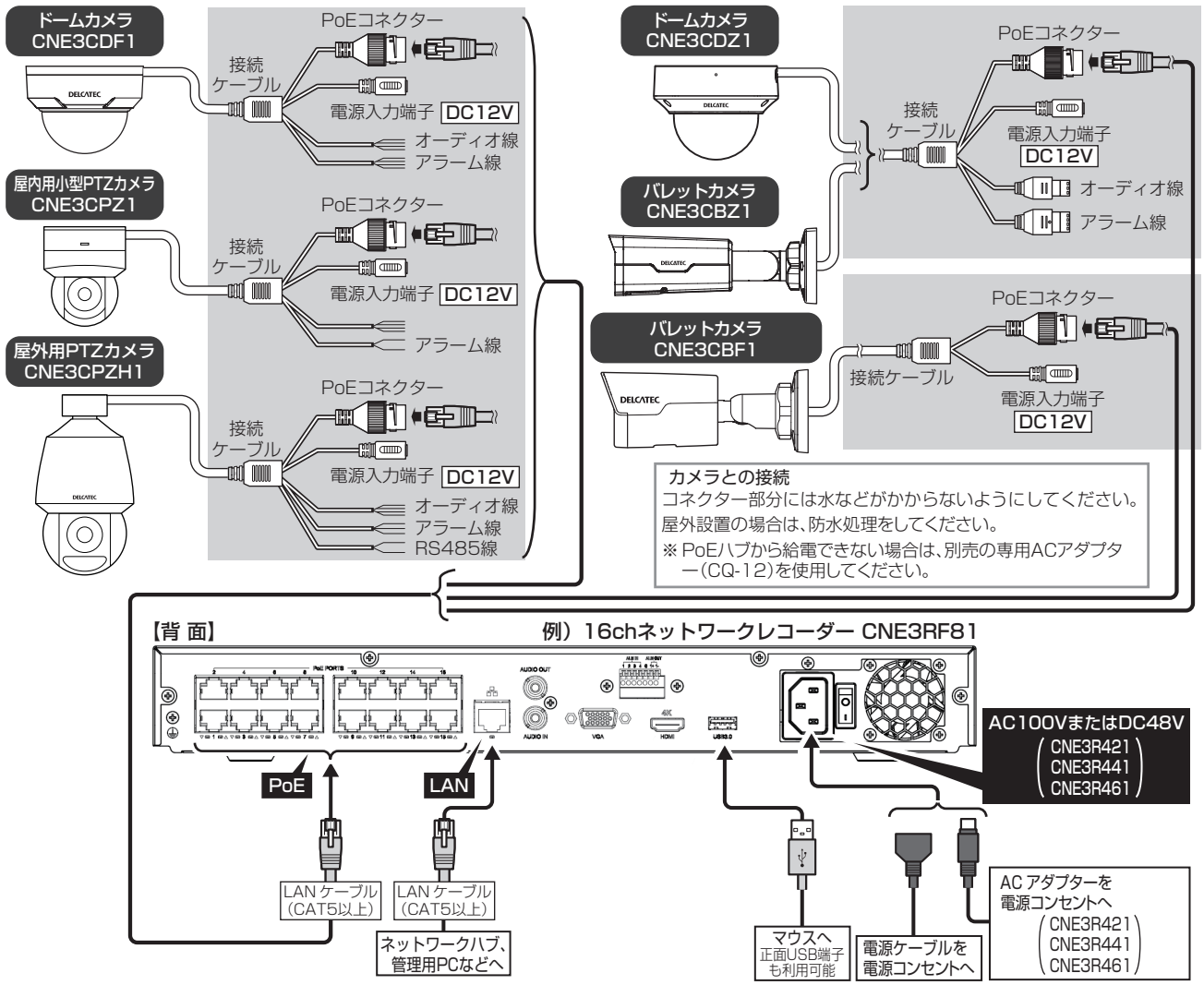
システムのログアウト、再起動、電源オフを行います。
ホーム画面（➡ 20 ページ）を参照してください。

●電源オフを行っても、ファンが回転するなど、本製品の電源は完全には切れません。電源を遮断する場合は、以下のようにします。
4ch モデル…AC アダプターのプラグを本体から抜く
8/16ch モデル…本体背面にある電源スイッチをオフにする
●電源オフ後に電源を再投入するときは、以下のようにします。
4ch モデル…AC アダプターのプラグを本体に挿し込む
8/16ch モデル…本体背面にある電源スイッチをオンにする

設定―ブラウザーから Web 管理画面にアクセスする

Web 管理画面について

本製品の管理画面は、LAN 経由でパソコン上のウェブブラウザーからアクセスすることもできます。



1 管理用 PC と本製品のレコーダーを LAN ケーブルで接続し、Microsoft Edge または Google chrome を開き、以下のページを表示します。

http://192.168.1.30

●管理用 PC の IP アドレスを「192.168.1.100」など同じネットワークセグメント内に設定し、ブラウザーから上記アドレスにアクセスしてください。

ルーターなど DHCP サーバー機能がある機器を接続すると、「192.168.1.30」ではアクセスできなくなります。その場合は、本製品に割り振られている IP アドレスを入力してアクセスしてください。

本製品とモニターを HDMI ケーブルで接続し、ログインします。

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。「メニュー」→「ネットワーク」で「基本」「TCP/IP」を表示し、DHCP 有効のチェックを外し、「適用」を押してください。このとき、IPv4 アドレスに記載されている値が、本製品の IP アドレスとなります。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力してログインします。

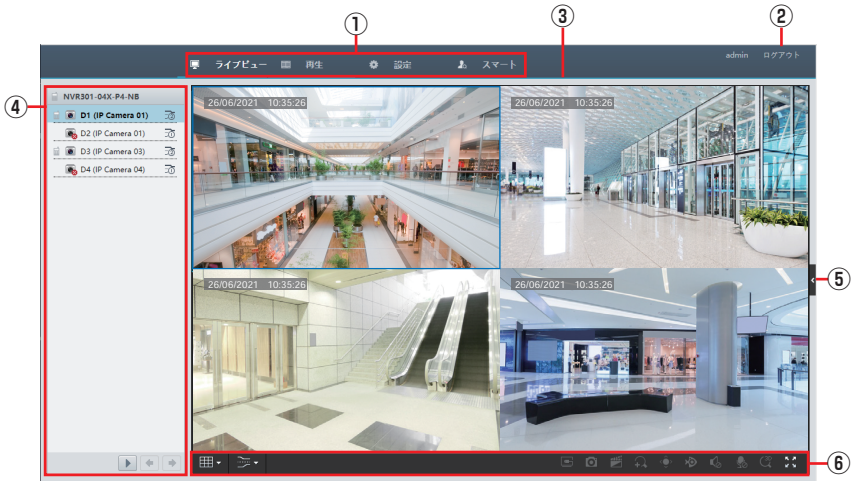
初期設定ユーザー名：admin
初期設定パスワード：123456

重要 **初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。**
ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
➡ 151 ページ「ログインパスワードを変更する」

- admin ユーザーで複数の PC からでもログインすることができます。
  この場合、設定変更などを保存する場合には、最後に保存した人の設定が有効になります
- Web 管理画面にログインするためのパスワードは、モニター管理画面と共通です。すでに変更済みの場合は、変更されたパスワードを入力してください。
- [最新のプラグインをダウンロードしてインストールするには、…] という黄色い帯が表示されたら、クリックし、以下の手順でプラグインをインストールしてください。
  ① [最新のプラグインを…] の文字をクリックします。
  ② 画面上部に [WebPlayer.exe はデバイスに…] の確認メッセージが表示されますので、[保存] をクリックして、ダウンロード完了後に [ファイルを開く] をクリックします。
  ③ [このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？] というダイアログボックスが表示されますので、[はい] を選択します。
  インストールが始まります。
  ④ インストールが完了すると、以下のダイアログボックスが表示されますので、[Finish] をクリックします。

すでにプラグインをインストール済みの状態で再インストールを行うと、以下のエラーメッセージが表示されます。
すでに古いバージョンの SurveillanceViewer がインストールされているため、このバージョンをインストールできません。「コントロールパネル」の「アプリと機能」を使用してインストール済みの SurveillanceViewer を削除してください。

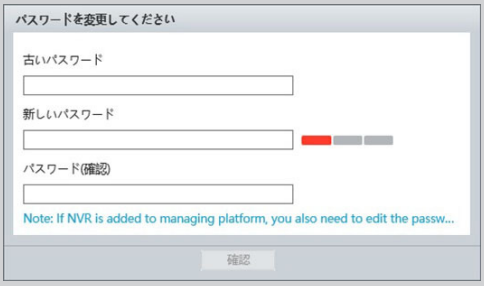
ホーム画面



※ご使用の環境により、ライブビュー画面に切り換わった直後に、4ch モデルにもかかわらず 9 分割の画面が表示される場合があります。
その場合は、数秒後に正常な 4 分割の画面に切り換わりますので、そのままお待ちください。

<table>
<tr><th>番号</th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>①</td><td>メインメニュー</td><td>
<table>
<tr><td>ライブビュー</td><td>ライブビュー画面を表示します。</td></tr>
<tr><td>再生</td><td>再生画面を表示します。
➡ 26 ページ「録画映像を再生する」</td></tr>
<tr><td>設定</td><td>管理画面を表示します。
➡ 41 ページ「設定リファレンス編」</td></tr>
<tr><td>スマート</td><td>本製品では使用できません。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>②</td><td>ログアウト</td><td>管理画面からログアウトします。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>ライブビュー</td><td>本製品に接続しているネットワークカメラのライブビューが表示されます。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>カメラ選択リスト</td><td>ライブビューに表示するカメラをクリックして選択することができます。
<table>
<tr><td> </td><td>クリックすると、双方向通話機能がオンになります。</td></tr>
<tr><td> </td><td>接続中のネットワークカメラです。</td></tr>
<tr><td> </td><td>未接続のネットワークカメラです。</td></tr>
<tr><td> </td><td>ストリームを切り換えます。</td></tr>
<tr><td> </td><td>映像の再生／停止を切り換えます。</td></tr>
<tr><td> </td><td>ツールメニューで画面分割を変更したときに、次画面 / 前画面に切り換えます。ただし、分割画面表示のときに、ダブルクリックで 1 画面だけ拡大したときにはこのボタンは使用できません。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>コントロールパネル</td><td>PTZ 制御パネルと画像調整パネルを表示します。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>ツールメニュー</td><td>➡ 132 ページ「ツールメニュー」</td></tr>
</table>

はじめて本製品にログインした時は、下記のパスワード変更ダイアログが表示されます。
入力フィールドの外側をクリックすると、入力フィールドにカーソルが一瞬表示され入力可能になったように見える場合がありますが、実際には入力できない状態ですので、フィールドを正しくクリックしてからパスワードを入力してください。



重要

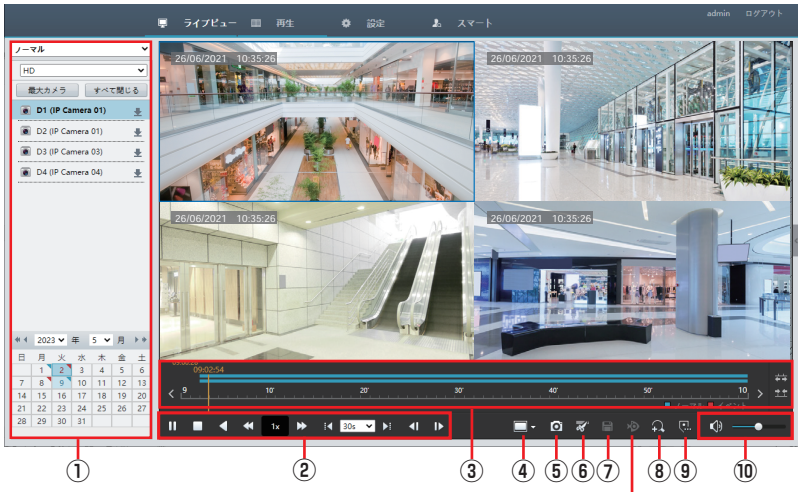
- **初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。**
- **変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。**
- **パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。**

パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。
サポートセンターへお問い合わせください。

ツールメニュー

番号	項目	内容
①	**画面分割数**	画面の表示レイアウトを選択します。 分割画面は、使用するモデルによって異なります。
②	**ストリームタイプ**	表示する映像のストリーム形式を選択します。 選択できるストリーム形式は、使用するモデルによって異なります。
③	**信号**	使用できません。
④	**スナップショット**	スナップショットを保存します。
⑤	**録画**	映像を録画し、ダウンロードします。 この機能は Web 管理画面を使用しているパソコンに直接記録するものです。設置のときなどに、どのような映像が撮れるのかのサンプル作成などの目的に使用するものですので、Web 管理画面にログインできるすべてのユーザーが使用できます。
⑥	**デジタルズーム**	映像を拡大表示します。クリック後、拡大したい範囲をドラッグして指定します。
⑦	**コントロールパネル**	コントロールパネルを開き、カメラのズーム操作（対応カメラのみ）や、映像の画質を調整することができます。
⑧	**魚眼モード**	使用できません。
⑨	**音量**	カメラから入る音声の音量を調整します。
⑩	**ミュート解除**	使用できません。
⑪	**3D ポジショニング**	（PTZ カメラのみ）ライブ画面上でカメラの方向を変える操作の ON・OFF ができます。
⑫	**全画面表示**	ライブビュー画面を全画面表示します。ESC キーを押すと、元の画面に戻ります。

再生画面



番号	項目	内容
①	**動画選択**	パネル再生したい動画を選択します。➡ 135 ページ「動画選択パネル」
②	**コントロールパネル**	再生／一時停止
		停止
		逆再生
		再生速度ダウン／再生速度アップ 一時停止中にこのボタンを操作すると再生が再開されます逆再生のときには速度ダウンボタンで「-1x」より遅い速度（-1/2x、-1/4x など）は設定できません
		再生速度表示
		早戻し／早送り （5 秒 /15 秒 /30 秒 /1 分 /5 分 /15 分 /30 分 /1 時間から選択できます）
		コマ戻し／コマ送り
③	**タイムライン**	
④	**表示比率**	表示比率を変更できます
⑤	**スナップショット**	クリックすると、現在アクティブ状態になっているカメラの画像が保存されます。保存先は画面上部に一時的に表示されます。

番号	項目	内容
⑥	**クリッピング**	ビデオの一部を切り取って保存することができます。 タイムライン上の切り取りを開始したい位置でクリック後、クリッピングボタンをクリックし、タイムライン上の終了したい位置でもう一度クリックして指定します。 切り取られる箇所は水色で表示されます。
⑦	**保存**	クリッピングした箇所の映像をダウンロードします。
⑧	**デジタルズーム**	画面の一部を拡大表示します。ボタンをクリックした後、拡大したい箇所をドラッグして拡大します。
⑨	**カスタムタグ**	追加選択中の再生位置に任意の名前のタグを付けます。
⑩	**音量**	スライダーで音量を調整します。 スピーカーアイコンをクリックするとミュート（消音）になります。

動画選択パネル

再生する動画を選択します。

■ノーマル

すべての録画映像を日付から検索して再生します。

動画の解像度を選択します。

映像の表示／非表示を切り換えます。

最大カメラ	最大のカメラ映像を表示します。
すべて閉じる	全てのカメラ映像を日表示します。

表示するカメラを選択します。

をクリックすると、録画映像をダウンロードできます。

映像を再生する日付を選択します。

映像データがある日は、右上に印があります。
赤い印：イベントがある映像です。
青い印：イベントがない映像です。

■イベント

イベントで映像を検索します。

検索するイベントを選択します。

検索するカメラを選択します。

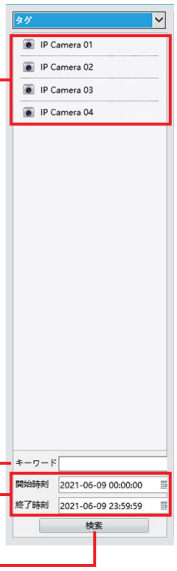
映像の時刻を指定します。

設定した条件で検索します。

■タグ

タグのある映像を検索して再生します。

検索するカメラを選択します。



タグをキーワードで検索します。

映像の時刻を指定します。

設定した条件で検索します。

■スマート

本製品では使用できません。

録画データの再生

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、管理用パソコンにファイルとして保存することができます。

●映像のファイル形式は、「.mp4」です。

詳しい WEB 管理画面の表示方法は 128 ページ「Web 管理画面について」をご参照ください。

1 **メインメニューから「再生」を選択します。**
再生画面が表示されます。

2 **再生したいカメラを選択します。**

3 **日付を選択します。**

4 **「クリッピング開始」をクリックします。**

5 **開始時間をタイムバーで操作します。**

6 **「クリッピング終了」をクリックします。**

7 **終了時間をタイムバーで操作します。**

8 **「保存」をクリックします。**

9 ダウンロード画面が表示されますので、ダウンロードするカメラと速度を設定して、ダウンロードをクリックします。

ダウンロードが開始されます。

- ダウンロード中は、画面右上に進捗状況が%で表示されます。クリックすると、進捗の詳細が確認できます。
- ダウンロードが完了すると、「ダウンロード成功」と表示されます。
- ダウンロードしたファイルは以下の場所に保存されます。
  C: ￥Users ￥［ユーザー名］￥WebPlugin_NVR ￥Download ￥［ネットワークレコーダーの IP アドレス］

ダウンロード先フォルダを変更する場合は

①メインメニューから「設定」を選択します。
②サブメニューから「クライアント」を選択します。
③「ファイルを保存」の「参照」をクリックしてフォルダを選択します。

設定画面

Web ブラウザー上で本製品の設定を行います。設定内容はモニター管理画面とほぼ同じです。

●クライアント

メニュー項目	内容	ページ
クライアント	管理用 PC 側の設定を行います。	141 ページ

●システム

メニュー項目		内容	ページ
基本設定		本製品の基本情報を設定します。	—
画面表示		モニター管理画面の表示に関する設定を行います。「シーケンス間隔」の設定が可能ですが、この機能も Web 管理画面でのライブビュー切り換えではなく、モニター管理画面で切り換え機能です。	71 ページ
時刻	**時刻**	本システムの時刻を設定します。	74 ページ
	カメラの時刻同期	時刻の設定を行います。	75 ページ
サマータイム		サマータイムを設定します。	74 ページ
休日		休日を定義します。定義した休日は、録画スケジュールを設定するときに利用します。	76 ページ
セキュリティ	**IP アドレスフィルタリング**	指定した IP アドレスから本製品へのアクセスを許可または禁止することができます。	79 ページ
	HTTPS	HTTPS の設定を行います。	142 ページ
	ONVIF 認証	ONVIF 認証の設定を行います。	79 ページ
	SSH	Telnet 接続のオン・オフ設定を行います。	142 ページ
	ARP 保護	ARP 保護の設定を行います。	80 ページ
	ウォーターマーク	不正な変更を防ぐためにビデオのカスタム情報を暗号化します。	80 ページ

●カメラ選択

メニュー項目		内容	ページ
カメラ選択	**カメラ選択**	新しくカメラを追加したり、接続しているカメラの設定をすることができます。	43 ページ
	アドバンスド	接続しているネットワークカメラのファームウェアをアップデートします。	46 ページ
エンコード		映像のエンコード設定を行います。	47 ページ
音声検出		音声検出するカメラの設定を行います。	49 ページ
画面表示設定	**基本**	映像上に表示される文字の設定を行います。	51 ページ
	画面表示内容	映像上に任意の文字列を表示します。	146 ページ
画像		画像設定を行います。	52 ページ
スケジュール	**録画スケジュール**	録画スケジュールを設定することができます。	35 ページ
	スナップショットスケジュール	スナップショットのスケジュールの設定をすることができます。	35 ページ
動体検知		動体検知機能を設定します。	99 ページ

メニュー項目	内容	ページ
ビデオロス検出	カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力します。	101 ページ
タンパリング	タンパリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。	100 ページ
プライバシーマスク	映像の一部を覆いたいときに設定します。	56 ページ
スナップショット	スケジュールまたはイベント起動によって撮影されるスナップショットの画質と間隔の設定を行います。	50 ページ
音声検知	カメラ側が周囲の音の大きさ（音圧）の変化を検知します。	105 ページ
人体検知	この機能はご利用になれません。	100 ページ

●ハードディスク

メニュー項目	内容	ページ
ハードディスク	内蔵ハードディスクの設定をすることができます。	91 ページ
ディスクグループ	ディスクグループの選択をします。	146 ページ
容量設定	カメラごとに映像と画像を保存する場所を設定します。	93 ページ
アドバンスド	ディスク容量が満杯になったときの動作を設定します。	95 ページ

●アラーム

メニュー項目		内容	ページ
アラーム入力		（本製品のカメラではこの機能はご利用になれません）	102 ページ
アラーム出力		（本製品のカメラではこの機能はご利用になれません）	103 ページ
手動アラーム		（本製品のカメラではこの機能はご利用になれません）	139 ページ
音声アラーム持続時間		音声アラームがなり続ける時間を設定します。	103 ページ
ドアベルコール		（本製品のカメラではこの機能はご利用になれません）	106 ページ
ワンキー警戒解除	**ネットワークレコーダー警戒解除**	すべてのアラーム設定をまとめて、一時的に解除する設定をします。	108 ページ
	カメラ警戒解除		

●システム警告

メニュー項目	内容	ページ
システム警告	システムに関する警告について設定します。	104 ページ

●ネットワーク情報

メニュー項目	内容	ページ
TCP/IP	TCP/IP の設定をします。	63 ページ
PPPoE	本製品では設定できません。	—
P2P	P2P の設定をします。	64 ページ
DDNS	DDNS の設定をします。	64 ページ
ポート	ポートの設定をします。	67 ページ
ポートマッピング	ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。	68 ページ
E メール	アラーム発生時に送信する E メールの設定をします。	65 ページ
マルチキャスト	本製品では設定できません。	—
FTP	本製品では設定できません。	—

●プラットフォーム

メニュー項目	内容	ページ
SNMP	本製品では設定できません	—
LAPI プラットホームへのアクセス	LAPI プラットフォームへのアクセス　LAPI を管理するサーバーに接続します。	—

●ユーザー管理

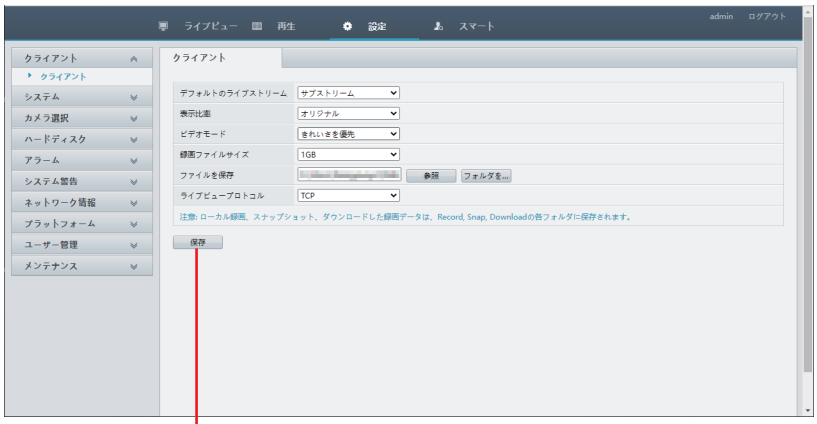
メニュー項目	内容	ページ
ユーザー管理	ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。	77 ページ

●メンテナンス

メニュー項目		内容	ページ
ログ		ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します。	115 ページ
HDD	**S.M.A.R.T の実行**	ハードディスクのヘッド、プラッタ、モーター、および回路をチェックして、それらの正常性状態を評価します。	120 ページ
	不良セクタ検出	ハードディスクに不良セクタがないかチェックします。	121 ページ
ユーザー管理		現在管理画面ログインしているユーザーを表示します。	111 ページ
ネットワーク情報	**ネットワークトラフィック**	(* Web 管理画面上では「ネットワークフロー」と表示されます) NIC1 の受信と送信のレート状況をグラフ化（自動更新）します。	112 ページ
	パケットキャプチャ	パケットキャプチャの設定を行います（メンテナンス用)。	112 ページ
	ネットワークテスト	ローカルネットワーク内にいるアドレスへネットワークテストを行います。	113 ページ
	ネットワーク情報	ネットワーク情報を表示します。	114 ページ
	PoE ポート状態	PoE ポートの状態を表示します。	114 ページ
	ネットワーク合計	ネットワーク帯域の使用状況を表示します。	114 ページ
カメラ選択		カメラの状態を表示します。	110 ページ
録画ステータス		録画の状態を表示します。	110 ページ
メンテナンス	**メンテナンス**	デバイスの再起動や工場出荷状態の操作、設定ファイルのインポート･エクスポートを行います。	148 ページ
	診断情報	診断情報を保存することができます。	117 ページ
	アップグレード	ネットワークレコーダーおよびカメラのファームウェアアップデートを行います。USB メモリーを使って、新しいファームウェアを取り込みます。	—
	クラウドアップグレード	インターネットに接続しているネットワークレコーダーおよびカメラのファームウェアアップデートを行います。	—
メンテナンスログの一括出力		カメラの診断情報と NVR の診断情報と操作ログを一括して出力します。	—

クライアント

Web 設定画面にアクセスする PC との通信、映像を保存するフォルダなどの設定を行います。



設定後、保存ボタンを押します。

項目	内容
デフォルトのライブストリーム	デフォルトで表示するストリームを選択します。 [メインストリーム／サブストリーム（初期値）／サードストリーム]
表示比率	**フル（初期値）**：映像を画面に合わせて伸縮し、全画面表示します。 **オリジナル**：オリジナルの画面比率を保持します。
ビデオモード	**リアルタイム優先**：ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。 **きれいさを優先（初期値）**：ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。
録画ファイルサイズ	録画する映像の最大ファイルサイズを設定します。 [256MB ／ 512MB ／ 1GB（初期値）]
ファイルを保存	映像データを Web 設定画面上から保存するときの保存先フォルダです。
ライブビュープロトコル	PC でデコードされるメディアストリームの送信用のプロトコルを設定します。 **TCP（初期値）**：通常選択します。 **マルチキャスト**：本製品でマルチキャストを有効にした場合のみ選択します。

システム―セキュリティ― HTTPS

セキュリティを確保するために HTTPS を使用することができます。
本機能は SIer 向けに用意した機能のため、弊社からのサポート対象外です。

項目	内容
HTTPS	HTTPS を使用する場合は ON を選択します。[ON ／ OFF（初期値）]
証明書の種類	証明書の種類を選択します。
証明書作成	証明書を作成します。 「作成」をクリックすると、証明書作成画面が表示されます。

システム―セキュリティ― SSH

カメラに SSH 接続をして、設定や操作をすることができます。
本機能は SIer 向けに用意した機能のため、弊社からのサポート対象外です。

項目	内容
SSH	SSH を使用するときは、チェックボックスにチェックを入れます。 ダイナミックファクターは、メンテナンス用のため使用しません。

カメラ選択―カメラ選択

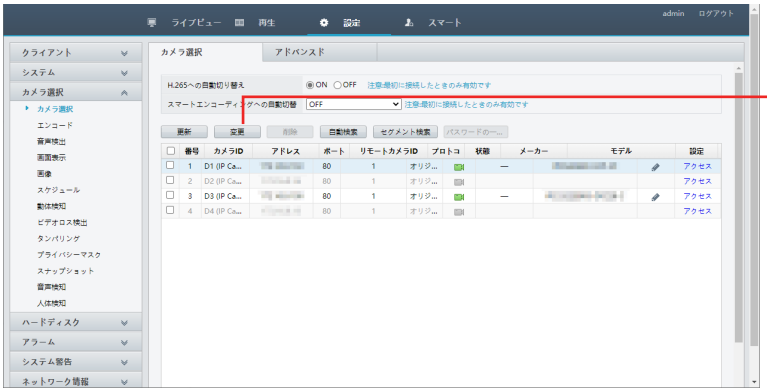
新しくカメラを追加したり、接続しているカメラを設定することができます。また、各カメラの Web 管理画面にアクセスすることもできます。

重要

- **ネットワークレコーダーと同じローカルネットワークのパソコンからのみ「アクセス」を利用可能です。また、「アクセス」をクリックすると、カメラの Web 管理画面を表示することができますが、本機能はネットワークレコーダーでは管理できない一部機能（microSD カードの管理など）のために設けています。**
- **カメラの設定を変更したり、ファームウェアをアップデートするときは、ご使用になるカメラの管理画面から設定を変更してください。**
- **ネットワークレコーダーと組み合わせて使用する場合には、ネットワークレコーダーでのみ設定の変更を行ってください。**

項目	内容
H265 への自動切り替え	ON に設定すると、本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にビデオ圧縮形式を「H.265」に設定します。[ON ／ OFF（初期値）]
スマートエンコーディングへの自動切り替え	ON に設定すると、本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にスマートエンコーディング設定を選択した設定値に設定します。[ON ／ OFF（初期値）]
更新	表示を最新の情報に更新します
変更	選択しているカメラの設定を変更します。 ➡ 44 ページ「カメラ変更画面」
自動検索	ネットワーク上にあるカメラを自動的に検索します。
セグメント検索	ネットワーク上にあるカメラのセグメントを指定して検索します。

■カメラ選択

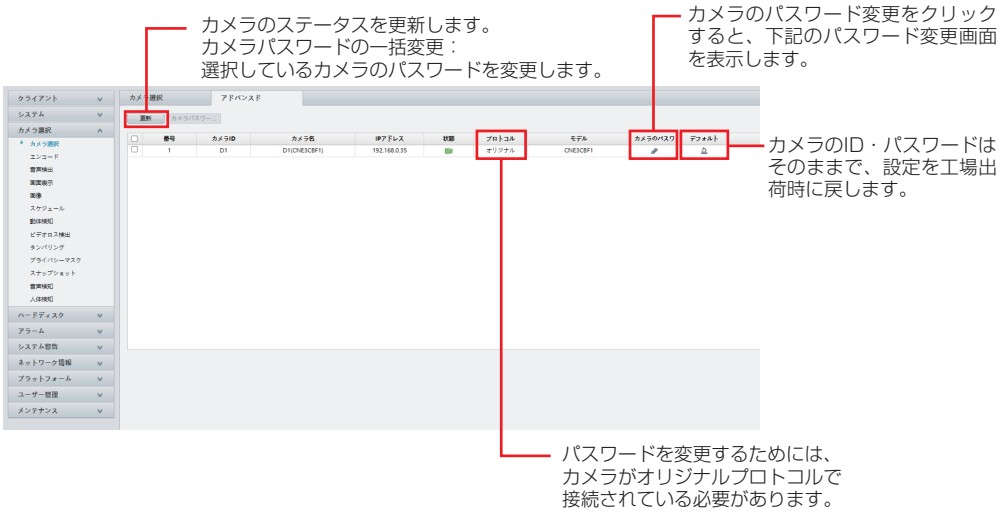


【設定画面】

項目	内容
モードを追加	**プラグ＆プレイ**：接続されたカメラを自動的に設定します。 **IP アドレス（初期値）**：IP アドレスを指定して接続します。 **MyDDNS**：外部クラウドサービスでの DDNS を利用して接続します。 **ドメイン名**：DDNS サービスを利用して接続します。ネットワークカメラ側で DDNS の設定が必要となります。
プロトコル	カメラとの通信プロトコルを選択します。 **オリジナル（初期値）**：通常は［オリジナル］のままで使用します。 **ONVIF**：ONVIF で接続します。 **カスタム**：カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。プリセットは［プロトコル］ボタンをクリックすると設定することができます。
IP アドレス	変更できません。
ポート	
ユーザー名	カメラの接続情報を設定します。
パスワード	
リモートカメラ ID	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。 通常は初期値「1」のままでご利用ください。
長距離伝送	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。 現在はご利用いただくことができません。 通常は初期値「OFF」のままでご利用ください。

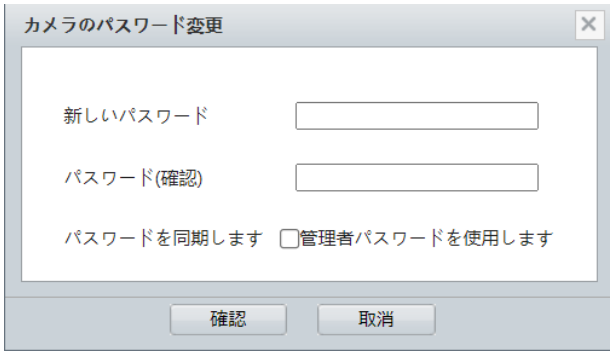
■アドバンスド

カメラのパスワード変更や、設定をデフォルト管理します。



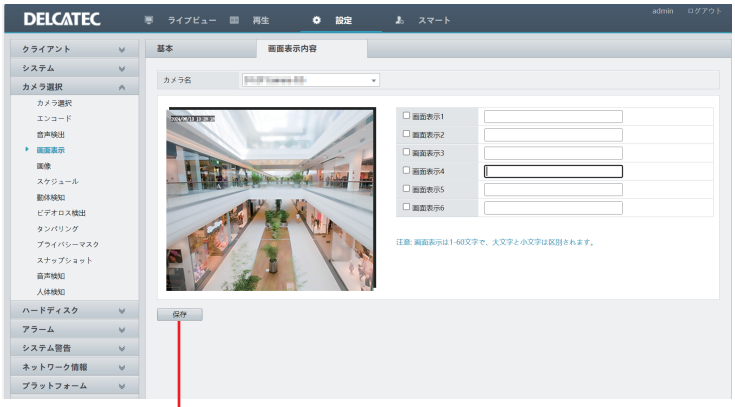
パスワードは、1 文字以上 32 文字以下であれば、記号や英数字を問わず、任意の値を設定することがきます。

【パスワード変更画面】



カメラステータス―画面表示―画面表示内容

映像上に任意の文字列を表示します。



項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
画面表示	チェックを入れて、テキスト欄に画面上に表示したい文字を入力します。

ハードディスク―ディスクグループ―ディスクグループ

ディスクグループの選択をします。

ハードディスク―容量設定―容量設定

この時、録画できる最大容量などの制限設定もできます。

ディスクグループが無効となっている場合、「グループ選択」「グループ容量」は表示されません。

メンテナンス―ネットワーク情報―パケットキャプチャ

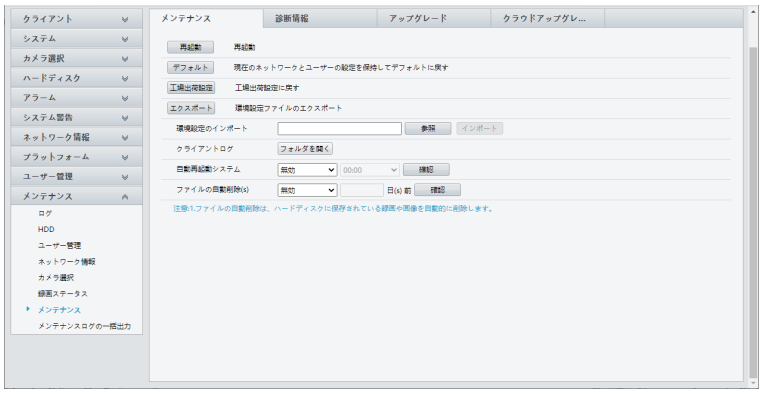
カメラと本製品の間を流れるパケットをキャプチャできます。
※本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。

項目	内容
NIC 選択	パケットの送信先を指定します。
パケットサイズ	テスト送信するパケットのサイズを設定します。
IP	送信するアドレスを設定します。
ポート	送信するポートを設定します。

- 本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。
- パケットキャプチャはシステムデバッグ時の機能です、詳細な進行状況は表示されませんが終了するまでお待ちください
- モニター管理画面でパケットキャプチャをしてるときは、同時に Web 管理画面上でパケットキャプチャを行えません。

■メンテナンス

システムの再起動などを行います。



項目	内容
再起動	クリックすると、システムを再起動します。
デフォルト	ネットワークとユーザーの設定以外を工場出荷時の状態に戻します。
工場出荷設定	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
エクスポート	書き出した環境設定ファイルを読み込んで復元します。
設定環境のインポート	設定環境をインポートします。 「参照」をクリックして、インポートする設定環境を選択します。
クライアントログ	クライアントログが保存されているフォルダを開きます。
自動再起動システム	自動的に再起動する曜日と時間を設定します。
ファイルの自動削除	日にちを指定して自動的にファイルを削除する設定ができます。

環境設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更している場合は、読み込み後に再設定してください。

■診断情報

ネットワークレコーダーまたはカメラの診断履歴をエクスポートすることができます。

■アップグレード

アップグレードを行います。

項目	内容
アップグレード	DX アンテナ Web サイトからあらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定して本製品のシステムをアップデートします。

カメラの設定を変更したり、ファームウェアをアップデートするときは、ご使用になるカメラの管理画面から設定を変更してください。

■クラウドアップグレード

項目	内容
クラウド アップグレード	この機能は使用しません。

その他—こんなときは

故障と判断する前に

■ログインパスワードを変更する

管理画面にログインするパスワードを変更します。パスワードとユーザー名は、モニター管理画面と Web 管理画面で共通のものを使用します。

重要

- **初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。**
- **変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。**
- **パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。**

パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。サポートセンターへお問い合わせください。

■モニター管理画面から変更する場合

1 **ホーム画面で設定メニューアイコンをクリックします。**

2 **認証画面が表示されますので、パスワードを入力して［ログイン］をクリックします。**
管理画面が表示されます。

3 **［システム］―［ユーザー管理］をクリックします。**
ユーザー設定画面が表示されます。

4 **パスワードを変更したいユーザー名の［編集］アイコンをクリックします。**

5 **パスワード入力画面に、現在のパスワードを入力します。**

6 **［変更］画面が表示されますので、［パスワード］と［パスワード（確認）］欄に新しいパスワードを入力し、［確認］をクリックします。**

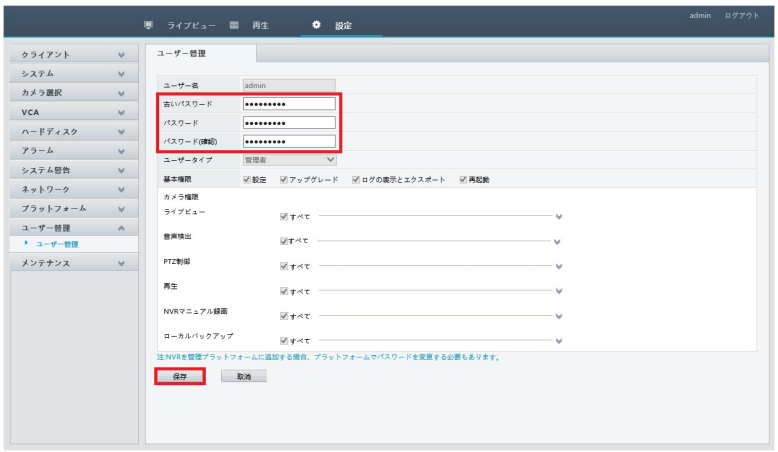
・9～20 文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。
スペースは入力できません。

■ Web 管理画面の場合

1 Web 管理画面から［設定］―［ユーザー管理］をクリックします。

2 管理者としてログインしている場合は、［ユーザー管理］画面が表示されますので、パスワードを変更したいユーザーを選択し、［変更］をクリックします。

3 「古いパスワード」に現在のパスワードを入力し、［パスワード］と［パスワード（確認）］欄に新しいパスワードを入力し、［保存］をクリックします。「変更」画面は、ユーザータイプによって設定できる項目が異なります。



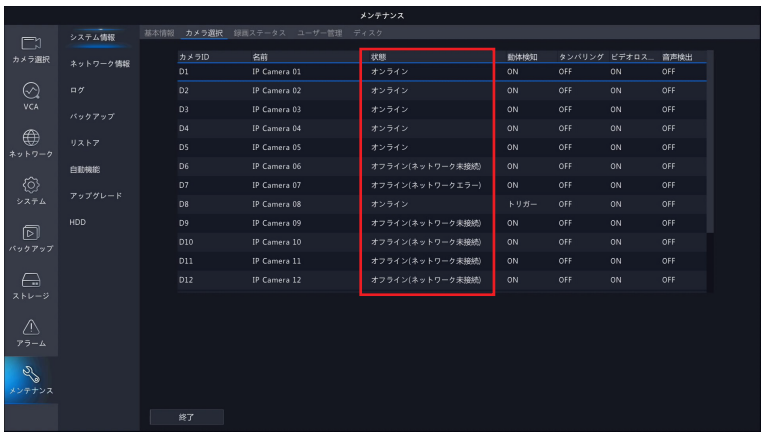
・英字と数字・記号を組み合わせた 9 ～ 20 文字のパスワードを設定してください。
パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されるので「強」になるようにしてください。
スペースは入力できません。

5 回ログインに失敗するとロックされます。その場合は、解除されるまで約 10 分お待ちください。

■カメラを本製品に接続しても認識されない

1 モニター管理画面の［メンテナンス］—［システム情報］—［カメラ選択］を表示します。

Web 管理画面の場合は、［メンテナンス］—［カメラ選択］を表示してください。



2 ［状態］列にある原因を確認します。

■ネットワーク未接続の場合

ネットワーク接続とネットワーク設定を確認してください。

モニター管理画面：［ネットワーク］－［基本］

Web 管理画面：［ネットワーク情報］

➡ 63 ページ「ネットワーク情報」

■ユーザー名とパスワードが間違っている場合

カメラのユーザー名とパスワード設定を確認してください。

モニター管理画面：［カメラ選択］—［カメラ選択］—［カメラ選択］

Web 管理画面：［カメラ選択］—［カメラ選択］—［カメラ選択］

➡ 43 ページ「カメラ選択」

■弱いパスワードで拒否されている場合

カメラの管理画面にログインし、強固なパスワードを設定してください。

■帯域不足の場合

本製品が処理可能な帯域幅に収まるように、各カメラのビットレートを下げる調整を実施してください。

■ライブビューに映像が表示されない

■モニター管理画面

●映像の解像度を下げてください。

モニター管理画面：［カメラ選択］—［エンコード］

Web 管理画面：［カメラ選択］—［エンコード］

➡ 47 ページ「エンコード」

●ライブビューの表示にサブストリームを使用します。

モニター管理画面：［システム］—［画面表示］—［アドバンスド］

Web 管理画面：なし

➡ 73 ページ「アドバンスド」

●ライブビュー画面でカメラの切り換えができない
➡ダブルクリックで表示させたシングルウィンドウ（1 画面表示）の時に「前」「次」ボタンがクリックできない場合、カメラウィンドウ下にある画面分割ボタンで再度 1 画面表示へ切り換えてください。

■ Web 管理画面
ライブビュー画面下の映像情報でビットレートが［0Mbps］になっていないか確認してください。

0Mbps になっている場合
ファイアウォールを無効にし、ウイルス対策プログラムを停止してください。

0Mbps ではない場合
パソコンのグラフィックカードドライバが正しく機能しているか確認し、必要な場合はドライバを再インストールしてください。

■ライブビューは表示されているが録画が見つからない

●録画スケジュールが正しく設定されているか確認してください。
モニター管理画面：［ストレージ］―［録画ステータス］
Web 管理画面：［カメラ選択］―［スケジュール］―［録画スケジュール］
➡ 88 ページ「録画ステータス」

●本製品に設定されている時間とタイムゾーンが正しいか確認してください。
モニター管理画面：［システム］―［時刻］―［時刻］
Web 管理画面：［システム］―［時刻］―［時刻］
➡ 74 ページ「時刻」

●ハードディスクが正常に動作しているか確認してください。
モニター管理画面：［メンテナンス］―［HDD］
Web 管理画面：［メンテナンス］―［HDD］
➡ 120 ページ「HDD」

●録画データが上書きされていないか確認する。
HDD の残り容量がなくなったときに録画データを上書きする設定になっていると、もっとも古いデータから上書きされます（ファイル単位でデータを削除）。
モニター管理画面：［ストレージ］―［アドバンスド］
Web 管理画面：［アドバンスド］―［詳細設定］
➡ 95 ページ「アドバンスド」

■動体検知がうまく働かない

●動体検知の設定を確認してください。
モニター管理画面：［アラーム］―［動体検知］
Web 管理画面：［カメラ選択］―［動体検知］
➡ 99 ページ「動体検知」

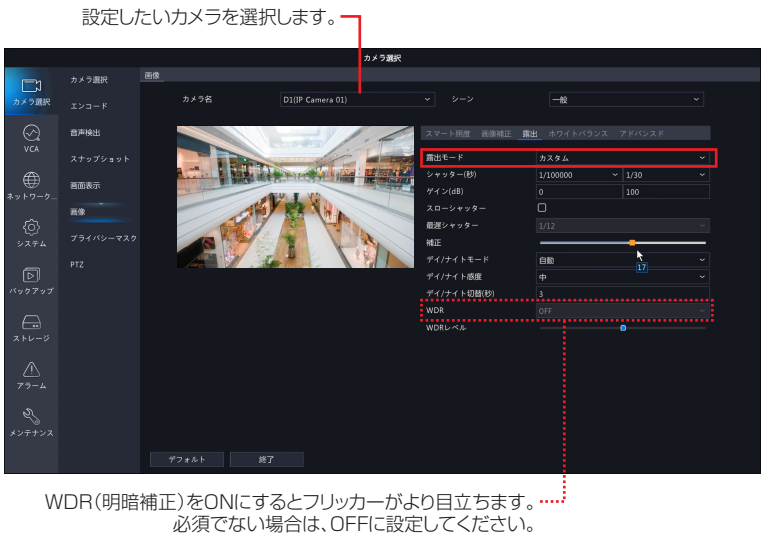
■ネットワークカメラの映像に横縞（フリッカー）が出る

蛍光灯の光などが映像に入ると、以下のような横縞が発生する場合があります。（図はイメージです）

フリッカーは、蛍光灯の状態、設置環境などで発生パターンが異なり、100%抑制することができない場合があります。カメラを設置する際は照明の位置、種類を確認し、フリッカーのでやすい場所を避けて設置するようお願い致します。もし、設置場所や照明の種類を変えられない場合は、下記をお試しください。

●［露出モード］を「カスタム」に変更すると軽減することがあります。

Web 管理画面から設定するときは、下記を参考にしてください
モニター管理画面：［カメラ選択］―［画像］ー［露出］



●［露出モード］を設定しても改善しない場合は、［補正］を MAX にしてお試しください。

■マウスが動かない

●付属のマウスを使用してください。
●USB 延長ケーブルを使用している場合は、直接本製品に接続してください。
●マウスが故障している可能性もあります。他の USB タイプのマウスに交換してお試しください。
●マウスの右ボタンを約 10 秒間、長押ししてください。（8ch/16ch モデルのみ）
●一度レコーダーの電源を切り、再度電源を入れてください。この時、VGA または HDMI のモニターがレコーダーに接続されていることを確認してください。（8ch/16ch モデルのみ）

■キーボードから文字入力ができない

●USB 接続等の外部キーボードは、本製品に接続しても利用できません。
文字の入力を行う際は、画面に表示されるソフトキーボードをマウスでクリックして入力してください。

■カメラの Web 管理画面で設定した設定値とは異なる設定値がレコーダーの設定画面に表示されている

●本製品にてカメラの設定を行った後で、カメラの Web 管理画面で設定変更を行った場合、本製品の設定画面にはその変更は反映されません。
カメラの Web 管理画面で設定変更を行った場合は、本製品を再起動させてください。
カメラの WebUI でさまざまな設定が変更できますが、カメラの WebUI 側で変更した設定は本製品には反映されません。
本製品とカメラを組み合わせて使用する場合には、ネットワークレコーダーでのみ設定の変更を行ってください。

■バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できない

●本製品からバックアップした映像データは、カメラの「エンコード - ビデオ圧縮」で選択した圧縮形式（H.264 または H.265）で出力されます。
下記アプリで H.265 形式の動画を再生する場合には、Microsoft 社のホームページから「HEVC ビデオ拡張機能」をインストールしてください。
・Windows Media Player
・Windows 10　映画＆テレビアプリ

＜マイクロソフト社：デバイス製造元からの HEVC ビデオ拡張機能＞
https://www.microsoft.com/ja-jp/store/p/hevc-videoextension/9n4wgh0z6vhq

■USB デバイスで、ファイルフォルダが認識できない

●USB デバイスのファイルフォルダは、日本語など 2 バイトコードを使用することができません。

■モニターに画面が映らない

●ネットワークレコーダーの初期出力解像度は 1280 × 1024/60Hz です。
接続するモニターが上記解像度に対応していない場合は、接続する前にネットワークレコーダーの出力解像度を設定してください。(71 ページ「画面表示」参照)

●Web 管理画面からモニター出力解像度を変更する

①ネットワーク端子に LAN ケーブルで PC を接続します(10 ページ参照)。

②PC のウェブブラウザーでネットワークレコーダーの Web 管理画面にログインします(128 ページ参照)。

③[設定]―[システム]―[画面表示]の「解像度」を、ネットワークレコーダーに接続しているモニターが対応している解像度に変更します(71 ページ参照)。
Web 管理画面から画面表示解像度を変更すると、設定変更後にネットワークレコーダーが再起動しますので、ご注意ください。

■画面がはみ出して切れた状態で表示される

●TV 側の映像設定によっては、レコーダーからの映像が一部表示されない状態になります。
TV のオーバースキャン機能(従来のテレビ方式との互換性を持たせるために、画面の周囲を表示しない機能)によるものです。
ジャストスキャンまたはアンダースキャン等へ設定変更してください。(設定方法について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください)
また、レコーダー側の出力(画面表示解像度)は、お使いのテレビの画素数(水平×垂直)に近い解像度を選択してください。(71 ページ「画面表示」参照)

■本製品の PoE 端子にネットワークカメラを接続すると、ネットワークカメラの IP アドレスが変更される

●事前にカメラに対して IP アドレスを設定しても、本製品につなぐと「プラグ&プレイ」機能により、IP アドレスの設定(上書き)がされて変更されてしまいます。
IP アドレスを手動で設定する場合は、本製品にネットワークカメラ接続した後、「IP カメラ設定」画面で変更します。(44 ページ「IP カメラ設定・IP カメラ変更(カスタム)画面」)

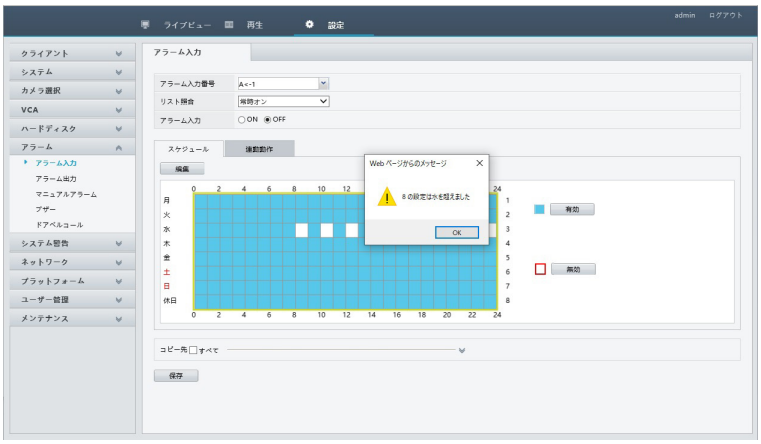
■本製品の PoE 端子につながれたネットワークカメラにネットワーク端子側のパソコンからアクセスできない

●LAN ポートにつないでいるパソコンから、ネットワークカメラの IP アドレスへ直接アクセスすることはできません。
ネットワークカメラの管理画面にアクセスするときは、ネットワークレコーダー Web 管理画面の[カメラ選択]―[カメラ選択]画面からアクセスしてください。(43 ページ「カメラ選択―カメラ選択」)

■Web 管理画面のとき、ライブビュー画面でカメラの切り換えができない

●ダブルクリックで表示させたシングルウィンドウ表示(1 画面表示)のときに、「前」「次」ボタンがクリックできない場合は、カメラウインドウ下にある画面分割ボタンで、再度シングルウィンドウ表示(1 画面表示)に切り換えてください。

■Web 管理画面のとき、スケジュール設定で「休日の設定は 8 を超えました」というメッセージが表示された



●スケジュール設定のうち「有効」な時間帯が 8 個以内になるよう、設定してください。

メッセージの文章が一部間違って表示される場合がありますが、1 日のうち設定できる「有効」な時間帯は最大 8 個です。

その他—付録編

使用上のご注意

〈対応ネットワークカメラ〉

本製品は、DXアンテナ製のCNE3Cシリーズのネットワークカメラに対応しています。

〈本製品について〉

- 設置設定後の環境の変化などにより正常な動作が行われない場合があります。
- 電源は常時100Vが確保できるコンセントを使用してください。
- 本製品設置時、他機器と重ね置きせず十分なスペースに設置してください。(熱による不具合などの防止の為)
- HDD交換によるデータ消失、不具合などに対する保障はできません。
- 高所から落下した場合、破損や故障の原因になります。

〈お手入れ時〉

- お手入れするときは電源をオフにしてください。
- ベンジン･シンナーなどの有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。変色などの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

〈使用･取り扱いについて〉

- 高温･多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用･保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤作動する場合があります。
- 通気口をふさいで使用しないでください。故障の原因になります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用･保管は避けてください。
- ラジオ･テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離して使用してください。
- 長期間の使用に関して、安全にお使い頂くために専門業者による定期点検をお願いします。長期間使用すると外観上は異状がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障、事故につながることがあります。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられており、ご使用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますので、ご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- 潮風や温泉成分による不具合は保証の対象外となります。
- 防爆機能はありません。
- 本製品の取り扱いは慎重にお願いいたします。落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- ご利用のネットワーク環境、被写体、アクセス数により、画像更新速度が遅くなることがあります。
- 動きの速い物体を写した場合には、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。
- 設置したケーブルは、日光や雨風が直接当たらないようにモールなどで覆ってください。
- カメラの解像度を4対3の比率になる設定にした場合、映像は左右方向が圧縮され縦長に表示されます。

〈データの取り扱いについて〉

- 外的要因により、まれに録画できなくなる場合が発生します。随時、録画状態の確認をしてください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合がございます。本製品が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分ご注意ください。
- 万一、本製品内のデータが消失した場合、データの復旧につきましては、弊社ではいかなる保証もいたしかねます。

設置上のご注意

〈設置場所について〉

●本製品は、屋内専用です。屋外での使用はできません。長時間直射日光の当たるところや、冷房・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない場所で使用してください。

●照明、火災報知機、誘導灯などの既設設備の妨げにならないように設置してください。

●以下のような場所での設置および使用はできません。
直射日光の当たる場所／プールなど、薬剤を使用する場所／厨房などの湿気、蒸気、油分の多い場所／溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所／放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所／海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所／使用温度範囲を超える場所／車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）／ほこりの多い場所

〈設置作業前の注意〉

●当社のネットワークカメラおよびネットワークレコーダーをご使用になるネットワーク回線を、他の目的（一般業務用など）で使用するネットワーク回線に接続してご利用になる場合は、動作の保証はいたしません。

〈雷に対しての保護に関する注意〉

●LANケーブルを使って本製品をネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

〈電波障害に関する注意〉

●テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

〈時刻設定に関する注意〉

●時刻の設定については、本書の74ページ「時刻」をお読みください。

〈使用しなくなった際の注意〉

●本製品を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

このマニュアルについて

●このマニュアルの著作権は、DX アンテナ株式会社が所有しています。
●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
●このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
●Microsoft、Windows は米国 MicrosoftCorporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および TM は省略させていただきました。

動作環境

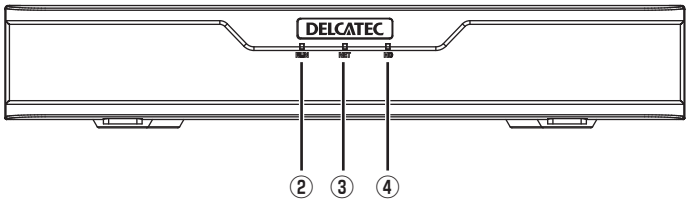
Web ベースの管理画面、次の環境のみサポートしています。

対応 OS	Windows 10
対応ブラウザー	Microsoft Edge ／ Google chrome

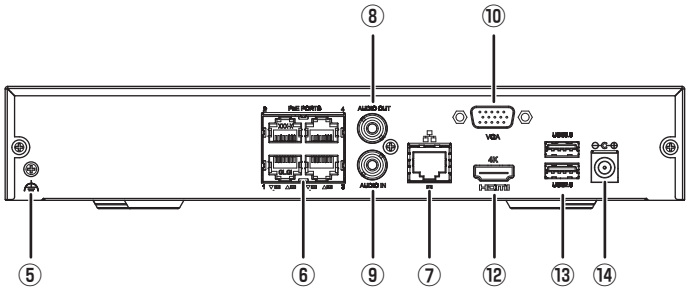
各部の名称とはたらき

■ CNE3R421・CNE3R441・CNE3R461

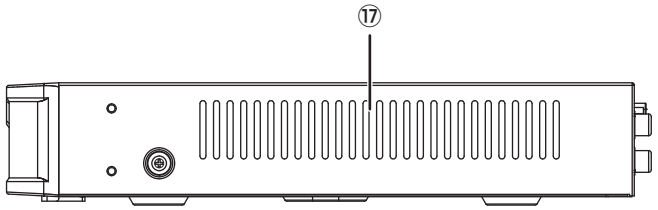
本体正面



本体背面

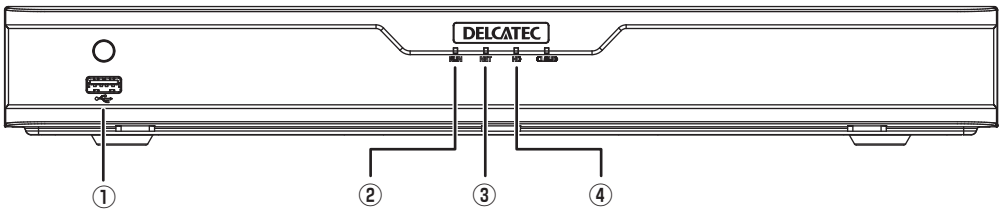


本体側面

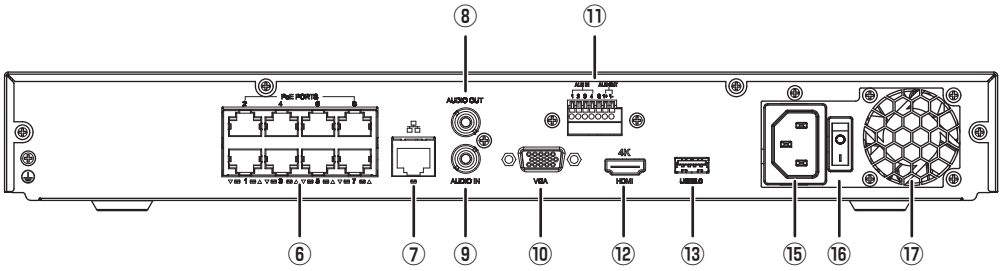


■ CNE3R841・CNE3R881・CNE3R8F1

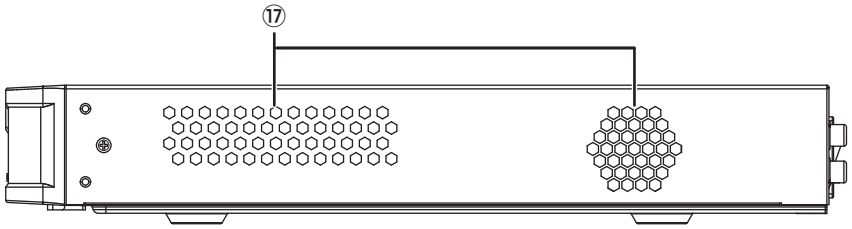
本体正面



本体背面

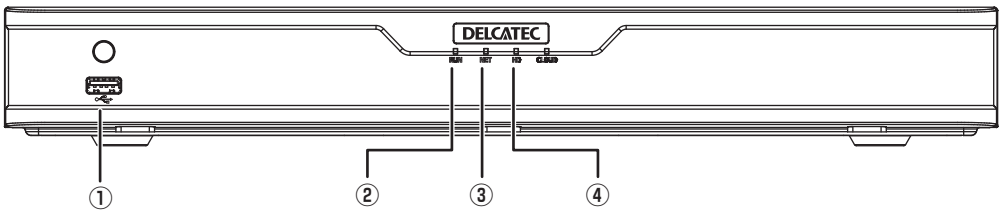


本体側面

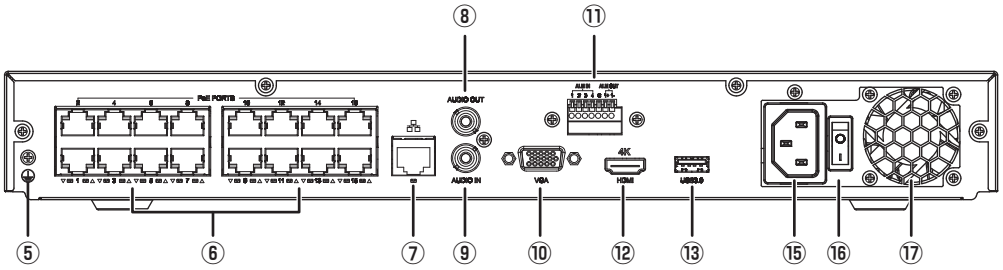


■ CNE3RF81・CNE3RFF1

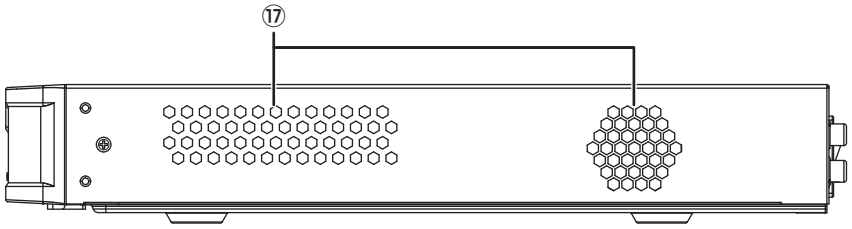
本体正面



本体背面



本体側面



① USB 端子	操作用のマウスを接続します。
② RUN ランプ	点灯：正常動作中 点滅：起動中
③ NET ランプ	点灯：ネットワークに接続中
④ HD ランプ	点灯：ハードディスクに異常がある 点滅：データを読み込み／書き込み中
⑤アース端子	アースを接続します。
⑥ PoE 端子	PoE 給電に対応した RJ-45 端子です。ネットワークカメラを接続します。
⑦ネットワーク端子	LAN ケーブルを接続します。
⑧オーディオ出力	音声出力端子です。
⑨オーディオ入力	音声入力端子です。
⑩ VGA 出力端子	モニターと VGA 接続して本製品の管理画面を表示します。
⑪アラーム端子	アラーム入／出力端子です。
⑫ HDMI 出力端子	モニターと HDMI 接続して本製品の管理画面を表示します。
⑬ USB 端子	USB 端子です。
⑭ DC 端子	電源アダプターを接続します。
⑮ AC 端子	電源コードを接続します。
⑯電源スイッチ	電源のオン / オフを切り換えます。
⑰排気口	使用中はふさがないでください。

パソコンの IP アドレスの確認方法

本製品の管理画面にアクセスできない場合に、本製品の管理画面に接続するパソコンの IP アドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。
ここで説明している IP アドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線 LAN 子機の IP アドレスを確認するときにも使用できます。

※本製品には DHCP サーバー機能はないため、パソコンには IP アドレスを割り当てません。

Windows10 の場合

1 **［スタート］→［Windows Powershell］をクリックします。**

2 **「Windows Powershell」画面が表示されますので、「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。**

入力する文字は半角英数字です。
●「"xxx" は、内部コマンド ･･･」と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

ネットワーク接続情報が表示されます。
有線 LAN 接続は「イーサネットアダプターローカルエリア接続」、無線 LAN 接続は「Wireless LAN adapter ワイヤレスネットワーク接続」の「IPv4 アドレス」に現在の IP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxx は任意の数字）。

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
This product is designed for use in japan only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

製品に関するお困りごとを解決!
Dサポ!
DXアンテナ サポートポータル
スマートフォンで各種設定方法がわかる➡

ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。
QRコードからアクセスしてください。
[1015]